知名町埋蔵文化財発掘調査報告書（10）

住吉貝塚範囲確認発掘調査事業報告書

# 住　吉　貝　塚

2006年３月

鹿児島県知名町教育委員会

# 序　　文

住吉貝塚発掘調査等事業は，平成13年度から平成17年度まで文化庁並びに鹿児島県教育委員会の補助を受け知名町教育委員会が調査主体となって実施したものです。

住吉貝塚は昭和32年に九学会により調査が実施され，石組みの住居跡や多くの遺物が検出され，奄美諸島の歴史の解明に重要な資料を提示しました。

今回の調査は，この重要な遺跡である住吉貝塚の範囲を確認し，今後の保存・活用に役立てようと計画いたしました。調査の結果，縄文時代晩期を中心とした多くの住居跡が確認されたほか，当時の人々の生活や文化の一端を窺うことのできる貴重な遺物が出土しております。これらは，沖永良部島や南西諸島の歴史を考えるうえで重要な資料となることでしょう。今後は，この資料を先人が残した貴重な財産として保存・活用を図っていく予定でございます。

最後になりましたが，範囲確認調査から報告書作成に至るまで，ご指導・ご協力くださいました文化庁・鹿児島県教育庁文化財課，鹿児島県立埋蔵文化財センター，ご指導並びに玉稿を賜りました諸先生，発掘調査・整理作業に参加された作業員の皆様，調査をご快諾くださいました地主の皆様，関係各位に深く感謝申し上げます。

平成１８年３月

知名町教育委員会

教育長　大　山　　修

# 報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | すみよしかいづか |
| 書名 | 住吉貝塚 |
| 副書名 | 住吉貝塚範囲確認発掘事業報告書 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | 知名町埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| シリーズ番号 | (10) |
| 編著者名 | 森田太樹　堂込秀人 |
| 編集機関 | 知名町教育委員会 |
| 所在地 | 〒891-9295　鹿児島県大島郡知名町知名307番地　TEL0997-93-3111 |
| 発行年月日 | 2006年3月31日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯<br>°′″ | 東経<br>°′″ | 調査期間 | 調査面積<br>㎡ | 調査<br>原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 住吉貝塚<br>(すみよしかいづか) | 鹿児島県<br>(かごしまけん)<br>大島郡知名町<br>(おおしまぐんちなちょう)<br>住吉兼久<br>(すみよしかねく) | 465348 | 95-1 | 27°<br>21′<br>16″ | 128°<br>31′<br>48″ | 20011126～<br>20011227<br>20020819～<br>20021029<br>20030818～<br>20031219<br>20040816～<br>20041208 | 約1000㎡ | 範囲確認 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 住吉貝塚 | 集落<br>貝塚 | 縄文時代後期<br>～<br>弥生時代初頭 | ・竪穴住居跡14基以上<br>・土坑　3基<br>・集石　1基 | 嘉徳式Ⅰ・Ⅱ土器<br>犬田布式土器<br>宇宿上層式土器<br>沖縄系土器等<br>石斧・磨石等<br>貝輪・貝玉等<br>骨製品<br>植物遺体<br>動物遺体<br>魚類遺体<br>貝類遺体 | |

第１図　沖永良部島知名町住吉貝塚の位置

# 例　言

1　本書は，知名町教育委員会が文化庁及び鹿児島県教育委員会の補助を受け，平成13年度から平成17年度に実施した住吉貝塚発掘調査等事業の調査報告である。

2　発掘調査は知名町教育委員会が主体となり，鹿児島県教育庁文化財課，鹿児島県立埋蔵文化財センターの協力を得た。

3　本書で用いたレベル高は海抜を表し，方位は磁北を示す。

4　遺物番号は通し番号とし，本文・挿図・図版の番号は一致する。

5　本書の執筆は次のとおりである。
第Ⅰ章　森田
第Ⅱ章　森田
第Ⅲ章　森田・堂込
第Ⅳ章　高宮　広土（札幌大学教授）
西中川　駿（放送大学鹿児島学習センター所長）
樋泉　岳二（早稲田大学非常勤講師）
黒住　耐二（千葉県立中央博物館上席研究員）
第Ⅴ章　森田・堂込

6　現地調査に関する実測及び写真撮影は，森田・堂込が行った。遺物の実測・拓本・トレースは森田・堂込・城村・栄・森・西・最上が行い，鹿児島県立埋蔵文化財センターの協力を得た。出土遺物の写真撮影は，鹿児島県立埋蔵文化財センター福永修一が行い，現像・焼付は大村彌紀の協力を得た。石器・貝製品等実測の一部は委託した。

7　調査・報告書作成にあたっては，次の方々にご指導・ご協力を賜った。
玉田芳英　坂井秀弥　木下尚子　上村俊雄　本田道輝　高宮広土　樋泉岳二　西中川駿　黒住耐二　中山清美　高梨 修　鼎 丈太郎　新里貴之　相美伊久雄　池畑耕一　長野真一　倉元良文　鶴田静彦　三垣恵一　宮城弘樹　上床 真　最上優子　北野堪重郎

8　本書の編集は，森田太樹・堂込秀人が行った。

9　石器・骨・貝製品の計測は実測図の位置を基準として計測した。（　）は残存部分の数値である。

10　出土遺物は，知名町教育委員会が知名町中央公民館に保管・展示する予定である。

# 本文目次

序文
報告書抄録
例言

**第Ⅰ章　調査の経過**……1
第1節　調査に至るまでの経緯……1
第2節　調査の組織……1
第3節　調査の概要と経過……2

**第Ⅱ章　遺跡の位置と環境**……4
第1節　遺跡の位置及び地理的環境……4
第2節　遺跡周辺の史的環境……4

**第Ⅲ章　調査の概要**……11
第1節　確認調査の概要……11
第2節　基本層序……12
第3節　土器の分類……12
第4節　各トレンチの調査……13
（1）　1トレンチ……13
（2）　2トレンチ……21
（3）　3トレンチ……34
（4）　4トレンチ……35
（5）　6トレンチ……40
（6）　10トレンチ……54
（7）　11トレンチ……68
（8）　15トレンチ……68
（9）　16トレンチ……73
（10）　17トレンチ……87
（11）　表採遺物……87

**第Ⅳ章　同定・分析**……100
第1節　住吉貝塚出土の植物遺体……100
第2節　知名町住吉貝塚出土の動物遺体……108
第3節　魚類遺体群からみた住吉貝塚の特徴と重要性……115
第4節　貝類遺体から見た沖永良部島住吉貝塚の特徴……131

**第Ⅴ章　調査のまとめ**……141

# 表目次

第1表　知名町遺跡地名表……7
第2表　土器観察表……89
第3表　石器計測表……96
第4表　貝製品計測表……98
第5表　貝玉計測表……99
第6表　骨製品計測表……98

# 挿図目次

第1図　沖永良部島知名町住吉貝塚の位置……(3)
第2図　九学会調査時検出住居跡……4
第3図　周辺の遺跡……6
第4図　住吉貝塚トレンチ配置図及び遺跡残存範囲……9
第5図　住吉貝塚遺構配置図……10
第6図　1トレンチ遺物出土状況……13
第7図　1号土坑出土土器……14
第8図　1号土坑出土石器……15
第9図　1トレンチ出土土器（1）……16
第10図　1トレンチ出土土器（2）……17
第11図　1トレンチ出土土器（3）……18
第12図　1トレンチ出土石器（1）……19
第13図　1トレンチ出土石器（2）……20
第14図　1トレンチ出土石器（3）……21
第15図　2トレンチ遺物出土状況……22
第16図　1号集石検出状況……23
第17図　1号集石出土貝玉……23
第18図　2トレンチ出土土器（1）……24
第19図　2トレンチ出土土器（2）……25
第20図　2トレンチ出土土器（3）……26
第21図　2トレンチ出土土器（4）……27
第22図　2トレンチ出土土器（5）……28
第23図　2トレンチ出土石器（1）……29
第24図　2トレンチ出土石器（2）……30
第25図　2トレンチ出土石器（3）……31

第26図　２トレンチ出土貝骨製品……32
第27図　２トレンチ出土骨製品……33
第28図　３トレンチ出土土器 ……34
第29図　４トレンチ遺構検出状況……35
第30図　４トレンチ出土土器 ……36
第31図　４トレンチ出土石器 ……37
第32図　４トレンチ出土石器・骨製品 ……38
第33図　６トレンチ遺構配置図……39
第34図　３号住居跡出土土器 ……40
第35図　４号住居跡西壁断面図……41
第36図　４号住居跡出土土器 ……42
第37図　５号住居跡……43
第38図　５号住居跡出土土器（1）……44
第39図　５号住居跡出土土器（2）……45
第40図　５号住居跡出土土器（3）……46
第41図　５号住居跡出土土器（4）……47
第42図　５号住居跡出土土器（5）……48
第43図　６トレンチ出土貝製品……49
第44図　６トレンチ出土貝・骨製品・石器……50
第45図　６トレンチ出土骨・貝製品 ……51
第46図　２号土坑検出状況 ……52
第47図　２号土坑出土土器 ……52
第48図　２号土坑出土石器 ……53
第49図　３号土坑出土石器 ……54
第50図　10トレンチ遺構配置図……55
第51図　６号住居跡……56
第52図　６号住居跡出土土器（1）……57
第53図　６号住居跡出土土器（2）……58
第54図　７号住居跡検出状況 ……59
第55図　７号住居跡出土土器 ……60
第56図　８号住居跡……61
第57図　８号住居跡出土土器（1）……62
第58図　８号住居跡出土土器（2）……63
第59図　９号住居跡サブトレンチ１断面図……64
第60図　９号住居跡サブトレンチ２断面図……64
第61図　９号サブトレンチ１・２出土土器……65
第62図　10トレンチ出土土器……66
第63図　10トレンチ出土石器・骨・貝製品……67
第64図　11トレンチ検出状況……68
第65図　15トレンチ遺構配置図……68
第66図　11号住居跡……69
第67図　11号住居跡出土土器（1）……70
第68図　11号住居跡出土土器（2）……71
第69図　15トレンチ住居跡出土石器・貝製品……72
第70図　11号住居跡出土石器……72
第71図　16トレンチ遺構配置図……73
第72図　12号住居跡……74
第73図　12号住居跡出土土器（1）……75
第74図　12号住居跡出土土器（2）……76
第75図　12号住居跡出土土器（3）……77
第76図　12号住居跡出土土器（4）……78
第77図　13・14号住居跡サブトレンチ断面図 ……79
第78図　13号住居跡サブトレンチ出土土器……80
第79図　14号住居跡サブトレンチ出土土器……81
第80図　16トレンチ出土土器……82
第81図　16トレンチ出土石器（1）……83
第82図　16トレンチ出土石器（2）……84
第83図　16トレンチ出土貝・骨製品・黒曜石 ……85
第84図　16トレンチ出土貝製品（1）……86
第85図　16トレンチ出土貝製品（2）……87
第86図　17トレンチ出土石器……88
第87図　表採貝製品……88

# 図 版 目 次


図版１　住吉貝塚周辺航空写真 ……(145)
図版２　住吉海岸ほか ……(146)
図版３　重機による表土剥ぎほか……(147)
図版４　１Ｔ遺物出土状況ほか ……(148)
図版５　２Ｔ包含層遺物出土状況ほか……(149)
図版６　混貝層鹿角出土状況ほか……(150)
図版７　６Ｔ遺構検出状況ほか ……(151)
図版８　３号・４号住居跡検出状況ほか……(152)
図版９　10Ｔ遺構検出状況ほか……(153)
図版10　６号住居跡床面付近遺物出土状況ほか (154)
図版11　８号住居跡検出状況ほか……(155)
図版12　10号住居跡一部検出状況ほか ……(156)
図版13　11号住居跡ほか……(157)
図版14　16Ｔ遺構検出作業ほか……(158)
図版15　12号住居跡検出状況ほか……(159)
図版16　12号住居跡焼土検出状況ほか ……(160)
図版17　13号・14号住居跡検出状況ほか……(161)
図版18　17Ｔ暗褐色部分ほか……(162)
図版19　１号土坑出土遺物 ……(163)
図版20　２号・３号土坑出土遺物……(164)
図版21　３号・４号住居跡出土遺物 ……(165)
図版22　５号住居跡出土遺物（1）……(166)
図版23　５号住居跡出土遺物（2）……(167)
図版24　５号住居跡出土遺物（3）……(168)
図版25　５号住居跡出土遺物（4）……(169)
図版26　６トレンチ出土遺物 ……(170)
図版27　６号住居跡出土遺物（1）……(171)
図版28　６号住居跡出土遺物（2）……(172)
図版29　７号・９号住居跡出土遺物……(173)
図版30　８号住居跡出土遺物 ……(174)
図版31　11号住居跡出土遺物（1）……(175)
図版32　11号住居跡出土遺物（2）……(176)
図版33　12号住居跡出土遺物（1）……(177)
図版34　12号住居跡出土遺物（2）……(178)
図版35　12号住居跡出土遺物（3）……(179)
図版36　13号住居跡サブトレンチ出土遺物……(180)
図版37　14号住居跡サブトレンチ出土遺物……(181)
図版38　１トレンチ出土遺物（1）……(182)
図版39　１トレンチ出土遺物（2）……(183)
図版40　１トレンチ出土遺物（3）……(184)
図版41　１トレンチ出土遺物（4）……(185)
図版42　２トレンチ出土遺物（1）……(186)
図版43　２トレンチ出土遺物（2）……(187)
図版44　２トレンチ出土遺物（3）……(188)
図版45　２トレンチ出土遺物（4）……(189)
図版46　２トレンチ出土遺物（5）……(190)
図版47　３トレンチ・10トレンチ出土遺物……(191)
図版48　４トレンチ出土遺物（1）……(192)
図版49　４トレンチ出土遺物（2）……(193)
図版50　10トレンチ出土遺物……(194)
図版51　16トレンチ出土遺物（1）……(195)
図版52　16トレンチ出土遺物（2）……(196)
図版53　16トレンチ出土遺物（3）……(197)
図版54　17トレンチ出土遺物・表採貝製品……(198)
図版55　２トレンチ・６トレンチ・16トレンチ
出土遺物 ……(199)
図版56　５号住居跡・11号住居跡・12号住居跡
出土遺物 ……(200)
図版57　６トレンチ出土遺物（2）……(201)
図版58　２トレンチ・６トレンチ出土遺物……(202)
図版59　住吉貝塚周辺航空写真２ ……(203)
図版60　九学会連合調査地点 ……(204)
図版61　発掘調査風景（1）ほか……(205)
図版62　発掘調査風景（3）ほか……(206)

# 第Ⅰ章　調査の経過

## 第１節　調査に至るまでの経緯

住吉貝塚は，昭和32年に九学会の調査班により調査された遺跡で宇宿貝塚・面縄貝塚などの遺跡とともに奄美諸島の考古学史上重要な遺跡である。平成12年には知名町指定史跡となったが，その範囲，遺跡の残存状況等不明な部分が多かった。また，近年の土地改良事業の進展に伴い，遺跡周辺地区も当該事業の対象地区となることが予想された。知名町教育委員会では遺跡の保存・活用を目的に文化庁・鹿児島県の補助を得て平成13年～16年にかけて遺跡の範囲確認調査を実施した。

## 第２節　調査の組織

**平成13年度**　〔範囲確認調査〕

**事務組織**

経費執行事務

知名町教育委員会生涯学習課主事　森田 太樹

**調査組織**

調査責任者

知名町教育委員会教育長　田中 和夫（10月まで）

知名町教育委員会教育長　根釜 昭夫（10月から）

調 査 担 当

知名町教育委員会生涯学習課長　大山　倭

調　査　員

知名町教育委員会生涯学習課主事　森田 太樹

鹿児島県立埋蔵文化財センター文化財主事　堂込 秀人

鹿児島県立埋蔵文化財センター文化財研究員　福永 修一

調査指導

鹿児島大学法文学部助教授　本田 道輝

作　業　員

大山喜代美　清水はるみ　田中美恵子　森山美智子

岡越 豊　中野吉裕　西 千代乃

シルバー人材センター

**平成14年度**　〔範囲確認調査〕

**事務組織**

経費執行事務

知名町教育委員会生涯学習課主事　森田 太樹

**調査組織**

調査責任者

知名町教育委員会教育長　根釜 昭夫

調 査 担 当

知名町教育委員会生涯学習課長　大山　倭

調　査　員

知名町教育委員会生涯学習課主事　森田 太樹

鹿児島県立埋蔵文化財センター文化財主事　堂込 秀人

調 査 指 導

文化庁文化財部記念物課文化財調査官　玉田 芳英

笠利町歴史民俗資料館副館長　中山 清美

鹿児島県立埋蔵文化財センター文化財主事　鵜田 静彦

作　業　員

山下智美　高崎いくよ　シルバー人材センター

**平成15年度**　〔範囲確認調査〕

**事務組織**

経費執行事務

知名町教育委員会生涯学習課主事　森田 太樹

**調査組織**

調査責任者

知名町教育委員会教育長　根釜 昭夫

調 査 担 当

知名町教育委員会生涯学習課長　大山　倭

調　査　員

知名町教育委員会生涯学習課主事　森田 太樹

鹿児島教育庁文化財課文化財主事　堂込 秀人

鹿児島県立埋蔵文化財センター文化財主事　三垣 恵一

調査指導

文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官　坂井 秀弥

熊本大学文学部教授　木下 尚子

札幌大学文化学部教授　高宮 広土

鹿児島国際大学国際文化学部教授　上村 俊雄

鹿児島県教育庁文化財課埋蔵文化財係長　倉元 良文

作　業　員

高崎いくよ　シルバー人材センター

**平成16年度**　〔範囲確認調査〕

**事務組織**

経費執行事務

知名町教育委員会生涯学習課主事　森田 太樹

**調査組織**

調査責任者

知名町教育委員会教育長　根釜 昭夫

調 査 担 当

知名町教育委員会生涯学習課長　林 富義志

調　査　員
知名町教育委員会生涯学習課主事　森田 太樹
鹿児島教育庁文化財課文化財主事　堂込 秀人
調 査 指 導
早稲田大学教育学部非常勤講師　樋泉 岳二
札幌大学文化学部教授　高宮 広土
千葉県立中央博物館上席研究員　黒住 耐二
今帰仁村教育委員会社会教育課文化財専門員　宮城 弘樹
遺 物 指 導
放送大学鹿児島学習センター所長　西中川 駿
作　業　員
木下 光　森 ユキエ　シルバー人材センター

**平成17年度**　〔報告書作成〕
**事務組織**
経費執行事務
知名町教育委員会生涯学習課主事　森田 太樹
**調査組織**
調査責任者
知名町教育委員会教育長　根釜 昭夫(10月まで)
知名町教育委員会教育長　大山　修(10月から)
調 査 担 当
知名町教育委員会生涯学習課長　林 富義志
調　査　員
知名町教育委員会生涯学習課主事　森田 太樹
鹿児島教育庁文化財課文化財主事　堂込 秀人
遺 物 指 導
文化庁文化財部記念物課文化財調査官　玉田 芳英
鹿児島大学法文学部助教授　本田 道輝
熊本大学文学部教授　木下 尚子
早稲田大学教育学部非常勤講師　樋泉 岳二
千葉県立中央博物館上席研究員　黒住 耐二
放送大学鹿児島学習センター所長　西中川 駿
札幌大学文化学部教授　高宮 広土
作　業　員
栄 春香　城村 肇　西 初美　森 ユキエ
（協力）最上優子　瀬戸口典久　永吉かおり

## 第３節　調査の概要と経過

**〈平成13年度〉**

平成13年11月26日～平成13年12月27日

平成13年度は，作付けの関係から11月から調査を開始した。調査は１トレンチから７トレンチまで設定し，遺跡の広がりを確認した。１Ｔ・２Ｔ・４Ｔ・６Ｔでは遺物包含層または遺構が確認され，東西方向への遺跡の範囲が推定された。

11月26日（月）～11月30日（金）
調査開始。１Ｔ～７Ｔ表土剥ぎ。１Ｔ・２Ｔ・４Ｔ掘り下げ。５Ｔ清掃・写真撮影。
12月３日（月）～12月７日（金）
１Ｔ・２Ｔ・６Ｔ掘り下げ。１号土坑半裁掘り下げ。１Ｔ・２Ｔ遺物取り上げ。５Ｔ・７Ｔ写真撮影後埋め戻し。
12月10日（月）～12月14日（金）
１Ｔ・２Ｔ・３Ｔ・６Ｔ掘り下げ。６Ｔ住居跡のものと思われる石列の一部検出。鹿児島大学本田助教授現地指導。
12月17日（月）～12月21日（金）
１Ｔ・２Ｔ・４Ｔ・６Ｔ・１号土坑掘り下げ。１Ｔ・２Ｔ・３Ｔ遺物取り上げ。１Ｔ・２Ｔ・４Ｔ・６Ｔ・１号土坑清掃・出土状況写真撮影
12月25日（火）～12月27日（木）
１号土坑・２Ｔ遺物取り上げ。２Ｔ・４Ｔ・６Ｔ・１号土坑埋め戻し。３Ｔ清掃・写真撮影後埋め戻し。器材撤収。現場作業終了。

**〈平成14年度〉**

平成14年８月19日～平成14年10月29日

平成14年度は，平成13年度に設定した２Ｔ・６Ｔを拡張するとともに，新たに８Ｔ～14Ｔを設定し，遺跡の広がりを確認した。調査の結果10Ｔ・11Ｔでは新たに遺構が確認された。

８月12日（月）～８月14日（水）
調査準備。重機を使用し，２Ｔ・６Ｔの表土剥ぎ。前年度遺構保護のために入れた砂の除去・清掃。
８月19日（月）～８月23日（金）
調査開始。２Ｔ混貝層1/4掘り下げ。６Ｔを拡張し遺構を検出。遺跡北側牧草地に８Ｔ～１０Ｔを設定，重機で表土除去後遺構検出作業。６Ｔ・10Ｔ遺構検出状況写真撮影。６Ｔから貝輪出土。
８月26日（月）～８月28日（水）
２Ｔ混貝層・６Ｔサブトレンチ・５号住居掘り下げ。６Ｔ・10Ｔ遺物出土状況写真撮影。台風接近の為，台風対策。
９月２日（月）～９月５日（木）
台風の雨によりトレンチに流入した土砂の除去。11Ｔ～14Ｔを設定し重機で表土剥ぎ。文化庁玉田調査官現地指導。後半は台風の為作業中止。
９月９日（月）～９月13日（金）
６Ｔ・10Ｔ～14Ｔ清掃。５号住居遺物出土状況写真撮。４号住居1/4掘り下げ。10Ｔサブトレンチ設定，掘り下げ。遺構実測。

9月17日（火）～9月20日（金）
２Ｔ混貝層・４号住居・６号住居1/2掘り下げ。笠利町歴史民俗資料館副館長中山清美氏現地指導。７号住居検出状況実測。４号住居遺物取り上げ。11Ｔ～14Ｔ重機で埋め戻し。
9月24日（火）～9月28日（土）
２Ｔ・４号住居・８号住居1/2掘り下げ。遺構実測。遺物出土状況写真撮影。現地説明会。
9月30日（月）～10月７日（月）
８号住居掘り下げ。遺構実測。２Ｔ混貝層・４号住居遺物出土状況写真撮影・遺物取り上げ。５号住居・７号住居遺物取り上げ。
10月16日（水）～10月18日（金）
６号住居・８号住居遺物取り上げ。
10月21日（月）～10月25日（金）
遺構実測。トレンチ埋め戻し。
10月28日（月）～10月29日（火）
トレンチ埋め戻し。器材撤収。現場作業終了。

**〈平成15年度〉**

平成15年８月18日～平成15年12月19日

平成15年度は，前年度調査の６Ｔをさらに拡張し遺構全体の検出，内容の確認を実施するとともに，新たに15Ｔ～23Ｔを設定し遺跡の広がりを確認した。また，遺構埋土は保管し一部水洗を実施した。

8月18日（月）～8月22日（金）
機材準備・重機による表土剥ぎ。６Ｔ・15Ｔ・16Ｔ遺構検出。18・19Ｔ清掃後写真撮影。17Ｔ清掃。
8月25日（月）～8月29日（金）
15Ｔ遺構検出，17Ｔ清掃・写真撮影。５号住居跡・２号土坑清掃。
9月２日（火）～9月５日（金）
６Ｔ清掃，１６Ｔ遺構検出。１７Ｔ写真撮影。18・19Ｔ埋め戻し。17Ｔサブトレンチ設定。16Ｔ拡張。20～23Ｔ設定するが，包含層・遺構確認されず。
9月８日（月）～9月11日（木）
16Ｔ遺構検出作業・17Ｔサブトレンチ掘り下げ。週末は台風接近。
9月16日（月）～9月18日（木）
16Ｔ包含層掘り下げ，トレンチ北側に礫集中箇所確認。11号住居跡一部掘り下げ。写真撮影。熊本大学木下尚子教授現地指導。図面確認。週末は台風接近。
9月22日（月）～9月26日（金）
トレンチ内の土砂除去。鹿児島国際大学上村俊雄教授・札幌大学高宮広土教授・文化庁坂井主任調査官・鹿児島県教育委員会倉元係長現地指導。高宮教授と住居跡埋土の一部を水洗。５号住居遺物取り上げ。
9月29日（月）～10月３日（金）
５号・11号・12号住居跡一部掘り下げ。16Ｔ遺構検出。５号・12号住居跡清掃・写真撮影・遺物取り上げ。16Ｔサブトレンチ設定。５号・11号住居跡貝輪出土。
10月６日（月）～10月９日（木）
11号・12号住居跡・サブトレンチ掘り下げ。20～23Ｔ埋め戻し。後半は，雨の為現場作業中断。
10月14日（火）～10月17日（金）
トレンチ，遺構内土砂清掃。11号・12号住居跡写真撮影・遺物取り上げ。
10月20日（月）～10月24日（金）
５号・11号・12号住居跡掘り下げ・写真撮影・遺物取り上げ。16Ｔサブトレンチ掘り下げ。２号土坑清掃。11号住居跡・16Ｔ実測。
10月27日（月）～10月28日（火）
11号住居跡掘り下げ，実測。
11月５日（水）～11月７日（金）
17Ｔサブトレンチ掘り下げ，清掃。11号住居跡写真撮影，断面実測。17Ｔ埋め戻し，ロータリー。
11月11日（火）～11月14日（金）
一部，埋め戻し準備。土器洗浄。16Ｔ実測。
11月17日（月）～11月21日（金）
16Ｔ・２号土坑実測。中頃は雨の為中断。
11月25日（火）～11月26日（水）
２号土坑実測。土器洗浄。
12月１日（月）～12月４日（木）
２号土坑・16Ｔ実測。遺跡周辺清掃。
12月８日（月）～12月12日（金）
12号住居跡・16Ｔサブトレンチ実測。
12月15日（月）～12月19日（金）
12号住居跡実測。トレンチ埋め戻し。器材撤収。現場作業終了。

**〈平成16年度〉**

平成16年８月16日～平成16年12月８日

平成16年度は，10Ｔ・16Ｔの調査を実施した。６号住居跡・12号住居跡・13号住居跡サブトレンチ・14号住居跡の掘り下げを中心に魚骨等分析のためのサンプリングも実施した。

8月16日（月）～8月20日（金）
器材運搬・重機を使用し16Ｔ表土剥ぎ。途中台風の影響で作業中断。
8月23日（月）～8月27日（金）
人力により遺構面検出・清掃。途中台風の影響により作業中断。

8月30日（月）～9月3日（金）
10T重機を使用し表土剥ぎ。人力により遺構面検出・清掃。
9月7日（火）～9月12日（日）
台風の影響でトレンチに流入した土砂の除去。樋泉岳二氏，高宮広土氏遺物指導及びサンプリング。12号住居跡・4号土坑・9号住居跡サブトレンチ・6号住居跡掘り下げ。
9月13日（月）～9月17日（金）
12号住居跡・4号土坑・9号住居跡サブトレンチ・6号住居跡掘り下げ。遺構実測。遺物出土状況写真撮影。4号土坑は遺構として確認されず。
9月21日（火）～9月24日（金）
12号住居跡・6号住居跡掘り下げ。12号住居跡床面付近に灰層確認。
9月29日（水）～10月1日（月）
6号住居跡掘り下げ。
10月4日（月）～10月7日（木）
6号住居跡掘り下げ。
10月13日（水）～10月15日（金）
10T・16T清掃・写真撮影。12号住居跡断面実測。6号住居跡平面・断面実測。8号住居跡平面実測。9号住居跡サブトレンチ断面実測。
11月15日（月）～11月18日（木）
重機により埋め戻し。器材撤収。
12月6日（月）～12月8日（水）
調査範囲の整地。現場作業終了。

# 第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

## 第1節　遺跡の位置及び地理的環境

住吉貝塚は，大島郡知名町大字住吉字兼久に位置する。

遺跡の所在する知名町は鹿児島から南へ542kmの沖永良部島にあり，和泊町と隣接し，東北に約32kmを隔てて徳之島，南に約33kmを隔てて与論島を，さらに60kmを隔てて沖縄を望む位置にある。

気候は亜熱帯モンスーン気候区に属し，四季を通じて温暖な島である。島を取り囲むように珊瑚礁が発達するが，特に南部海岸に顕著で，一方，北部海岸側では海食崖が連続してよく発達する。

地質学的にみると古生層を基盤とした第四紀琉球層群（隆起珊瑚礁）からなる比較的低平な島で，最高所の大山（標高246m）を取り巻くような形で数段の段丘が形成されている。また，大山を取り囲むような形でカルスト地形が発達し，ドリーネ（凹地）が数多く分布している。全島にわたって石灰岩に覆われているため雨水は地下に浸透して段丘間の斜面下，ドリーネの底部，浸食の進んだ部分あるいは海岸付近に湧水・暗川（クラゴウ）となって現れ，地下には石灰岩洞穴を数多く形成している。これらの湧水・暗川は河川の少ない沖永良部島にあっては，この水源が遺跡の分布，集落の立地に大きな関わりをもっている。

今回調査を実施した住吉貝塚は，知名町の西部の住吉海岸を目の前に望む標高約12mの海岸崖上に立地する。遺跡南側は防波堤が築かれ現在は墓地となっているが以前は砂丘地であった。北側は地元で「マタ」と呼ばれる谷がある。マタに水流はみられないが地元の人の話によると海岸の砂浜には湧水があり「キシジャ」と呼ばれていたようである。海岸には珊瑚礁が発達しイノーが形成され現在も地元の人々の漁場として利用されている。南の方向には与論島・沖縄本島のほか天気のよいときは，伊平屋・伊是名島を望むことができる。

町内の遺跡の立地は，南西部の海岸付近に多く見られる。

## 第2節　遺跡周辺の史的環境

知名町の遺跡が考古学的研究の対象となったのは昭和32年，九学会連合奄美大島共同調査の考古班らによる住吉貝塚（1）の発掘調査が最初である。調査では，自然の珊瑚礁の岩石面や石組みを壁面に利用した住居跡が1基され，遺物では宇宿上層式・宇宿下層式土器や石斧，貝・骨製品等が出土している（第2図）。住居跡は，先行して調査が行われた宇宿貝塚の住居跡と同様に宇宿上層式期のものと考えられ，当該期における一般的な住居形態であったことが指摘されている。

以下，町内の代表的な遺跡を調査年におって紹介する。昭和57年から59年には河口貞徳氏・瀬戸口望氏・本田道輝氏らにより中甫洞穴（71）の発掘調査が実施さ

第2図　九学会調査時検出住居跡

れた。調査の結果，縄文早・前期の新型式の土器，縄文時代の土壙墓及び人骨，南九州の弥生時代後期の土器等が出土し，沖永良部島の歴史が縄文時代前半に遡ることや南九州との関わりが明らかにされた。

また，昭和57年，58年には沖縄国際大学，鹿児島大学により神野貝塚（39），スセン當貝塚（40）の発掘調査が行われた。神野貝塚では縄文時代前期から縄文時代後期の土器が層序よく出土し，これにより従来不明であった南島縄文時代中期の土器に面縄前庭式があてはめられた。これらは沖縄国際大学の高宮広衛氏により面縄前庭様式として整理・編年され，後期前半の土器と併せて縄文時代中期から後期にかけての土器編年が明らかにされた。また，スセン當貝塚では，新型式の土器が出土しスセン當式土器と命名された。これら一連の調査の成果は不明な部分の多かった沖永良部島の先史時代を徐々に明らかにしていった。

昭和60年・63年には，県営圃場整備事業に伴い，赤嶺原遺跡（69），前当遺跡（67）が発掘調査され，赤嶺原遺跡では，類須恵器，青磁，スクニジュと呼ばれる中世の排水路等が確認された。また，町が主体となり遺跡分布調査も実施された。

昭和62年には熊本大学考古学研究室により石原遺跡（61）が調査された。遺跡は，個人の畑地造成，いわゆる「天地返し」により遺物が多量に散布していたため発見されたもので，縄文時代後期～縄文時代晩期頃の土器や貝製品等が出土している。平成４年には農業基盤整備事業に伴い浜須A（31），浜須B（30）遺跡の調査が実施され，浜須B遺跡では縄文時代後期の住居跡が５基確認された。

平成12年には，志喜屋武当遺跡(14)の調査が実施され縄文時代前期の包含層と縄文時代後期前半と考えられる住居跡が１基確認されている。

《参考文献》


1　国分直一、河口貞徳、曽野寿彦、野口義麿、原口正三　1959「沖永良部島住吉貝塚調査報告」『奄美その自然と文化』日本学術振興会

2　沖縄国際大学考古学研究室　1985　「沖永良部島神野貝塚発掘調査報告」『沖国大考古』第７号・第８号　沖縄国際大学考古学研究室

3　上村俊雄　1983　「沖永良部島の考古学的調査」『南日本文化』第１６号　南日本文化研究所

4　上村俊雄・本田道輝　1984　『沖永良部島スセン當貝塚発掘調査概要』『南西諸島の先史時代に於ける考古学的基礎研究』　鹿児島大学法文学部考古学研究室

5　熊本大学考古学研究室　1988　『石原遺跡』研究活動報告22　熊本大学考古学研究室

6　知名町教育委員会　1984　「中甫洞穴」　鹿児島県知名町埋蔵文化財発掘調査報告書

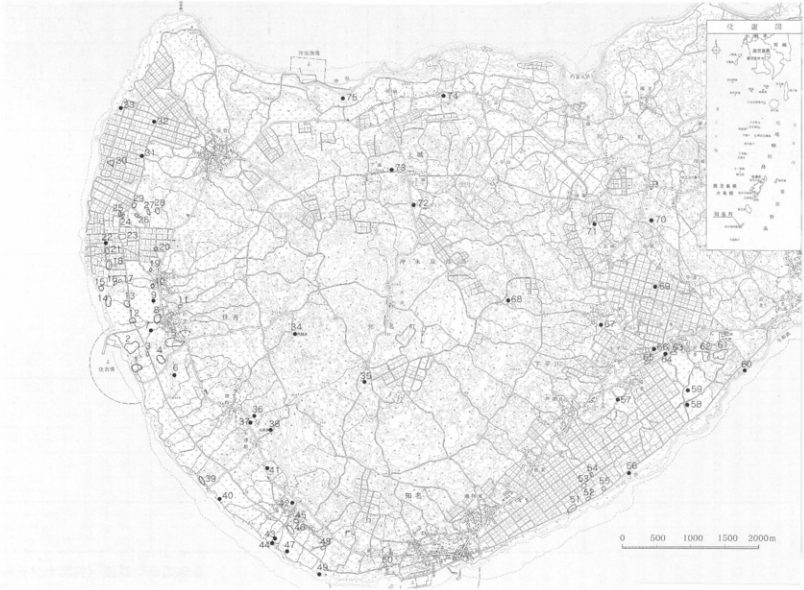
7　知名町教育委員会　1985　「赤嶺原遺跡」　鹿児島県大島郡知名町埋蔵文化財発掘調査報告書（3）

8　知名町教育委員会　1986　「知名町埋蔵文化財分布調査概報」　知名町文化財報告書（5）

9　知名町教育委員会　1988　「前当遺跡」　知名町埋蔵文化財発掘調査報告書（6）

10　知名町教育委員会　1993　「大当遺跡　浜須A・B遺跡」　知名町埋蔵文化財発掘調査報告書（7）

11　知名町教育委員会　2002　「志喜屋武当遺跡」知名町埋蔵文化財発掘調査報告書（8）

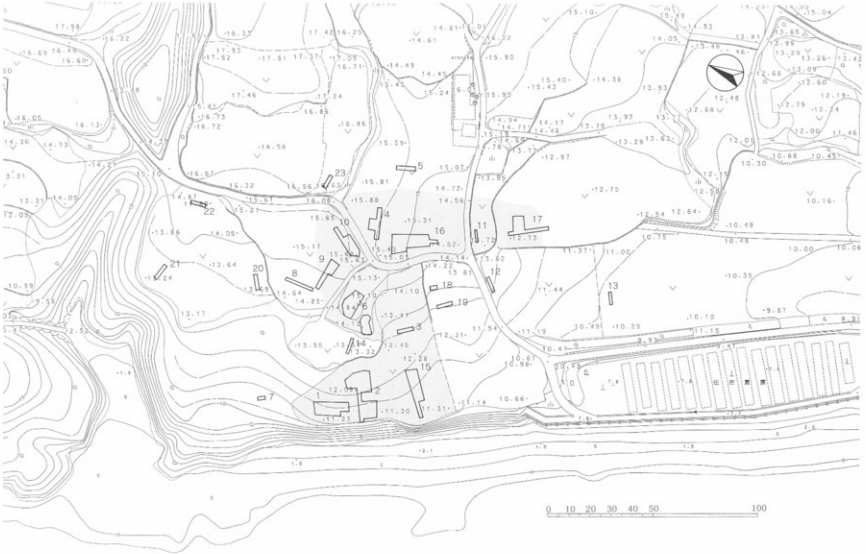



第３図　周辺の遺跡

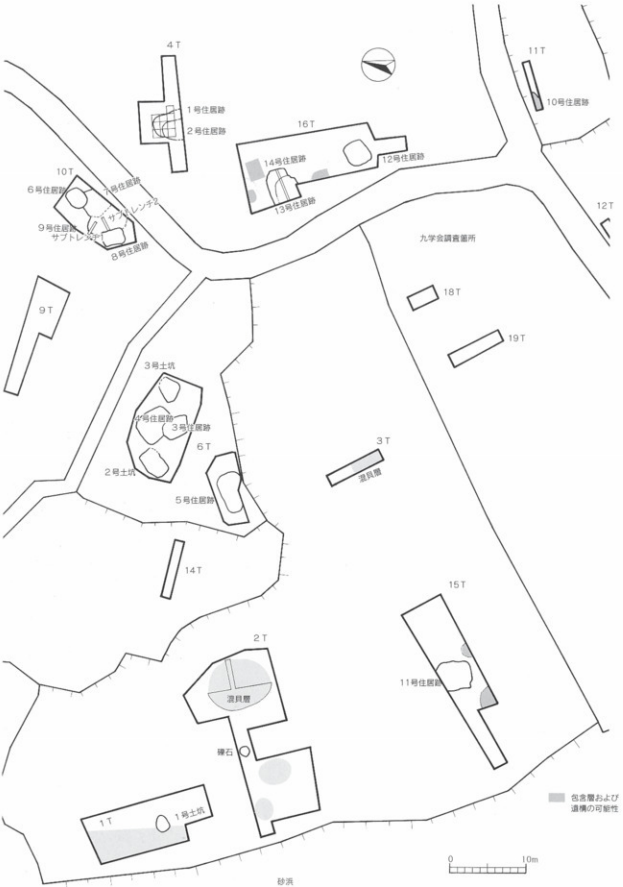
## 第1表　知名町遺跡地名表

| 番号 | 遺　跡　名 | 所　在　地 | 地形 | 時　代 | 遺　物　等 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 住吉貝塚 | 住吉字兼久 | 砂丘 | 縄文後期 | 土器（字宿上層・下層式） | 昭和32年九学会調査 |
| 2 | 友留 | 住吉字友留 | 平地 | | 無文土器 | 昭和60年度分布調査 |
| 3 | 兼久 | 住吉字兼久 | 平地 | 中世 | | 平成16年度分布調査 |
| 4 | 新場ノ前 | 住吉字新場ノ前 | 平地 | 中世 | 類須恵器 | 平成16年度分布調査 |
| 5 | 四文当 | 住吉字四文当 | 台地 | 中世 | | 平成16年度分布調査 |
| 6 | 木部蘭迫 | 住吉字木部蘭迫 | 台地 | | 無文土器・青磁片 | 昭和60年度分布調査 |
| 7 | 手殿 | 住吉字手殿 | 台地 | | 青磁・染付 | 昭和60年度分布調査 |
| 8 | 具屋原 | 住吉字具屋原 | 台地 | 縄文～中世 | | 平成10年度分布調査 |
| 9 | 千間 | 正名字千間 | 台地 | 中世 | 類須恵器 | |
| 10 | 正名内間 | 正名字内間 | 台地 | 中世 | 類須恵器・白磁 | 昭和60年度分布調査 |
| 11 | 内納当 | 住吉字内納当 | 台地 | 縄文・中世 | | 平成9年度確認調査 |
| 12 | 阿部匿 | 住吉字阿部匿 | 台地 | 縄文～中世 | | 平成13年度確認調査 |
| 13 | 下田 | 住吉字下田 | 台地 | 中世 | | 平成12年度発掘調査 |
| 14 | 志喜屋武当 | 住吉字志喜屋武当 | 台地 | 縄文 | 住居跡 | 平成12年度発掘調査 |
| 15 | ウロク畑A | 正名字ウロク畑 | 台地 | | ふいご羽口 | |
| 16 | ウロク畑B | 正名字ウロク畑 | 台地 | | 土器片 | |
| 17 | ウロク畑C | 正名字ウロク畑 | 台地 | | 土器片 | |
| 18 | 川仁堂B | 正名字川仁堂 | 台地 | | 土器片・類須恵器 | |
| 19 | 志良辺堂 | 正名字志良辺堂 | 台地 | 弥生・中世 | 類須恵器・石斧 | 平成9年度発掘調査 |
| 20 | 黒平 | 正名字黒平 | 台地 | | | 平成8年度確認調査 |
| 21 | 川仁堂A | 正名字川仁堂 | 台地 | | 土器片・類須恵器 | |
| 22 | 帯野 | 正名字帯野 | 台地 | | 土器片 | |
| 23 | 池原 | 正名字池原 | 台地 | | 類須恵器・青磁 | 確認調査 |
| 24 | 池原B | 正名字池原 | 台地 | | 縄文・中世 | 平成7年度確認調査 |
| 25 | 伊舎良 | 正名字伊舎良 | 台地 | | 土器片 | |
| 26 | 二俣B | 正名字二俣 | 台地 | 縄文・中世 | | 平成12年度発掘調査 |
| 27 | 二俣A | 正名字二俣 | 台地 | 縄文・中世 | | 平成11年度確認調査 |
| 28 | 阿岩 | 正名字阿岩 | 台地 | 縄文 | | 平成12年度発掘調査 |
| 29 | 大平 | 正名字大平 | 台地 | 中世 | | 平成13年度確認調査 |
| 30 | 浜須B | 田皆字浜須 | 台地 | 縄文後期～弥生 | 土器片 | 平成4年度確認調査 |
| 31 | 浜須A | 田皆字浜須 | 台地 | 古墳～歴史 | 土器片・類須恵器 | 平成4年度確認調査 |
| 32 | 曽根 | 田皆字曽根 | 台地 | 古墳 | 土器片・チャート | |
| 33 | 田皆伊美畑 | 田皆字伊美畑 | 台地 | | 磨製石斧 | |
| 34 | 昇竜洞 | 住吉字吉野平川 | 山腹 | 中世 | 人骨・管玉 | |
| 35 | 永良部洞 | 瀬利覚字スマン辻 | 山腹 | | 類須恵器・獣骨 | 昭和60年度分布調査 |
| 36 | 大津勘フバド | 大津勘字フバド | 台地 | | 類須恵器 | 昭和60年度分布調査 |
| 37 | 大津勘フーダトゥ | 大津勘字フーダトゥ | 台地 | | 石斧 | 昭和60年度分布調査 |
| 38 | 水連洞 | 大津勘字蓮木俣 | 丘陵 | 中世 | 類須恵器 | 昭和60年度分布調査 |
| 39 | 神野貝塚 | 大津勘字神野 | 砂丘 | 縄文 | 土器（室川下層式等）石器 | 昭和57・58年沖国大調査 |
| 40 | スセン當貝塚 | 屋子母字スセン當 | 砂丘 | 古墳 | 土器（スセン當式）石器 | 昭和57年鹿大調査 |

| 番号 | 遺　跡　名 | 所　在　地 | 地形 | 時　代 | 遺　物　等 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 41 | 屋子母セージマ古墳跡 | 屋子母字妻々 | 丘陵 | | | |
| 42 | 屋子母 | 屋子母字植村・上坂 | 丘陵 | | 土器・石器 | |
| 43 | 当ノ増 | 屋子母字当ノ増 | 砂土 | | 土器・石器 | 昭和60年度分布調査 |
| 44 | 川春 | 屋子母字川春 | 砂土 | | 青磁片 | 昭和60年度分布調査 |
| 45 | 泊り原 | 屋子母字泊り原 | 丘陵 | 中世 | | 平成16年度分布調査 |
| 46 | 揚殿 | 屋子母字揚殿 | 丘陵 | 中世 | 無文土器 | 昭和60年度分布調査 |
| 47 | 浜倉 | 屋子母字瀬手名 | 平地 | | | |
| 48 | ヤイント | 屋子母字ヤイント | 丘陵 | 中世 | | 平成16年度分布調査 |
| 49 | 塩津類ビ | 屋子母字塩津類ビ | 丘陵 | | | 昭和60年度分布調査 |
| 50 | シャノ平 | 知名字シャノ平 | 丘陵 | 古代 | 土器片・石器 | 平成14年度発掘調査 |
| 51 | 前兼久C | 黒貫 | 台地 | 中世 | | 平成9年度確認調査 |
| 52 | 星窪 | 芦清良字星窪 | 台地 | 縄文～中世 | | |
| 53 | 前兼久B | 黒貫 | 台地 | 弥生・中世 | | 平成8年度確認調査 |
| 54 | 高アタ子 | 黒貫 | 台地 | 縄文 | | 平成10年度確認調査 |
| 55 | 前兼久 | 芦清良字前兼久 | 台地 | 縄文～中世 | | |
| 56 | 芦清良前金久 | 芦清良字前金久 | 砂丘 | | 類須恵器 | 昭和60年度分布調査 |
| 57 | 屋者琉球式墳墓 | 屋者字勝丸 | 平地 | | | |
| 58 | 川切 | 余多字川切 | 台地 | 縄文～中世 | | |
| 59 | 栄長鳥 | 余多字栄長鳥 | 台地 | 縄文～中世 | | |
| 60 | イクサイヨー洞穴 | 余多字石嘉喜 | 洞穴 | 縄文～古墳 | 人骨・土器・貝輪 | 昭和60年度分布調査 |
| 61 | 石原 | 余多字石原 | 台地 | 縄文 | 土器・石器・貝器 | 昭和62年熊大発掘調査 |
| 62 | 砂田 | 余多字砂田 | 台地 | 縄文 | | 平成6年度農政分布 |
| 63 | 本田 | 余多字本田 | 台地 | 縄文～中世 | | |
| 64 | 下平川2 | 下平川 | 台地 | | 類須恵器 | |
| 65 | 下平川1 | 下平川 | 台地 | 中世 | 類須恵器 | |
| 66 | 下平川3 | 下平川 | 台地 | | 類須恵器 | |
| 67 | 前当 | 上平川字前当 | 台地 | 中世 | 類須恵器・鉄さい | |
| 68 | 花城洞穴 | 上平川字花城 | 洞穴 | | | 昭和60年度分布調査 |
| 69 | 赤嶺原 | 赤嶺字赤嶺原 | 丘陵 | 縄文・歴史 | 土器・須恵器・青磁 | 昭和59年度確認調査 |
| 70 | アーニマガヤ古墳跡 | 赤嶺字ﾏｶﾞﾔ　- | 丘陵 | | | |
| 71 | 中甫洞穴 | 久志検字水窪 | ﾄﾘｰﾈ | 縄文・弥生・歴史 | 土器（爪形文）石器・人骨 | 昭和57・58・59発掘調査 |
| 72 | 上城跡 | 上城字次石 | 山麓 | | | |
| 73 | 西目国内兵衛佐居城跡 | 下城字先岡 | 山麓 | | | |
| 74 | 新城花窪ニャート墓 | 新城 | 平地 | | | |
| 75 | アンギム | 下城字アンギム | 台地 | | 無文土器・類須恵器 | |




第４図　住吉貝塚トレンチ配置図及び遺跡残存範囲




第５図　住吉貝塚遺構配置図

# 第Ⅲ章　調査の概要

## 第１節　調査の概要

範囲確認調査は，過去の調査や遺物の散布状況，地形等を考慮してトレンチを設定した（第４図）。奄美においては土壌が薄く，遺物包含層は形成されにくく，表土の下はすぐに基盤層が検出されることが多く，また遺跡も小規模で点在する傾向にある。そこで，基本的には重機のバケット幅で可能な限り長いトレンチを設定し，遺物包含層・遺構の検出に努めた。遺物包含層，遺構等が確認された地点では適宜トレンチを拡張し，人力による包含層掘り下げ，遺構検出作業を行った。第５図は遺構配置図である。

平成13年度は１～７トレンチを設定した。１・２・３・４・６トレンチからは遺跡の残存が認められた。

１トレンチは遺物包含層が確認されたため，トレンチを拡張し掘り下げを行った。包含層を途中まで掘り下げたところ，中央付近で１号土坑が検出された。

２トレンチは，遺跡の南東方向への広がりを確認するため１トレンチ南側に設定した。トレンチ東側には遺物を大量に含む混貝層が，西側には暗褐色の遺物包含層が確認された。トレンチ中間部分では集石土坑が１基検出された。暗褐色包含層からは，管状骨製品が，集石土坑からは貝小玉が出土した。

３トレンチは，地表に露出している石灰岩盤の切れ目に設定した。上部は撹乱を受けていたが，トレンチ南端には混貝層の残存が認められた。

４トレンチは，包含層の上部は撹乱を受けていたが，撹乱部分を除去すると暗褐色遺物包含層が確認された。遺構の有無を確認するため１ｍ×１ｍのグリッドを地形に合わせて任意方向に設定し，千鳥掘りに掘り下げを行った。１号・２号住居跡が確認された。

５トレンチは４トレンチの東側に設定したが包含層・遺構ともに確認されなかった。遺跡の残存範囲の東端だと推定される。

６トレンチは２トレンチ東側の一段上がった荒地に設定した。遺構検出面は，表土から20～30cmと浅く検出時には遺構の状態が心配されたが，長期間耕作が行われていなかったこともあり遺跡の残存状況は比較的良好であった。４トレンチ同様遺構確認のため１ｍ×１ｍのグリッドを設定し千鳥掘りに掘り下げを行った。その結果，２号土坑，３号住居跡，４号住居跡の一部が確認された。

７トレンチは，１トレンチ北側に設定し遺跡の北側への広がりを確認したが遺物包含層・遺構とも確認されなかった。

平成14年度は，２・６トレンチを拡張し調査を行うとともに，新たに８～14トレンチを設定した。

２トレンチは，前年度調査地点東側部分に確認されていた混貝層を1/2掘り下げを行った。６トレンチは遺構全体を把握するため13年度調査範囲をさらに北側に拡張した。前年度グリッドによる一部の確認にとどまっていた２号土坑・４号住居跡のプラン並びに３号土坑を検出した。３号住居跡・４号住居跡は切り合っていたため，サブトレンチを設定し新旧関係を確認した。また，５号住居跡の検出，４号住居跡の一部掘り下げを行った。

新たに設定した確認トレンチでは，10・11トレンチで遺構が確認された。10トレンチは，４基の住居跡が検出され６号～９号住居跡とした。６・８号住居跡はそれぞれ1/2の掘り下げを行った。８・９トレンチは，10トレンチ北西側に長くトレンチを設定したが，遺構は確認されなかった。11トレンチは，九学会調査地点の南東側に設定した。基盤石灰岩の西側に黒褐色土の一部を検出した。九学会調査時検出遺構，３号住居跡，８号住居跡などが基盤岩に接して位置することなどから住居跡の可能性が高いと判断し，10号住居跡とした。12・13トレンチは九学会調査地点南側に設定した。当該地点は，以前は砂丘地であったが昭和40年代，工事用に採砂が行われ，土との入れ替えが行われていた。当時の関係者によると採砂時に大型のヤコウガイ殻が大量に出ていたようで，砂丘部分が消滅したことは非常に残念である。14トレンチは，２トレンチと６トレンチの中間に設定したが，石灰岩盤排除工事のため撹乱されていた。

平成15年度は，前年度に引き続き６トレンチの調査を行い，５号住居跡の一部掘り下げたほか，新たに15～23トレンチを設定した。

５号住居跡は，ベルトを残し西側，東側の掘り下げを行った。西側部分は比較的掘り込みが浅く床面を検出できたが，東側部分は礫等が多量に混入している状況であり，西側より一段深くなっているようであった。時間的な都合で床面の検出には至っていない。住居跡の構造について検討を要する。遺物は，比較的大きな土器片や貝輪・猪牙製品・管状骨製品等が出土している。

新たに設定したトレンチでは，15～17トレンチで遺物包含層・遺構等が確認された。

15トレンチは２トレンチの南側に設定した。遺物包含層は大部分が削平されているようで地山の赤褐色面で黒褐色土を埋土とする遺構が検出され，11号住居跡とした。11号住居跡は，基盤石灰岩西側に位置し，東側・南側には石組みの残存が認められる。調査では，3/4を掘り下げた。貝輪・石斧等が出土している。

16トレンチは４トレンチ南西側に設定し，遺物包含層・遺構の広がりを確認した。その結果，トレンチ南側では，基盤石灰岩の西側に住居跡が検出され，12号住居跡とした。12号住居跡は，壁に小礫を組む構造で，2/4を掘り下げた。床面までの深さは，約75cmで断面

観察から複数回の使用が推定される。床面付近では，灰の堆積及び焼土が検出された。トレンチ北側では黒褐色の遺物包含層が若干残存しており，掘り下げを行った結果，下部から礫の集中部分及び礫を配列した遺構が検出され，13・14号住居跡とした。13・14号住居跡はサブトレンチを設定し掘り下げを行った。トレンチ中央部分壁際には，遺構の可能性が考えられる黒褐色部分も確認された。

17トレンチは，11トレンチ設定地点の南側，1m程下がった場所に設定した。調査では，重機のバケット幅で長いトレンチを設定し，暗褐色の遺物包含層が検出された地点を一部拡張した。サブトレンチを設定し掘り下げたが遺物の出土量は他のトレンチと比べ極めて少なく，遺跡縁辺部で，緩やかに傾斜する地形に遺物が流れ込んだものと推定される。18・19トレンチは，九学会調査地点付近に設定したもので，九学会検出の住居跡の検出を目的としたが，個人による畑地の整地により，遺構は消失していた。

平成16年度は，10トレンチと16トレンチ遺構の詳細調査を実施した。

10トレンチは，6号住居跡の1/2を掘り下げほぼ完掘した。9号住居跡とした部分は，黒褐色部分の範囲が広く，複数の遺構が切り合っている可能性も考えられたためサブトレンチ2を設定した。

16トレンチは，12号住居跡の2/4，13・14号住居跡サブトレンチの掘り下げを前年度に引き続き行った。6号住居跡，9号住居跡サブトレンチ1，13・14号住居跡サブトレンチでは，埋土のサンプリングも行った。

## 第2節　基本層序

もともと石灰岩の下を通っていた地下水が湧出する谷部に砂丘地が形成され，その北側の隆起石灰岩の台地部分が遺跡の立地する場所となる。石灰岩地帯の層序はシンプルである。

第1層　耕作土

第2層　黒褐色遺物包含層

1トレンチ，2トレンチ，12トレンチの海側と，旧地形の凹地に，部分的に残存している。

第3層　赤褐色粘質土（基盤層）

赤褐色の基盤層に黒色ないし暗褐色の埋土の遺構が検出される。その下は石灰岩となる。

## 第3節　土器の分類

出土土器は，19,732点中465点を掲載した。各トレンチでいろんな型式の土器が出土しており，トレンチや遺構ごとに個別に分類せず，ここでの分類に従い類別して記述している。土器は，以下の16類に分類した。

第1類

薄手の，やや背の低い広口の深鉢形土器で，口縁部に突帯を貼り付ける。口縁部は平口縁である。文様は，突帯に竹管状工具による刻み，斜位の刺突又は，貝殻腹部の押圧による施文がなされる。突帯間及び胴部に数条の沈線を施す。

第2類

口縁部を肥厚させ文様帯を形成する。文様は，口縁部に横位の押し引き文が施される。平口縁である。

第3類

直口する口縁部に，口縁下を肥厚させて文様帯となす。口縁部文様帯に鋸歯状・階段状の沈線，連続刺突などを施す。文様帯下に鋸歯文を施すものもある。

第4類

口縁部文様帯に爪形の刺突文を施し，胴上部には沈線文を施す。

第5類

綾杉状・鋸歯状の沈線文を施す。口縁部は平口縁，山形口縁がみられる。口唇部に刺突を施すものもある。

第6類

口縁部が外反し，胴部がやや膨らむ器形。口縁部の刺突間に沈線を施す。

第7類

口縁部が外反する。口縁部は平口縁，山形口縁の2種類で口唇部に刺突がみられるものもある。二叉状工具や篦状工具による連点・短沈線・連続刺突を施す。

第8類

やや幅広の篦状工具等による刺突を施したもの。器形等でさらに細分可能であるが，ここでは一括して取り扱う。

第9類

口縁端部を肥厚させ，短沈線文・刺突を施し，その下位に連続刺突や沈線文を施す。口縁部は，平口縁，波状口縁の2種類が見られる。

第10類

口縁部の上端と下端に横位の突帯を貼り付け，突帯上に刺突などを施す。突帯間には，鋸歯文や綾杉文を施す。

第11類

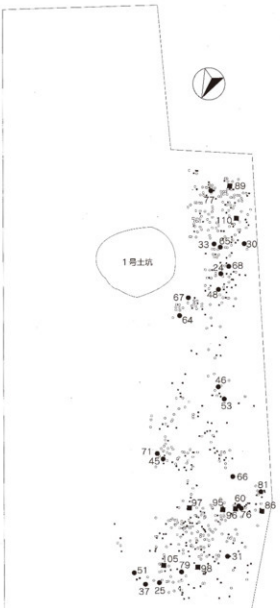
口縁部が肥厚しない無文の土器。胴の張らない深鉢と鉢とがある。

第12類

口縁部が断面三角形または蒲鉾状に肥厚し，胴部が膨らむ。肥厚部下位には，斜沈線文が施される。胴上部に刻目突帯がめぐる。

第13類

口縁部が断面三角形または蒲鉾状に肥厚する壺形土器。口縁部直下から胴部上半にかけ細い粘土紐を貼り付け，その両端に二叉状工具による連続刺突を施す。粘土紐を中心として羽状に沈線を施すものもみられる。平口縁と突起を有するものがある。




第６図　１トレンチ遺物出土状況

第14類

口縁部が断面三角形または蒲鉾状に肥厚する。深鉢と壺がある。口縁部は，平口縁と緩やかな波状，突起付きがある。頸部に沈線文を施すものもみられる。

第15類

口縁部が逆Ｌ字状を呈する。

第16類

第１～16類に分類されなかったものを便宜的に本類に一括した。

土器の胎土は，次の２類に大別した。

A類

粘質の胎土で，鉱物粒・砂礫等を多く含むもの。１mm以上の粗い粒子を含むものもある。

B類

泥質の胎土で，粗い鉱物粒をほとんど含まないもの。

また，胎土に混入する代表的な鉱物については，実体顕微鏡により観察し，多→少を◎→△で表した。その結果金雲母の有無で顕著に分かれる。金雲母を含む花崗岩が露頭しているのは，北の徳之島と，さらに北の屋久島が顕著であり，沖永良部島や与論島では知られていないので，これらは島外から搬入された可能性がある。

## 第４節　各トレンチの調査

### （１）１トレンチの調査（第５図・第６図・図版４）

１トレンチは，昭和32年九学会調査地の北隣の畑地西側に設定した。砂浜から約12mの崖上にある。調査面積は約100㎡である。重機により南方向に表土を除去したところ，約60㎝で暗褐色の遺物包含層が確認されたため東西方向にトレンチを拡張し包含層の掘り下げを行った。地形は，海岸に向かい西側に傾斜している。トレンチ東側は畑として整地した際に削平を受けているようで表土から30㎝ほどで地山の赤土層が確認された。包含層出土遺物は土器，石器類が中心で，縄文時代中期から晩期相当期である。自然遺物はほとんど確認されていない。トレンチ中央部分では土坑が検出され１号土坑とした。

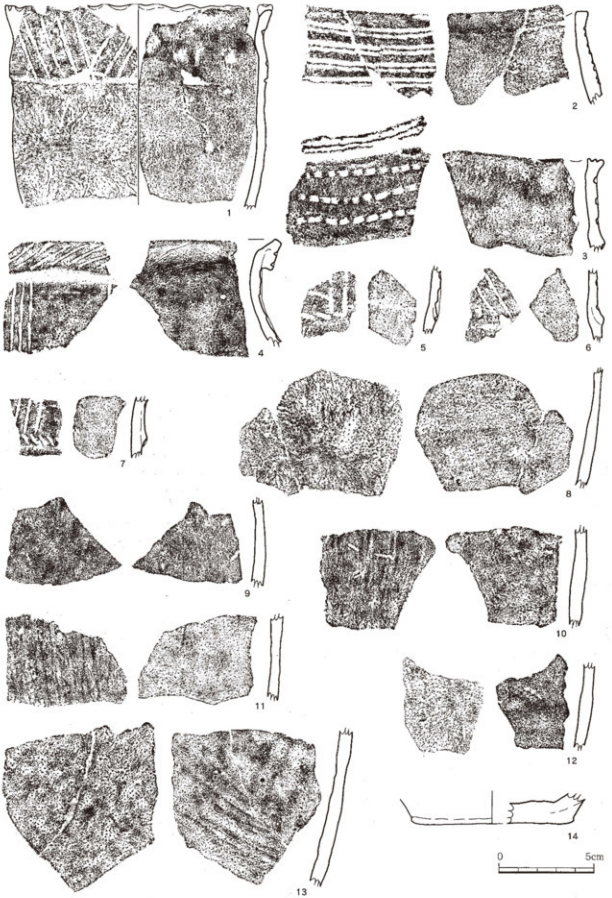
#### ①１号土坑（図版19）

平面形は，１ｍ×0.9ｍで隅丸方形を呈する。調査では，南側1/2を掘り下げた。遺構理土は黒褐色である。遺物は，土器片や石器類が中心で貝・獣骨・魚骨等の自然遺物はほとんど認められない。

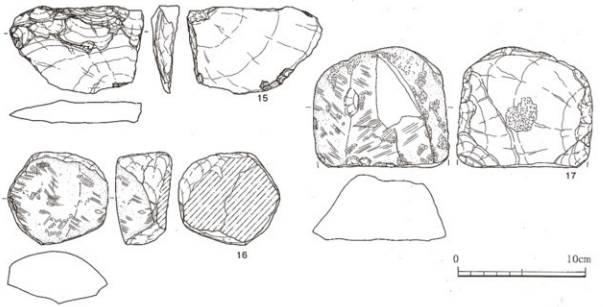
#### 土　器（図版19）

第５類（第７図１）

１は，口縁部が外反し，口唇部に刺突を施し，口縁部に斜沈線，横位の沈線がみられる。




第７図　１号土坑出土土器




第８図　１号土坑出土石器

第７類（第１図２）

２は，二叉状工具による２点１組の連点を施す。口縁部は山形を呈する。

第８類（第１図３）

３は，やや幅広の工具による連続した刺突が施される。口唇部にも２叉状の工具による連続刺突がみられる。口縁部は山形を呈する。胎土は，１㎜大の鉱物粒を多量に含む。

第９類（第１図４～７）

４は，口縁端部に粘土紐を貼り付け肥厚帯を形成する。肥厚帯には斜位の沈線を施し，その下に刺突気味の縦位の短沈線を連続して施す。胎土は，鉱物粒を多量に含み，焼成は良好である。５～７は胴部近くの破片で，沈線や刻みが施される。

胴　部（第１図８～13）

９は，胎土が緻密で焼成は良好である。10・11は外器面に，13は内器面に調整痕がみられる。

底　部（第１図14）

14は，平底の底部である。

## 石　器

15は背部に整形剥離が見られ，一側縁が鋭く刃部として使用されている。16・17は磨石・敲石で，17は平坦面の中央に敲打による凹みがある。

## ②その他（図版39～41）

## 土　器

第１類（第９図18～21）

20は横位の突帯貼り付け後に，縦位の突帯が貼り付けられている。21は，突帯上下に数条の沈線がみられる。突帯の施文は貝殻内唇によるものだと思われる。

第３類（第９図22～27）

22は，口縁部肥厚帯に斜位の沈線が密に施される。24は，横位の刺突と沈線が施される。25は，鋸歯状の沈線間に刺突がみられる。27は口縁部が外反し，わずかに肥厚した文様帯に沈線が施される。

第５類（第９図28～35）

29は，厚手の土器でしっかりとした沈線が施される。33は綾杉状の沈線が施され，口唇部に刺突もみられる。胎土は，砂礫等を多量に含む。34・35は同一個体で，口縁部に斜沈線，胴部に突帯が廻る。胎土は，砂礫等を多量に含む。

第７類（第10図47～49）

47は，口縁部に突起をもつ。48は，２点１組の短沈線が横方向に２条施される。49は，横位と鋸歯状の連点が施される。

第８類（第10図50～57）

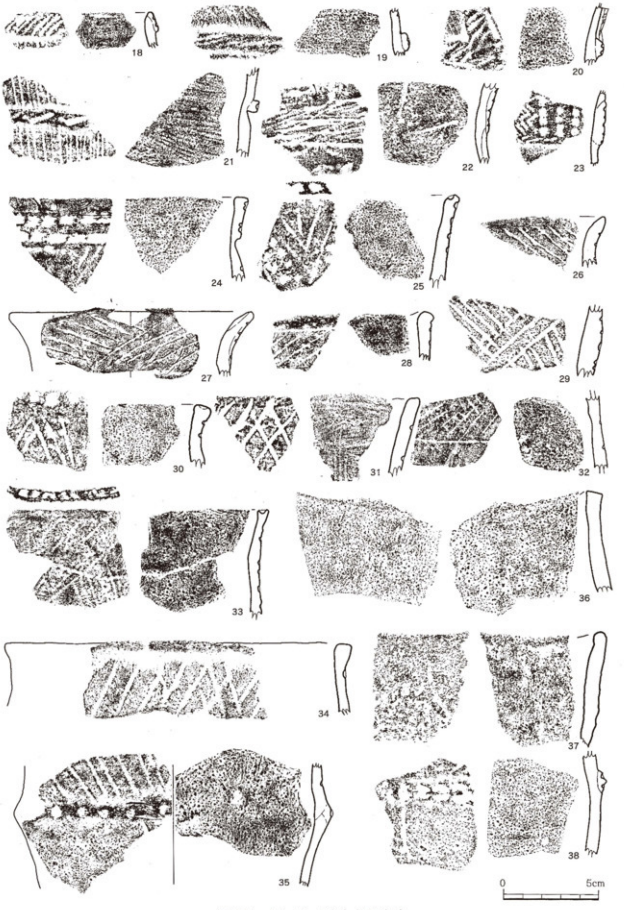
50～52は横方向の刺突が２条～４条みられる。53・54は刺突と沈線が施される。55は沈線と突帯上に刺突がみられる。57は口縁部がＬ字に張り出した器形である。

第９類（第10図41～46）

41は突帯に連続した刺突，42・43は突帯上に刺突・下位に沈線，44・45・46は突帯上に短沈線・下位に沈線の組み合わせである。

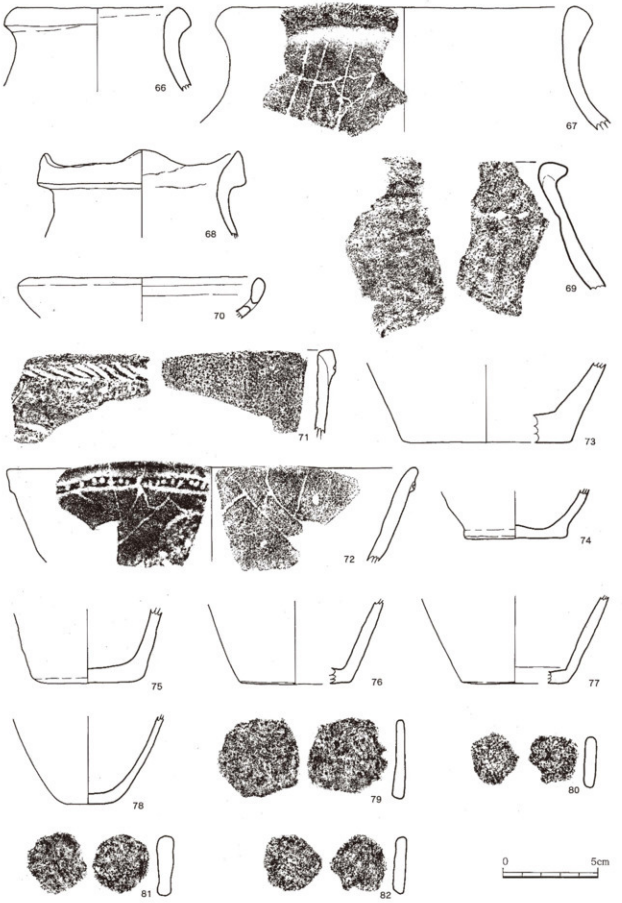
第10類（第９図38　第10図39～40　第11図71～72）

39は，上下の刻目突帯間に綾杉文が施される。40は，薄手の土器で突帯間に鋸歯文が施される。71・72は，鉢形土器で，71は，刻み，72は，刺突が施される。いずれも胎土は細かく，砂礫等をほとんど含まない。

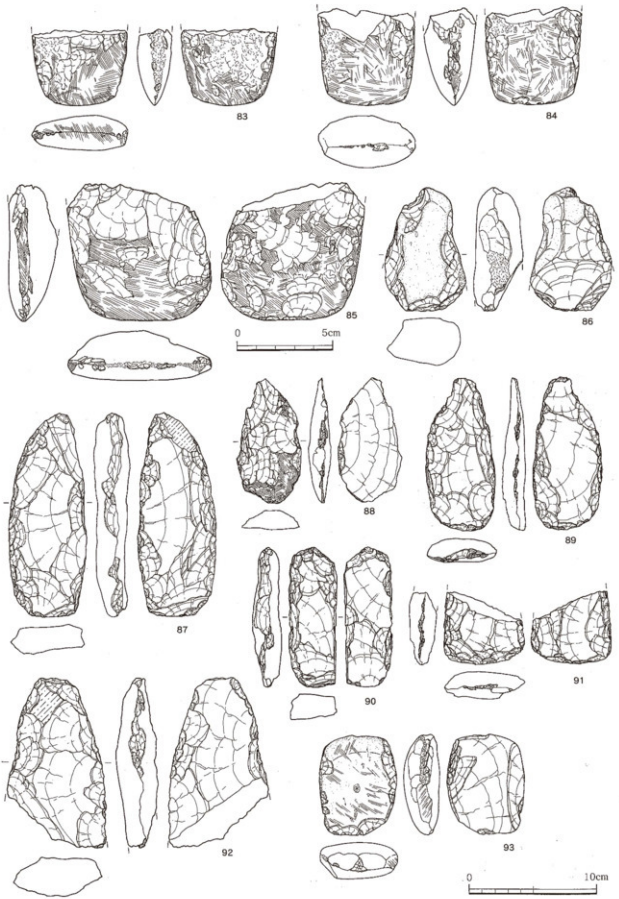



第９図　１トレンチ出土土器（１）

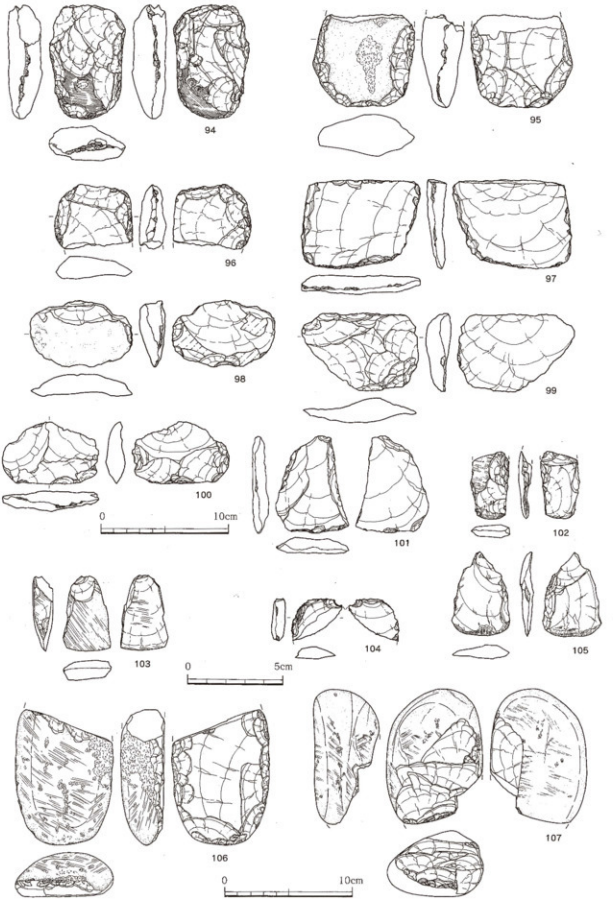
第10図　1トレンチ出土土器（2）



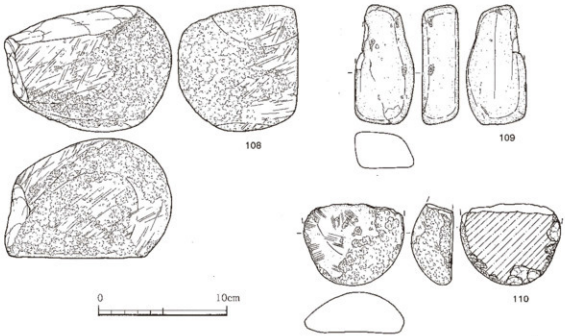

第11図　1トレンチ出土土器（3）




第12図　1トレンチ出土石器（1）




第13図　1トレンチ出土石器（2）




第14図　1トレンチ出土石器（3）

第11類（第9図36・37　第11図70）

36は口縁部がやや内傾する山形口縁の土器である。37は波状口縁をなす鉢形土器の口縁部と思われる。70は，浅鉢で補修孔がみられる。胎土に砂礫等をほとんど含まない。

第12類（第10図58～61）

58は，口縁部が肥厚し，斜め方向の沈線文が施される。59・60・61は胴部片で斜め方向の沈線と，その下に廻る突帯に刻みが施される。

第13類（第10図62～63・65）

62・63は，細突帯が貼り付けられ，二叉状工具による刺突が加えられる。突帯間には沈線が施される。第12類との中間的である。64は，縦方向に刺突の施された細突帯が貼り付けられる。

第14類（第11図66～68）

67は，斜位の沈線が施される。68は，断面三角形の口縁部で，突起をもつ。

第16類（第10図64　第11図69）

64は，壺形土器の頸部と思われる。縦位の沈線の両側に羽状の文様を施している。69は，断面三角形の口縁部で胴が張る器形である。

底　部（第11図73～78）

底部は，すべて平底である。74は，薄手の土器で底部付近に若干くびれをなす。78は，薄手の底部で丸底気味である。

土製円盤（第11図79～82）

## 石　器（第12図～第14図）

83～85は磨製石斧で，伐採斧と考えられるものである。86～96は打製石斧として分類したが，86・92・94・95については，磨製石斧の未製品ないしは破損品と考えられる。93は磨石・敲石への転用品である。その他の打製石斧については，身が伐採斧としては薄く，87・88・89・90が製品とした場合は，土掘具として判断したい。

97～101は，鋭い一側縁を刃部とし，背部や周縁に整形剥離を行うものである。刃部に使用痕と考えられる剥離がある。スクレイパーとして一応分類している。102～105は小型の石器で，整形後に研磨が加えられるものである。104をのぞいて刃部が研ぎ出されており，石斧のミニュチュアのようである。実用品ではないと考えている。106～110は磨石・敲石で，円礫素材の106・107・108・110は研磨痕と細かな敲打が見られる。強い敲打により，節理などで割れた後も使用している。

## （2）2トレンチの調査（第5図・第15図・図版5）

2トレンチは，1トレンチ南側に設定した。調査面積は約180㎡で地形は1トレンチとほぼ同様である。トレンチ東側では，長径8.8m・短径6.8mの楕円形の範囲で混貝層が確認された。検出面は表土から約20cmで，地表面には貝や土器片等が多量に散乱していた状況から，上部は削平や攪乱を受けていると思われる。当初T字にサブトレンチを設定したが，最終的には1/2を掘り下げた。窪地状の場所に遺物が廃棄されたものと考えられる。遺物は，土器・石器類以外に貝・魚骨・獣骨・マイマイ等を多量に含む。鹿角も出土している。西側は，基盤の石灰岩がみられるが，その間

第15図　2トレンチ遺物出土状況

第16図　1号集石検出状況

に遺物の堆積が確認された。土器・石器類が中心である。簪状骨製品が1点出土している。トレンチ中間地点では集石が1基確認された。埋土中から貝小玉が出土している。

**①1号集石（第16図・図版5）**

1号集石は直径約1.2mの円形で，地山の赤褐色粘質土を若干掘り込み，その中に石灰岩礫等を集積している。埋土は灰褐色を呈し，砂が混じる。マイマイ・貝類・炭化物・焼結粘土などが含まれる。石斧，貝玉1点の出土があった。

**貝製品（第17図）**

貝玉はイモガイの殻頂部分を研磨したもので，両面ともよく研磨されている。

**②その他**

**土　器（図版42～46）**

第1類（第18図112～117）

112は，斜位の沈線が施された突帯間に鋸歯状文，その下に沈線が垂下する。113は，口縁部突帯に，貝殻内唇によるものと思われる施文がなされる。117は，口縁部に3本の突帯が貼り付けられ，下部に沈線が施される。1mm大の石英粒を多く含む。

第2類（第18図118）

横方向に4条の押し引きが施される。上部2条は，途中で施文の方向が逆になる。

第3類（第18図119～120）

119は，階段状の沈線による区画と鋸歯文が施される。120は，縦位，斜位の沈線間に刺突が施される。

第4類（第18図121～122）

121は，刺突と鋸歯文，122は，刺突と横方向の沈線の組み合わせである。

第5類（第18図123～132）

123は，やや胴部の膨らむ器形で羽状に文様が施される。平口縁である。124は，不規則な沈線と刺突が施される。126は，接合資料で，山形口縁で口唇部に刺突がみられる。口縁部には有軸の綾杉文が施される。

第6類（第19図133～134）

133・144とも口縁部上下の側突間に綾杉文が施される。沈線は力強く整然としている。

第7類（第19図146～152）

146・150は，2本1組の連点文がみられる。146は口唇部にも刺突が施されている。147は，沈線による施文である。148は，2本1組の短沈線による施文である。149・152は，山形口縁で，押し引き状の連続刺突が施される。

第8類（第20図153～158）

154は，3条の刺突がみられる。157は，口縁部が肥厚し，口縁部，その下に刺突が施される。158は，外反する器形で頸部に突帯がめぐり，その両側に刺突が施される。

第9類（第19図137～140）

137は，口縁部にやや幅のある肥厚帯を形成し，斜位の沈線を施す。肥厚帯下には横位の刺突がみられる。138は，肥厚帯直下に横位の連続刺突と，縦位の連続刺突が施される。

第10類（第19図142～144　第20図159）

142は，鉢形土器で口縁部に粘土紐を貼り付け刻みを施している。144は，補修孔と思われる孔がみられる。159は口縁部が外反する器形で，口縁端部に刻みを施し，その直下と胴上部に刺突を施し文様帯を形成する。文様帯には，縦位の刺突が2条と綾杉条の沈線が施される。第12類の要素が窺われる。

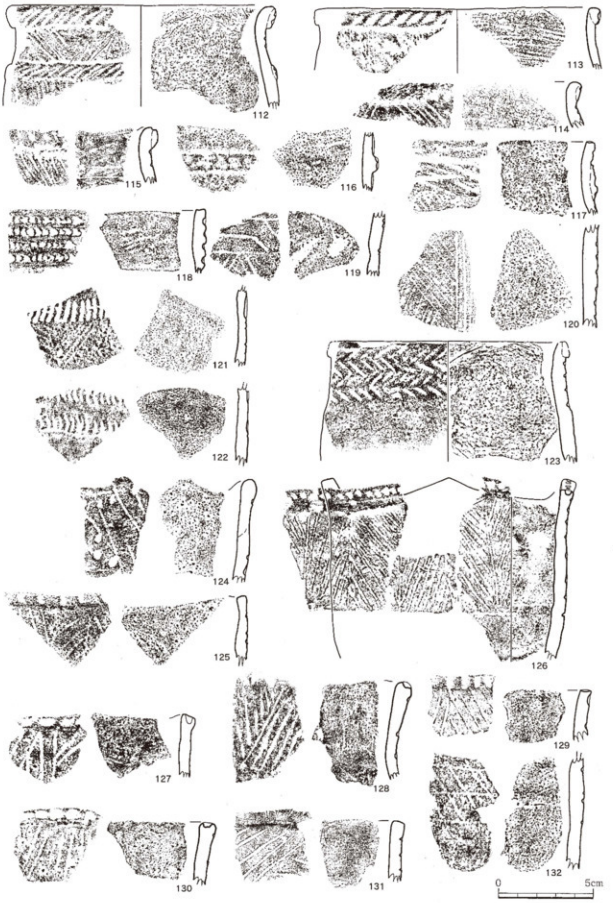
第12類（第20図160～162）

160は，やや肥厚した口縁部と胴上部の刻目突帯の間に斜位の沈線文が施される。

第13類（第20図163～170）

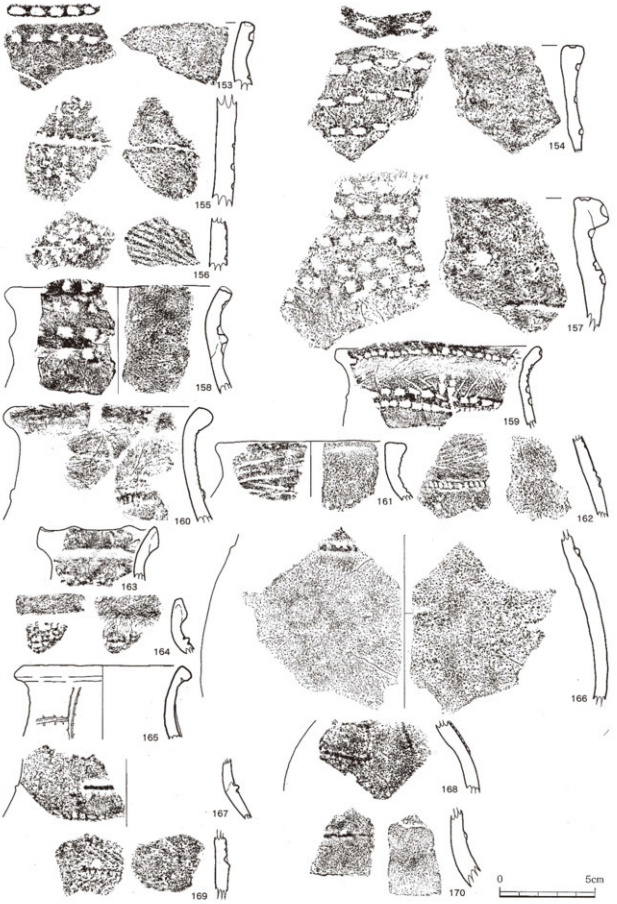
163は，小型の壺の口縁部と思われる。低い突起を有し，波状の口縁部をなす。頸部には，二叉状の工具による刺突がみられる。胎土は，鉱物粒をほとんど含

第17図　1号集石出土貝玉



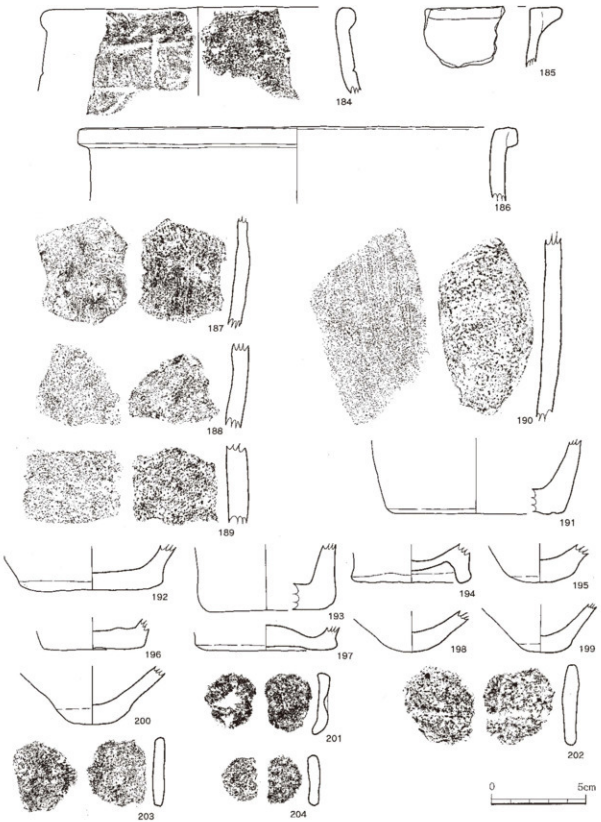

第18図　2トレンチ出土土器（1）

第19図　2トレンチ出土土器（2）

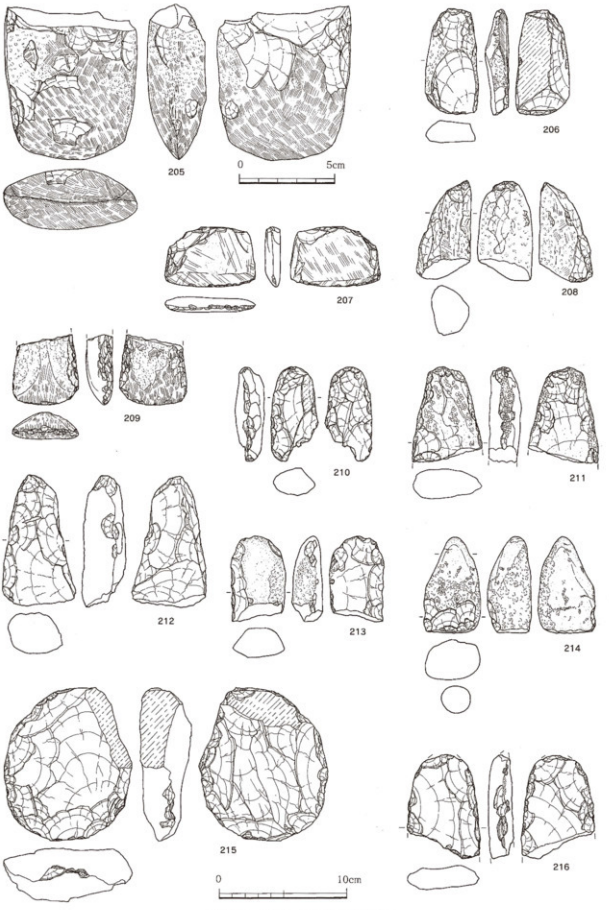



第20図　2トレンチ出土土器（3）

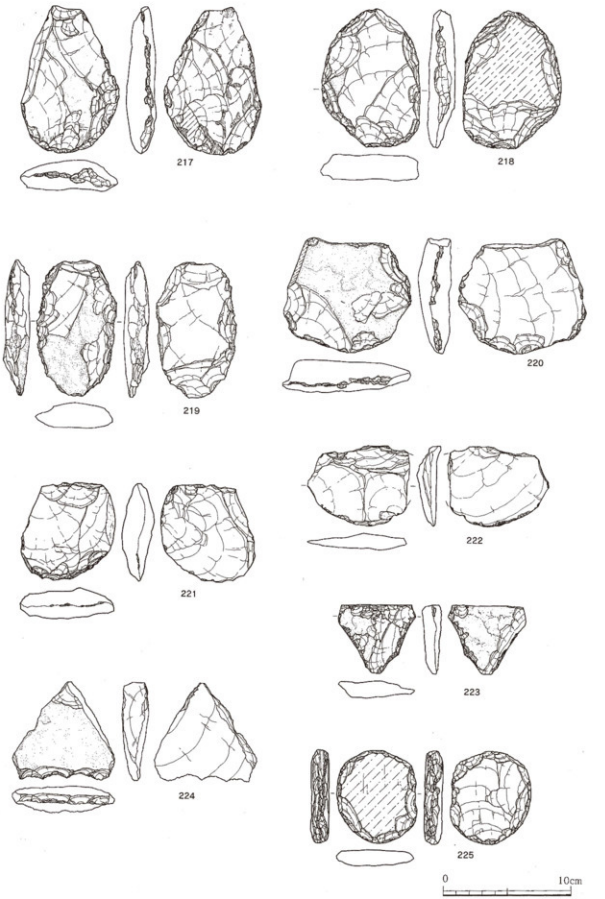
第21図　2トレンチ出土土器（4）



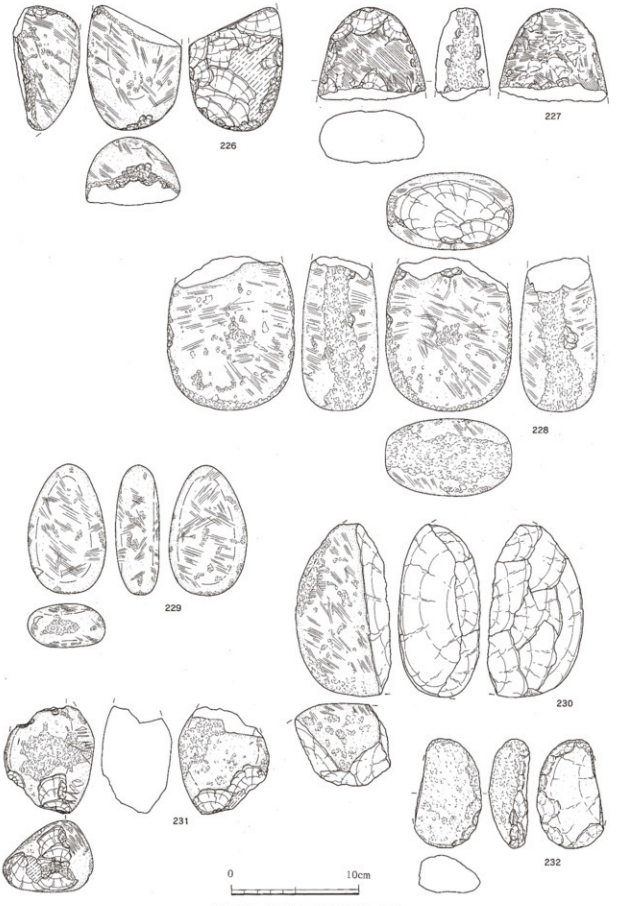

第22図　2トレンチ出土土器（5）



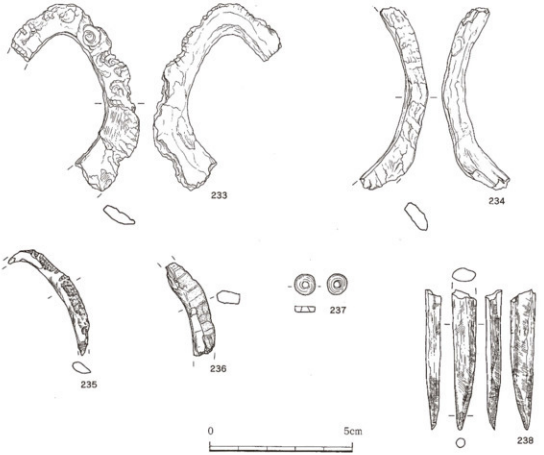

第23図　2トレンチ出土石器（1）




第24図　2トレンチ出土石器（2）




第25図　2トレンチ出土石器（3）




第26図　2トレンチ出土貝骨製品

まず，堅緻である。169は，微隆突帯の両側に羽状の沈線を施している。

第14類（第21図171～183 第22図184）

182は，口縁部の突起部分に刻みが施される。頸部には，微隆突帯と二又条工具による刺突がみられる。183は，縦位に3条の沈線がみられる。

第15類（第22図185～186）

186は，口縁端部がL字状をなす。弥生土器と考えられる。

第16類（第19図135～136・141・145）

135は，口縁部に突起がみられる。文様は，横位・縦位の沈線文が施される。136は，口縁部が「く」字条に屈曲する器形で突帯に刻みが施される。突帯間には，竹管条の工具による連続刺突が見られる。

145は，リボン状の突起を持った土器で，器色は黒褐色を呈する。黒川式の台付鉢と思われる。胎土は，黒褐色を呈し，鉱物粒をほとんど含まず，堅緻である。他の土器と明らかに胎土が異なり，搬入土器だと考えられる。

胴　部（第22図187～189）

190は，外面に調整痕が残る。

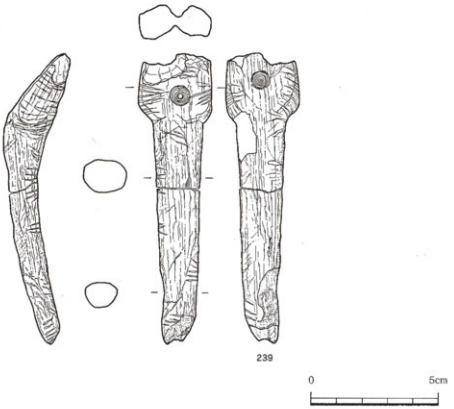
底　部（第22図191～200）

192・193・196は平底で，197は，やや上げ底気味である。194は脚台，195・198・199・200は丸底である。

土製円盤（第22図201～204）

**石　器（第23図～第25図）**

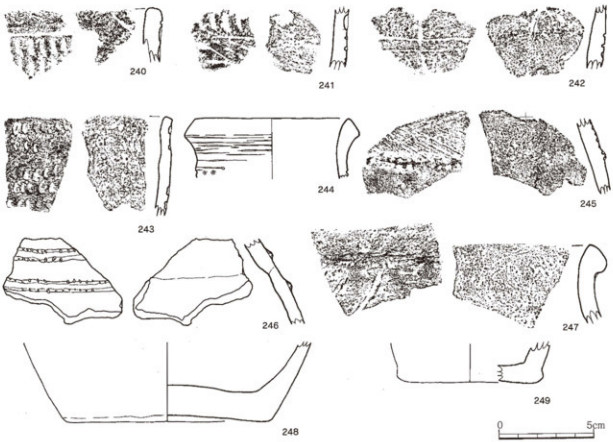
205は磨製石斧の刃部である。207は薄平な身で，表裏ともよく研磨され，刃部に使用痕が認められる。加工具の可能性がつよい。206・208・210～214は磨製石斧の基部である。215～220は打製石斧である。215は大型で220は基部を欠損している。221～224は鋭い側縁利用の剥片石器である。223は三角形の素材の2辺を使い，224は三角形の一辺を利用する。225は円盤状に整形剥離されており，用途は不明である。226～232は磨石・敲石類である。




第27図　2トレンチ出土骨製品

**貝製品等（第26図・第27図・図版55）**

233～236はオオツタノハの貝輪である。237はイモガイの貝玉で，238は骨針とした。238は先端に石器の彫器様の使用痕が観察され，先端を使ってより軟質なものの加工を行った可能性がある。239は海獣骨を使ったかんざしで，先端部が欠損し，基部に穿孔痕跡が見られる。未穿孔である。両側面に沈線状に細かな刻みが施される。ジュゴンの骨と思われる。




第28図　3トレンチ出土土器

### (3) 3トレンチの調査（第4図・第5図・図版6）

2トレンチの南東方向，九学会調査地点の西側に設定し，面積は約13㎡である。周辺は地表面の所々に基盤岩が露出している状況であったが，その切れ目にトレンチを設定した。北西側は，撹乱を受け，暗褐色混員土に赤土ブロック混入する状態であったが，南東側には混員層の部分的な残存が認められた。

### 土　器（図版47）

第4類（第28図240～241）

240は，横位の沈線と爪形の刺突が施される。241は，斜位の沈線がみられる。

第5類（第28図242）

242は，横位に2条の沈線と斜位の沈線がみられる。

第8類（第28図243）

243は，横位の刺突が施される。

第12類（第28図244～245）

244は，口縁部が肥厚し，頸部に横位の沈線が施される。245は，綾杉条の沈線と二叉条工具による刺突の施された微粒突帯がめぐる。

第13類（第28図246）

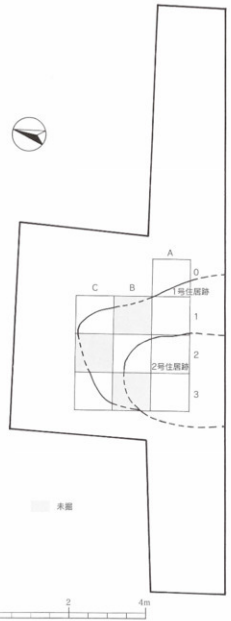
246は，細突帯両端に刺突が施される。

第14類（第28類247）

247は，肥厚する口縁部下に斜位の沈線が施される。

底　部（第28図248～249）

248は，底径約12㎝の大型の底部である。




第29図　4トレンチ遺構検出状況

### (4) 4トレンチの調査（第29図・図版6）

4トレンチは，1～3トレンチより山側のほぼ平坦な地点に設定した。調査面積は約50㎡である。重機で表土を除去すると，しまりのない遺物や石灰岩礫混じりの撹乱部分が確認されたため，撹乱部分をある程度除去した段階で人力による掘り下げを行った。撹乱部分の下には黒褐色包含層が残存しており，不定形であった。そこで下層に遺構の有無を確認するため1m×1mのグリッドを設定し，一部掘り下げを行った。A-0・C-1・C-3グリッドで住居跡の壁面の立ち上がりが確認された。A-2には壁として大きな石灰岩が配置されており，A-0・C-1・C-3グリッドで壁面が検出されている住居跡と切り合っているものと判断し，外側を1号住居跡とし，内側を2号住居跡とした。

#### 土　器（第30図・図版48）

第3類（第30図251）

251は，口縁端部に刺突，その下に沈線文が施される。

第4類（第30図257）

257は，竹管状工具による横位の刺突と，鋸歯状の沈線文がみられる。胎土に鉱物粒は少なく，堅緻である。

第5類（第30図252～256）

254は，文様は，山形に沿って一条，頂部付近から3条の縦位沈線が施される。

第7類（第30図259）

259は，横位に二叉状工具による連続刺突がみられる。

第8類（第30図260～262）

261は，横位と縦位の刺突が組み合わされる。

第11類（第30図250・258）

250は，無文の口縁部片である。

第12類（第30図263・264?）

263は，斜位の沈線と微隆突帯両側に連続刺突がみられる。

264は，縦位の微粒突帯両側に斜位の沈線が施される。

第13類（第30図265）

壺形土器の口縁部で，微隆突帯両側に連続刺突が施される。

底　部（第30図266～267）

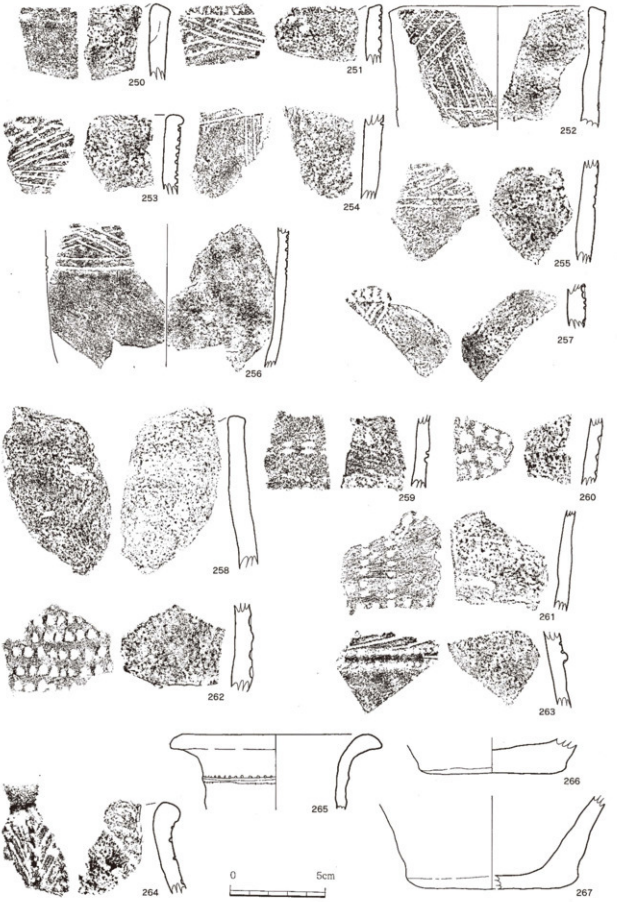
ともに平底である。

#### 石　器（第31図～第32図・図版49）

268・269は磨製石斧の未製品であろう。整形剥離と敲打による整形が軽くなされ，刃部形成はまだ行われていないものと判断した。270・271は打製石斧である。272は縦長剥片であるが，一側縁に微細な剥離が観察される。273～277は磨石・敲石類である。

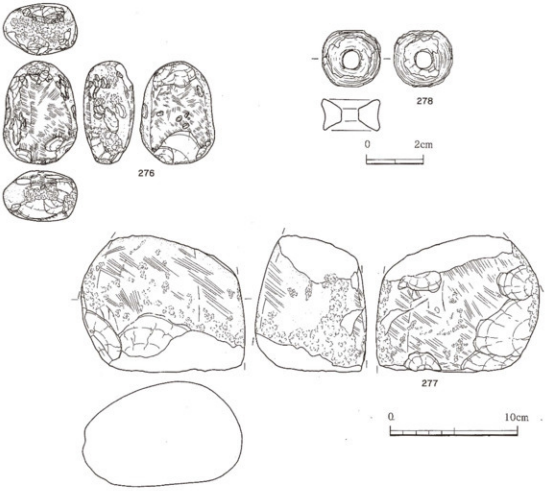
#### 骨製品（第32図・図版49）

278はサメの椎骨を使い，中央に穿孔があるもので，耳たぶに穴をあけ，そこに入れ込む耳栓と考えられる。

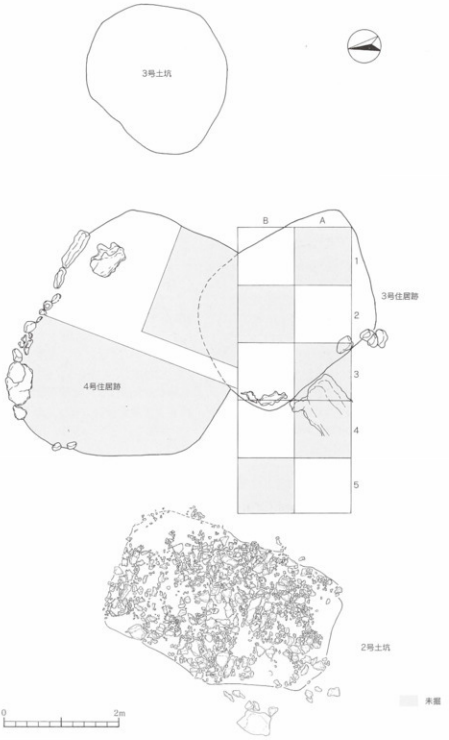



第30図　4トレンチ出土土器

第31図　4トレンチ出土石器




第32図　4トレンチ出土石器・骨製品




第33図　6トレンチ遺構配置図

第34図　３号住居跡出土土器

### (5) ６トンチの調査（第５図・第33図・図版７）

６トンチは２Ｔ東側の一段上がった地点に設定した。調査面積は約130㎡である。調査前は荒れ地になっており，かなりの期間耕作は行われていなかったようである。

表土は薄く，重機により30㎝ほど掘り下げた時点で遺物が混ざりはじめたため，人力で撹乱部分を掘り下げた。４号住居跡は北側の石列が確認されたが，中央付近は不明確で，遺構等を把握するため黒褐色混貝層に１ｍ×１ｍのグリッドを東西方向に設定し千鳥掘りで掘り下げを行った。Ｂ－１区とＢ－３区で，掘り込みの立ち上がりが確認されたため，全体を少し下げてプランを把握した。これが３号住居跡である。

後に，トレンチを拡張し遺構の広がりを確認した。その結果，複数の遺構が確認され，３・４・５号住居跡，２・３号土坑とした。３・４号住居跡は切り合っている。この切り合い関係と，４号住居跡の堆積状況を把握するため，サブトレンチを設定した。その結果３号住居跡が４号住居跡を切っていた。最終的には４号住居跡は，1/4を掘り下げた。遺構壁面の一部には礫が配置されている。５号住居跡は，６Ｔの西側拡張部分から検出された。基盤石灰岩を壁の一部として利用し，周囲に石灰岩小礫が敷む形態である。貝輪・簪状骨製品が出土している。

#### ①３号住居跡（図版８）

３号住居跡は，1.4ｍ×1.1ｍのほぼ隅丸長方形のプランで，南西壁側の一部は基盤石灰岩を利用し，礫の配置もみられる。遺構埋土は，黒褐色で，土器や，貝類・魚骨・獣骨等の自然遺物を多量に含んでいる。

第35図　4号住居跡西壁断面図

**土　器（図版21）**

第5類（第34図279～281）

279は，口縁部で横位と斜位の沈線が施される。

第14類（第34図284～286）

284は，開延びした断面三角形の口縁部で，突起をもつ。

第16類（第34図282～283）

282は，短沈線が不規則に施される。283は，やや外反する口縁部形態で，深い沈線文が斜位に施される。口唇部にも刻みが施されている。微細粒を多く含み，焼成は比較的良好である。

胴　部（第34図287～288）

287は，内外面とも指頭による押圧痕が残る。288は，器面が丁寧に調整されている。

底　部（第34図289～291）

289・290は平底，291は丸底である。

**②4号住居跡（図版8）**

4号住居跡は，隅丸方形のプランである。北壁には一部礫を配置する。埋土は，黒褐色を呈するが3号住居跡より若干明るく，3号住居跡埋土が自然遺物を多量に含み混貝層を形成しているのに対し，極めて少ない。3号住居跡との切り合い関係を把握するため，サブトレンチを設定した。その結果，3号住居跡の遺物を多量に含んだ埋土が4号住居跡を切っている状況が確認された。最終的には1/4を掘り下げたが，遺物は土器片が中心で貝・魚骨等の自然遺物は少ない。床面は，基盤石灰岩が一部露出しているが，中央付近では焼土面も検出された。

**土　器（図版21）**

第12類（第36図293・296）

293は，口縁部が断面三角形に肥厚する。その直下から斜位の沈線が施されている。

第14類（第36図294）

294は，平口縁で口縁部が断面三角形を呈する。胎土に1㎜～3㎜の鉱物粒を多く含む。焼成は比較的良好である。

第16類（第36図292・295）

292は，口縁部が肥厚し，横位に羽状の短沈線が，肥厚帯下には，横位の短沈線が施される。土器内面は指頭によるナデ調整が行われている。295は，壺形土器で，口縁部が蒲鉾状に肥厚する。頸部に2条の突帯を貼り付け，突帯両端には凹線が廻る。

胴　部（第36図297～299）

297は，壺の胴上部だと思われる。内器面は，粘土の継ぎ目や指頭による押圧痕がみられる。

底　部（第36図300～301）

300・301とも丸底で，301はやや尖り気味である。

**③5号住居跡（第37図・図版8）**

5号住居跡は，3号住居跡の南西側で検出された単独の住居跡でプランは長方形である。北東壁は，基盤石灰岩に沿って礫が配置され，北西壁の一部は，小礫を約30～40㎝の幅で配置した構造になっている。南西側は，畑境の石垣と接しているためトレンチの拡張が困難であり完全なプランの検出には至らなかった。西側は，床面まで約10㎝であったが，中央部一段落ち込む構造で，礫が詰まっている。遺物も比較的含まれ，調査期間内に床面の検出には至らなかった。最も豊富に貝製品や骨製品が出土した住居跡である。

**土　器（図版22～25）**

第4類（第38図302）

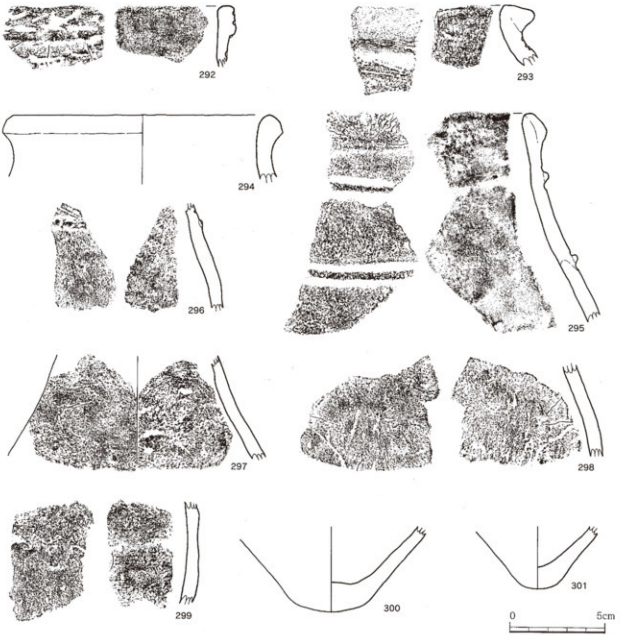
302は，爪形の刺突が横位に2条みられる。器面の摩滅が激しく，他の文様は不明である。

第5類（第38図303～305）

304は，やや外反する山形口縁の土器である。鋸歯状の沈線が不規則に施される。口唇部には沈線が1条施される。やや厚手の土器で，1㎜大の石英粒を多く含む。

第8類（第38図306～307）

306は，半裁竹管状の工具による横位の刺突が連続して施される。胎土は，鉱物粒をほとんど含まず，焼




第36図　4号住居跡出土土器

成は良好である。307は，横位に押し引き状の連続刺突が2条確認できる。

第10類（第38図308）

308は，2条の貼り付け突帯を廻らし，その間に斜位の細沈線を施す。

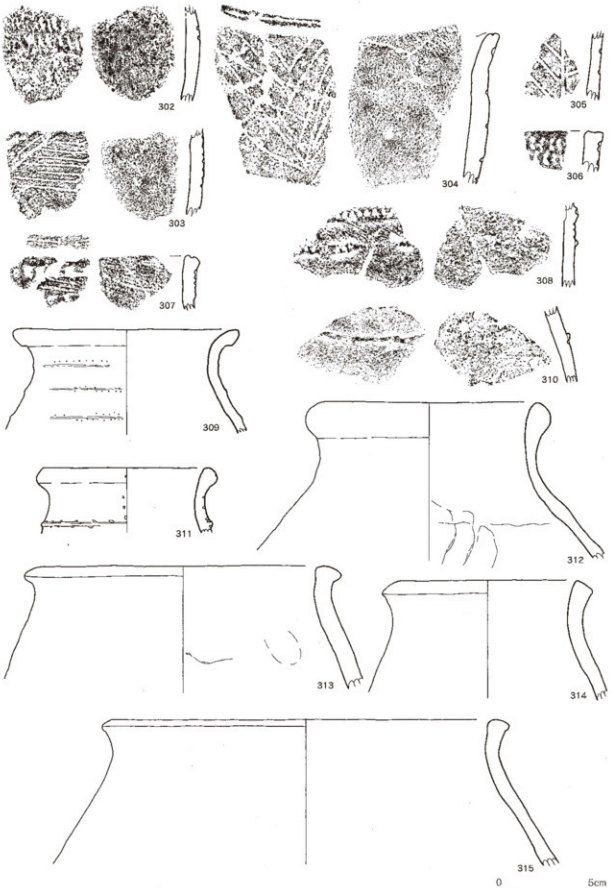
第13類（第38図309～311）

309は，口縁部が外反する器形で，頸部に細突帯を貼り付け，両端に刺突を連続して施す。内器面は，ナデによる調整が行われている。311は，縦位にも細突帯が貼り付けられる。

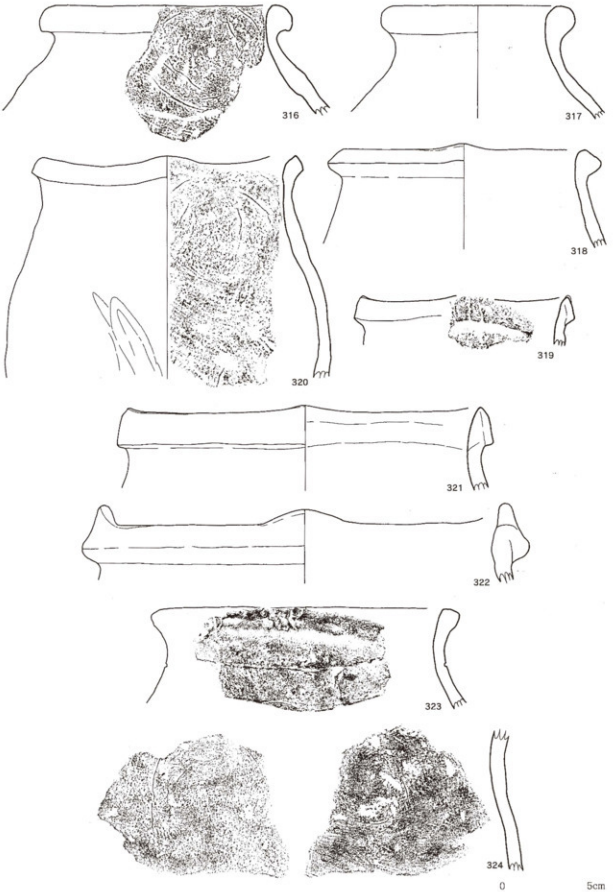
第14類（第38図312～315　第39図316～323）

312は，口縁部が漏鉢状を呈する壺形土器である。胎土はにぶい黄褐色を呈し，粒子は細かい。外面は器壁の剥離が激しいが，口縁部内面は指によるナデ調整が観察できる。316は，内器面の粘土の継ぎ目付近に調整による条痕が残る。320は，頸部がややしまり口縁部が外反する器形で波状口縁を呈する。内器面は，口縁部付近に指頭によるナデ調整が施されているが，胴部は，工具による調整痕が残る。319は，緩やかな突起を有し，3条の沈線が縦位に施される。322は，口縁部に突起をもつタイプである。突起の数については，他の出土例などから4カ所として図化した。

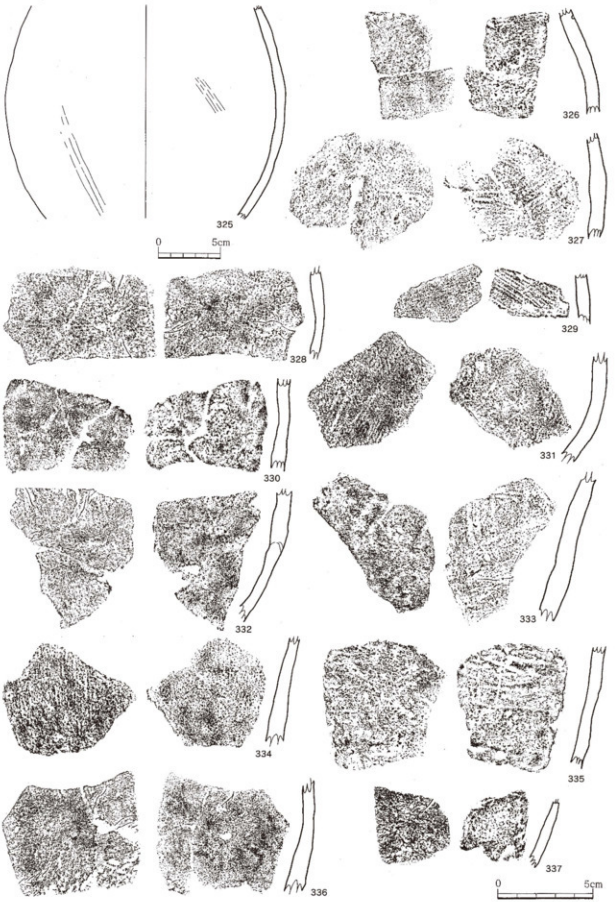
第37図　5号住居跡



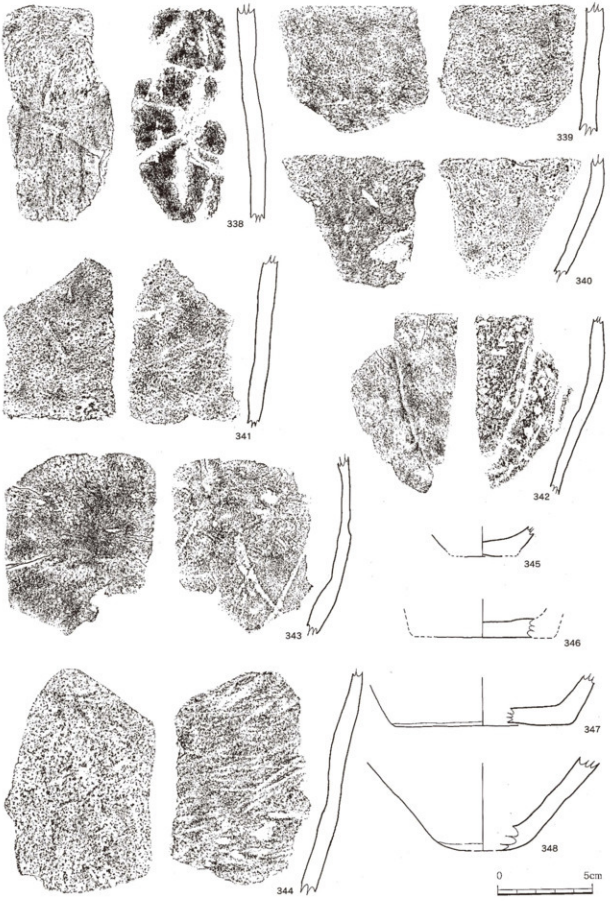

第38図　5号住居跡出土土器（1）




第39図　5号住居跡出土土器（2）




第40図　5号住居跡出土土器（3）




第41図　5号住居跡出土土器（4）

第42図　5号住居跡出土土器（5）

胴　部
（第39図324　第40図325～337　第41図338～344）
324は，調整による条痕が残る。325は，接合資料である。外器面は，ナデによる調整が施されているが一部条痕が残る。内器面は，貝殻によるものと思われる調整痕をナデ消している。
底　部（第41図345～348　第42図）
345・346・347は平底，348・349・350丸底である。

**貝・骨製品（第43図～第45図・図版26）**

351から360は貝輪である。352・353はゴホウラの貝輪で内外面ともよく研磨されている。353～360はオオツタノハの貝輪である。358は穿孔がある。361はゴホウラであり，362は骨製のもので，363はオオツタノハである。いずれも穿孔が施され，つなぎ合わせの貝輪ではないと判断し，垂飾品とした。364猪牙製で，穿孔している。365はイノシシ骨の可能性の強い骨製品で，全体が研磨され尖されている。366はサメ椎骨で，中央に穿孔がなされる耳栓である。368はクジラの骨と考えられるかんざしである。先端は欠損している。基部は1孔穿孔され，沈線が1条入る。基部の両側面に刻みが入れられている。369はマガキガイの赤い表層を生かして，方形に切り取り，周縁の各面に研磨痕がみられる。用途は不明である

**石　器（第44図）**

367は伐採斧の基部である。

**④2号土坑（第46図）**

2号土坑は，4号住居跡の西側に位置する。グリッドによる確認では，礫が検出された状態で判断が困難であったが，範囲を広げ礫の広がりを検出した結果，遺構であることが確認された。周囲に規則的な礫の配置は見られず礫面検出段階で住居跡と判断する決定的な根拠が得られなかったため土坑とした。何回か検出面の清掃を繰り返した後の平面図が第46図であるが，これをみると，中央のやや左（南）側寄りに石列があり，これを南側の1辺とする方形の住居跡の可能性がある。2基切り合った住居跡と考えられる。遺物は，掘削しておらず比較的少ない。

**土　器**

第5類（第47図370）
370は，口縁部がやや外反する器形で，沈線文が口唇部，口縁部に施される。
第11類（第47図373）
373は，無文で鉢形を呈すると思われる。器面は，丁寧なナデ調整がなされている。
第12類（第47図371）
371は，口縁部が断面三角形を呈し，斜位の沈線が施される。
第14類（第47図372）
372は，口縁部が断面三角形し，外反する器形である。内器面の粘土の継ぎ目には，押圧痕が残る。
底　部（第47図374）
374は，わずかにくびれる平底である。

**石　器**

375は打製石斧の基部，376は磨製石斧の基部である。377～379は磨石・敲石類であり，380は砥石である。

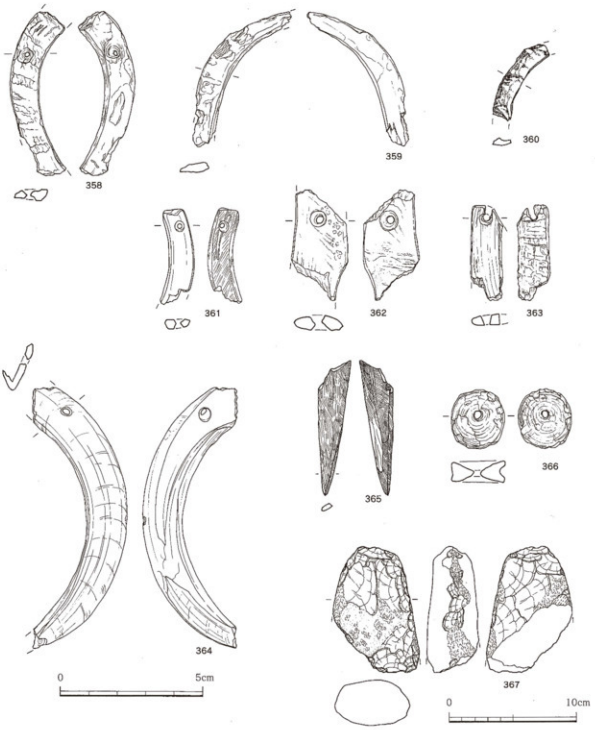
**⑤3号土坑**

3号土坑は，4号住居跡の東側に位置する。基盤石灰岩が一部露出しているが，礫の配置などはみられない。埋土は黒褐色である。掘り下げは行っていない。

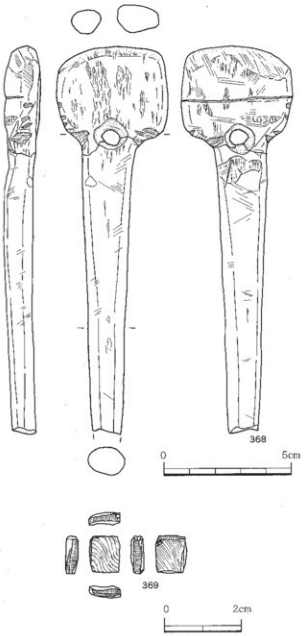
**石　器（第49図）**

検出面の埋土上面から381の磨製石斧が出土している。

第43図　6トレンチ出土貝製品

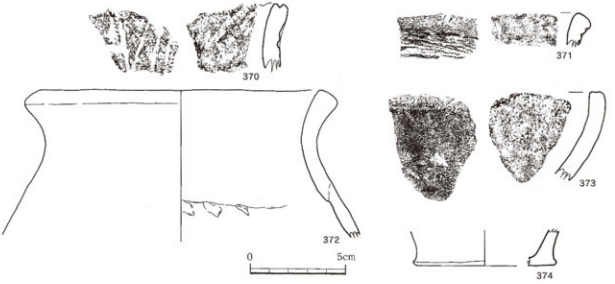



第44図　6トレンチ出土貝・骨製品・石器

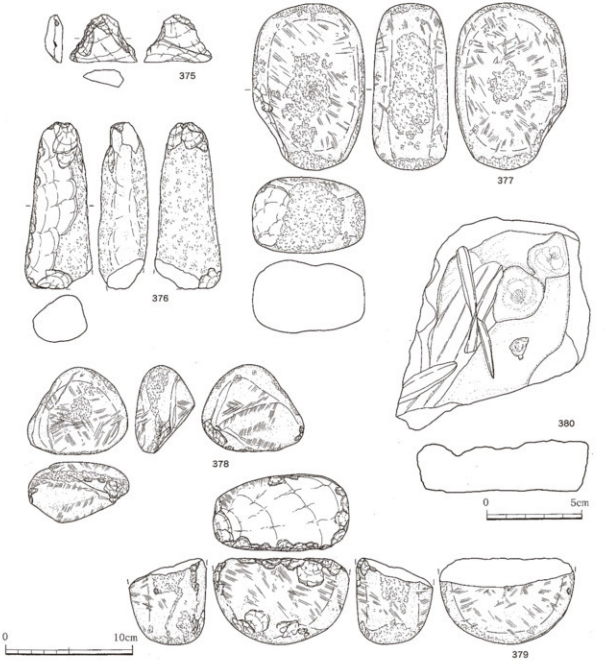



第45図　6トレンチ出土骨・貝製品

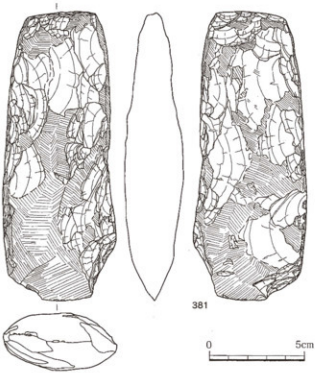
第46図　2号土坑検出状況




第47図　2号土坑出土土器




第48図　2号土坑出土石器




第49図　3号土坑出土石器

**(6) 10トレンチの調査（第50図・図版9～11）**

10トレンチは，4トレンチ北側のほぼ平坦面に設定した。調査面積は約90㎡である。包含層部分は攪乱を受けていたが，地山の赤土面で遺構を検出した。当初のトレンチで，7号住居跡と8号住居跡を検出し，拡幅したところ6号住居跡を検出した。面的に広げたところで，7号住居跡と8号住居跡の間に黒褐色の落ち込みがあり，サブトレンチで立ち上がりや床面を確認し，これを9号住居跡とした。6～9号住居跡が検出された。隣接する7・8トレンチには，遺構の広がりは確認されなかった。

なお，第50図は8号住居跡を半分掘り下げ，6号住居跡を完掘した状況の平面図である。

**①6号住居跡（第51図・図版11）**

6号住居跡は，ほぼ隅丸方形のプランで北西側に張り出しをもつ。周囲に石灰岩礫を組む構造で，埋土への礫の混入は少ない。遺構検出面で焼土が検出された。当初1/2を掘り下げたが最終的にはほぼ完掘した。床面には，焼土があり，その上部に白色の灰の堆積が認められた。埋土中間には比較的礫が多い面がみられる。埋土の堆積状況から判断すると2回以上の使用が考えられる。遺構内には柱穴とみられるピットが1つしかなかったが，竪穴周辺を精査したところ3つのピットが検出できた。

**土　器（図版27～28）**

第5類（第52図382）

382は，山形口縁の土器で，上面縁は方形を呈するものと思われる。3条を単位とした沈線が籠目状に施される。焼成は良好である。

第13類（第52図386～389）

386は，口縁部がやや外反し断面三角形を呈する。縦位に細突帯を貼り付け，両端に二叉状工具による刺突を連続して施す。

第14類（第52図385・390～392　第53図393～394）

391は，口縁部が断面三角形に肥厚する推定口径約20㎝の深鉢である。外面は比較的丁寧に器面調整がなされている。394は，縦位に細い沈線が施される。

第16類（第52図383・384）

383は，口縁部に幅約6の深い刺突を2条，その下に斜位の浅い沈線を施す。384は，横位に突帯を貼り付け，突帯上，突帯下に刺突を連続して施す。突帯は，土器全体を廻らず，一部分に貼り付けられていると思われる。刺突の方向は不規則である。突帯上位には，斜位の細沈線が施される。胎土には，石英・金雲母粒が目立つ。

無文胴部（第53図395～400）

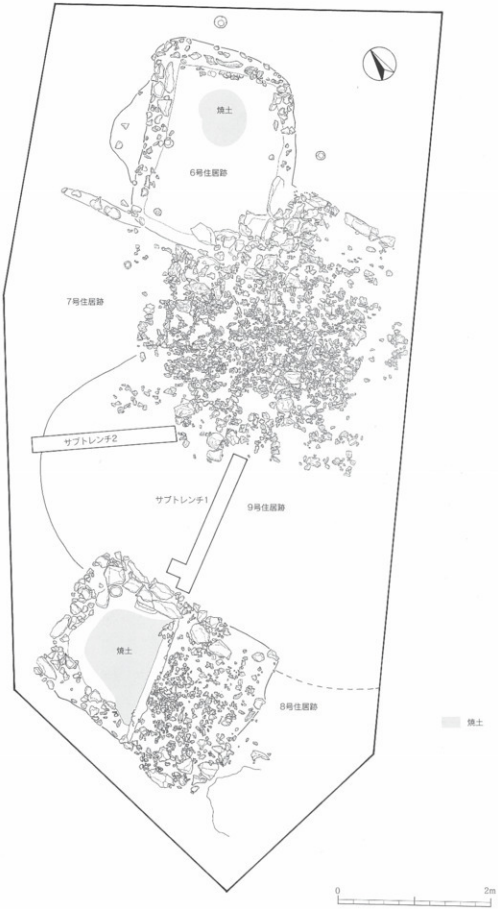
395～398は，第13類もしくは第14類の胴部片だと思われる。396は，石英等の鉱物粒を多く含み，焼成は，やや不良である。397・398はナデ調整が行われているが，内器面に調整痕が残る。400は，胎土が橙色を呈し，砂礫をほとんど含まない。外器面は，条痕をナデ消している。

底　部（第53図401～402）

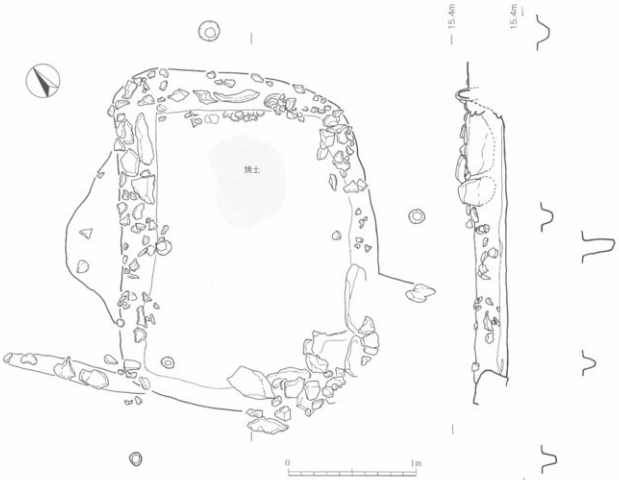
401は，平底で直線的に立ち上がる。402は，丸底である。

**貝製品等（第63図）**

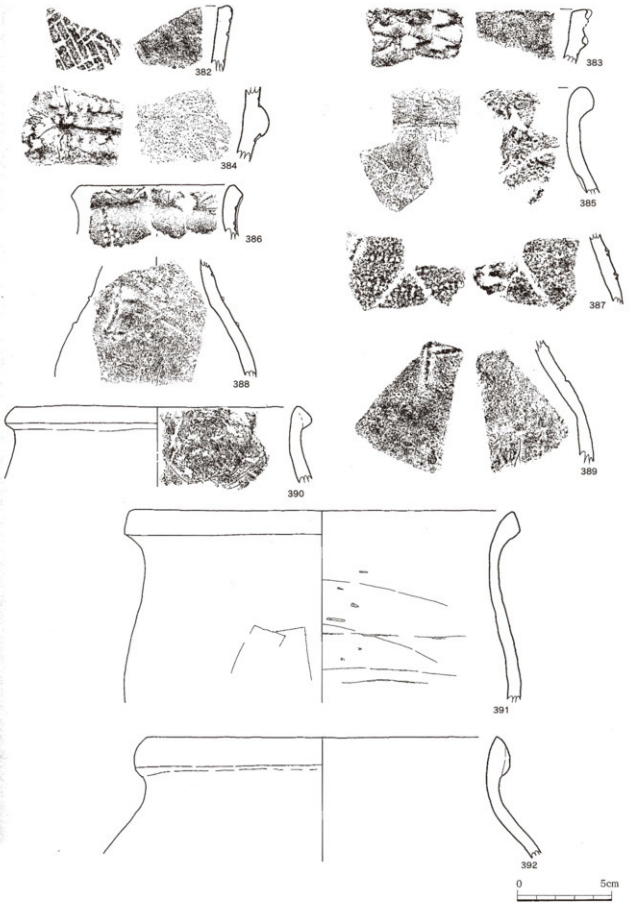
455・457はオオツタノハの貝輪である。



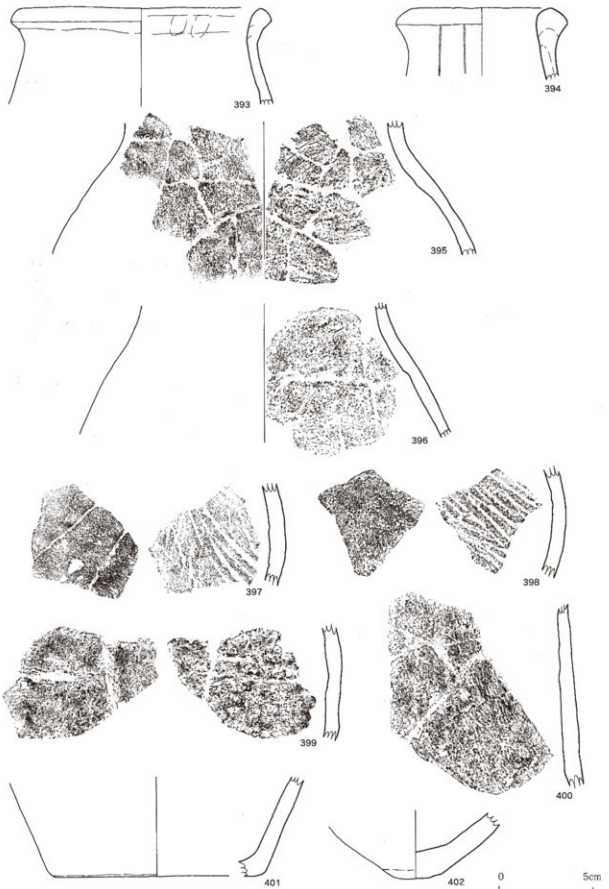

第50図　10トレンチ遺構配置図




第51図　6号住居跡




第52図　6号住居跡出土土器（1）




第53図　6号住居跡出土土器（2）

第54図　7号住居跡検出状況

**②7号住居跡（第54図）**

7号住居跡は，一面に石灰岩小礫が方形に広がり，東壁の一部には長方形の石灰岩礫が直線的に配列されている。北東隅が6号住居跡に切られている。また9号住居跡を切っている。礫面を検出し掘り下げは行っていない。

**土　器（図版29）**

第7類（第55図403）

403は，二叉状工具による2点1組の連点が施される。

第14類（第55図404～405）

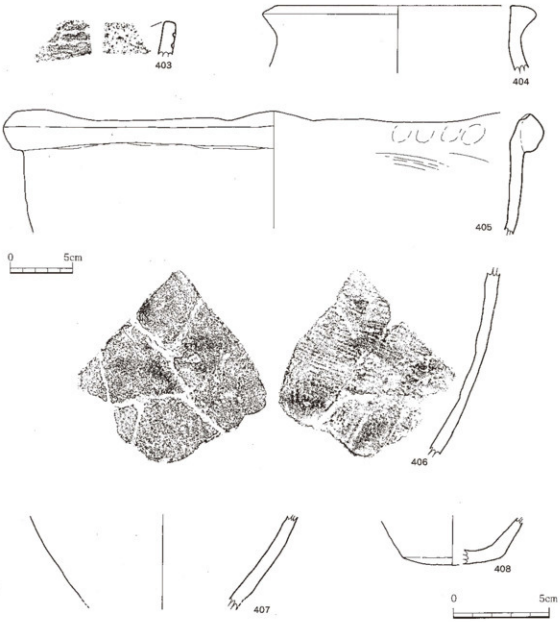
405は，口縁部に突起を有する厚手の土器である。突起を4カ所として図化した。胎土は，微細鉱物粒が多く混入しており，焼成は良好である。

無文胴部（第55図406）

406は，内器面に工具による調整痕が残る。

底　部（第55図407～408）

407は，丸底の底部付近である。408は，底面がやや丸みを帯びている。




第55図　7号住居跡出土土器

第56図　8号住居跡

### ③8号住居跡（第56図・図版11）

8号住居跡は7号住居跡同様埋土に石灰岩小礫が見られるが周囲に比較的しっかりとした石灰岩礫が組まれている。半裁し，掘り下げたところ床面付近まで小礫が詰まっている状態であった。床面には，焼土が検出された。住居跡内北隅には，柱穴が1基検出された。

### 土　器（図版30）

第8類（第57図410）

410は，口縁部がやや外反する平口縁の上器である。口縁部肥厚帯に押し引き状の刺突を施し，その下位にやや間隔をあけ同様の文様が施される。

第9類（第57図409）

409は，口縁部に連続した刺突が施された突帯を2条貼り付ける。

第11類（第57図411）

411は，緩やかな山形口縁を呈する。頂部が2カ所抉られ突起状を呈している。胎土は，1　大の鉱物粒や金雲母を多く含む。

第13類（第57図417）

417は，胴部片で細突帯に二叉状工具による刺突が施される。

第14類（第57図412～416）

413は，口縁部に突起を有するタイプである。414～416は，口縁部肥厚帯断面が間延びした三角形を呈する。

第16類（第57図418・420）

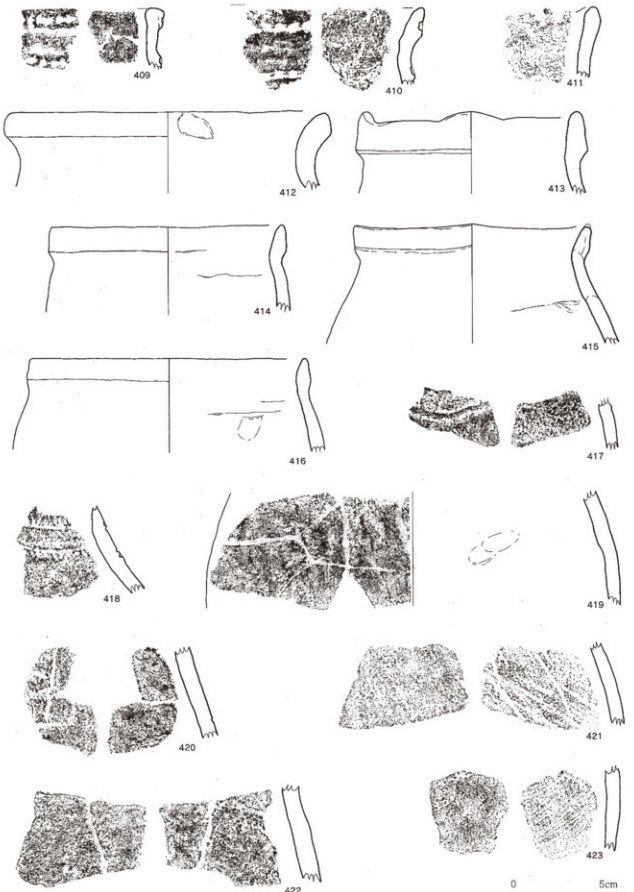
418は，壺形土器の頸部付近だと思われる。横位に2条の沈線が施され，その片側に斜位の刺突が施される。沈線間は無文である。420は，縦位・横位の沈線が施される。

無文胴部（第57図419・421～423　第58図424～429）

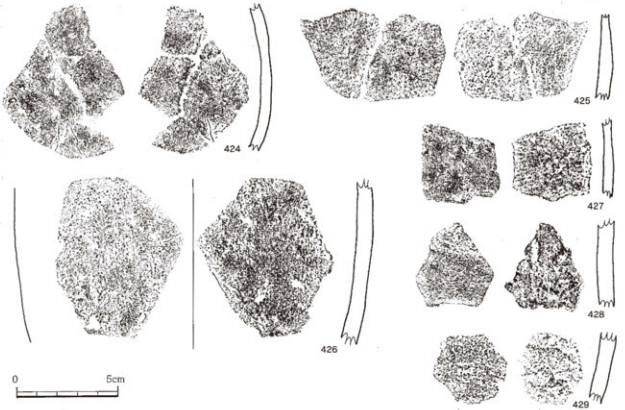
421・423・428は，工具による調整痕がみられる。

### 石　器（第63図）

453は磨石・敲石である。




第57図　8号住居跡出土土器（1）




第58図　8号住居跡出土土器（2）

**④9号住居跡（第59図・第60図・図版11）**

9号住居跡は，7号住居跡と8号住居跡の間にある黒褐色部分である。周囲に石灰岩礫等の配置は見られない。東西方向のサブトレンチ1，南北方向にサブトレンチ2を設定し掘り下げを行った。サブトレンチ1では東側に，サブトレンチ2では，西側に壁の立ち上がりが確認された。サブトレンチ1の断面図から，8号住居跡側が緩やかな堆積状況である一方で，北東側の堆積状況は新たな掘り込みと考えられる1段深い落ち込みがある。西側のサブトレンチ2をコーナー部分とし，7号住居跡に切られる方形の住居跡と，サブトレンチ1に一部かかって8号住居跡に切られる別の住居跡がある可能性が高い。壁の立ち上がりの位置関係から複数の住居跡が切り合っている可能性がある。9号住居跡の遺物はサブトレンチの遺物であるが，後期土器を主に含むことから，古い住居跡であると考えられる。

**土　器（図版30）**

（サブトレンチ1）

第5類（第61図430～432）

431は，二叉状工具による縦位の短沈線とV字状の沈線が組み合わされる。

第14類（第61図433）

433は，口縁部がやや肥厚する土器で，斜位の浅い沈線が不規則に施される。

（サブトレンチ2）

第3類（第61図434）

434は，口縁部が山形を呈する土器で，山形に沿って沈線と押し引き文が施される。

第4類（第61図437）

437は，厚手の土器で，半裁竹管状の工具による爪形文が施される。

第5類（第61図435～436）

435は，胎土に1　大の石英粒を多く含む土器で，浅い沈線が斜位に施される。436は，鋸歯状の沈線が施される。口唇部にも幅のある工具による刺突が施される。

無文胴部（第61図438～439）

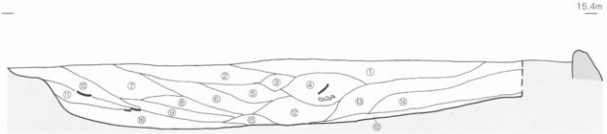
438は，胎土に1～3　大の鉱物粒を多く含む土器で，内器面には工具による調整痕が残る。

**石　器　（第63図）**

451は磨製石斧の未製品の可能性が強い。452は幅広だが，磨製石斧の基部か，未製品の可能性もある。

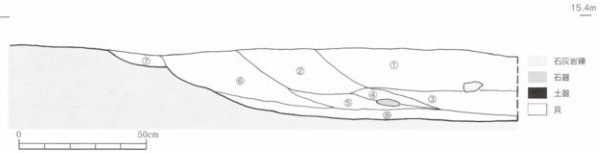
**貝製品（第63図）**

456はオオツタノハの貝輪で，両側に穿孔痕があり，組み合わせ式の貝輪としていたものと考えられる。



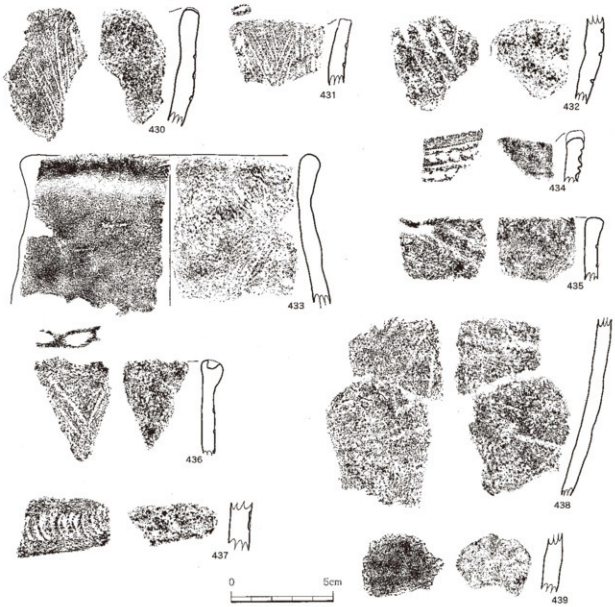

①黒褐色土，マイマイ＋土器＋貝　②黒褐色土，遺物をあまり含まない　③マイマイ小片　④マイマイ多＋土器片＋貝
⑤マイマイ少　⑥小礫＋貝＋土＋マイマイ　⑦土器＋土　⑧マイマイ少　⑨マイマイ多　⑩マイマイ＋土　⑪貝＋土
⑫マイマイ＋貝＋土　⑬赤褐色粘土混じり　⑭暗灰褐色土，マイマイ＋貝＋土器　⑮土　⑯暗赤褐色粘土

第59図　９号住居跡サブトレンチ１南壁断面図

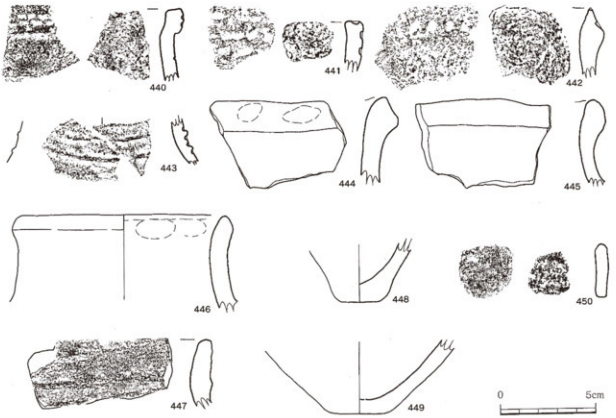



①暗赤褐色土　②暗赤褐色土，マイマイ小片，土器　③マイマイ＋土器　④マイマイ少　⑤黒褐色土
⑥マイマイ＋貝＋土器　⑦暗赤褐色粘土（汚染警？）　⑧暗赤褐色粘土

第60図　９号住居跡サブトレンチ２東壁断面図




第61図　９号サブトレンチ１・２出土土器




第62図　10トレンチ出土土器

**⑤その他**

10トレンチの遺構検出，清掃時に出土した土器である。

**土　器（図版50）**

第８類（第62図441～442）

441は，横位に連続して刺突が施される。442は，断面三角形を呈する口縁部に刺突が施される。口縁端部は，鋭角である。胎土は，白色の石灰質粒子を多量に含み，脆弱である。

第９類（第62図440）

440は，口縁部肥厚帯に２条の刺突が連続して施される。

第13類（第62図443）

443は，横位に２条の櫛突帯が廻り，その両端に二叉状工具による刺突が施される。１　以上の鉱物粒をほとんど含まず，焼成は良好である。

第14類（第62図444～447）

444は，口縁部が断面三角形を呈する土器で，指頭による押圧痕がみられる。胎土は，砂礫を多く含み，やや脆弱である。447は，口縁部が間延びした形態である。

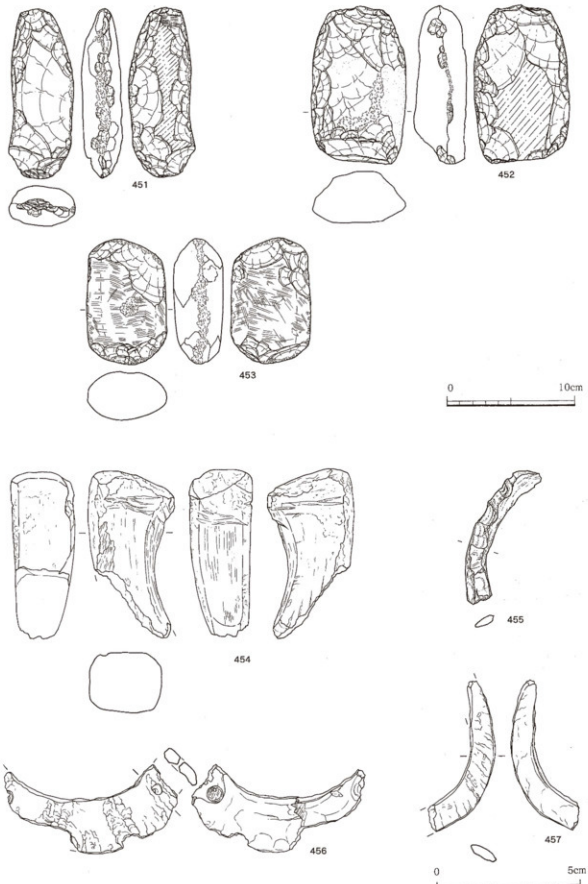
底　部（第62図448～449）

448・449ともに平底である。441は，底部に向かって次第にすぼまる形態である。

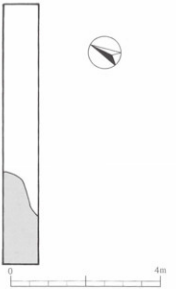
土製円盤（第62図450）

**骨製品（第63図）**

454は海獣骨による勾玉のような垂飾品と考えられる。




第63図　10トレンチ出土石器・骨・貝製品




第64図　11トレンチ検出状況

### （7）11トレンチの調査（第64図・図版12）

11トレンチは，九学会調査地点の南東側に設定した。基盤石灰岩の西側に暗褐色層を確認した。面積は約7㎡である。耕作等の関係で，一部の検出にとどまったが，基盤石灰岩を壁の一部として利用した住居跡と推定し10号住居跡とした。

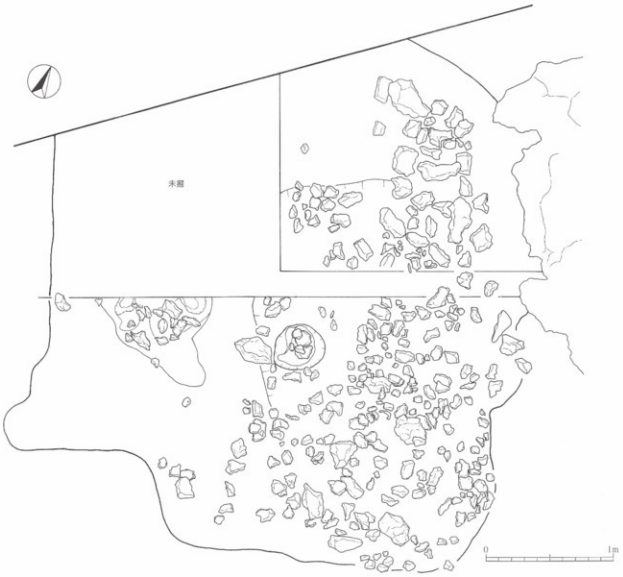
### （8）15トレンチの調査（第65図・図版12）

15トレンチは，2トレンチの南側に設定した。調査面積は約100㎡である。11号住居跡のほか，トレンチ隅にも遺構の一部と考えられる暗褐色部分が確認された。11号住居跡は，基盤石灰岩の西側の一部に礫を配列し壁としている。3/4を掘り下げた。貝輪・石斧等が出土している。

### ①11号住居跡（第66図・図版12～13）

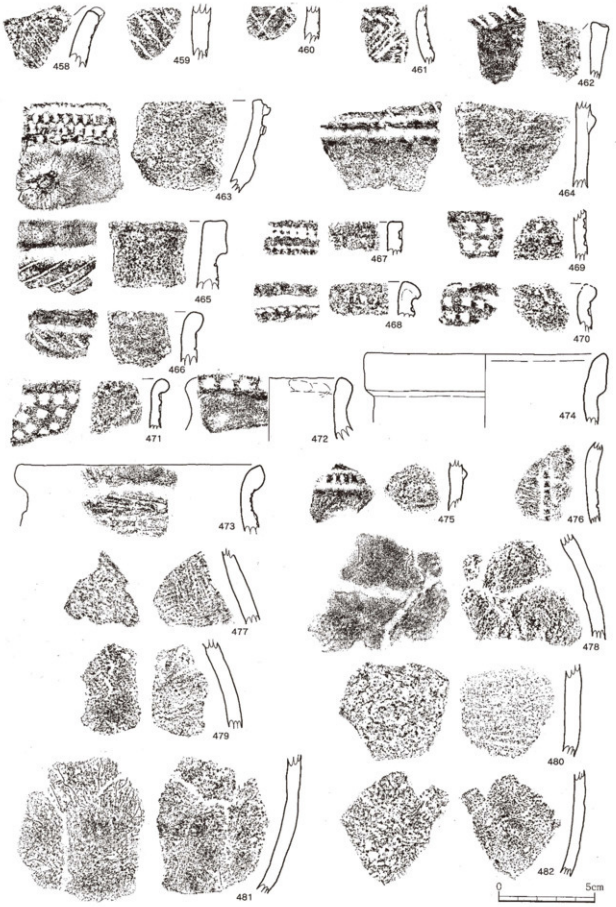
11号住居跡は，不定形（ほぼ方形）のプランである。東壁は，基盤石灰岩に沿って小礫を組んでいるが南壁側は，礫の規則的な配列を保っていない。西壁は，緩やかで明確な立ち上がりを示していない。調査では，ベルトを残し3/4を掘り下げた。

第65図　15トレンチ遺構配置図

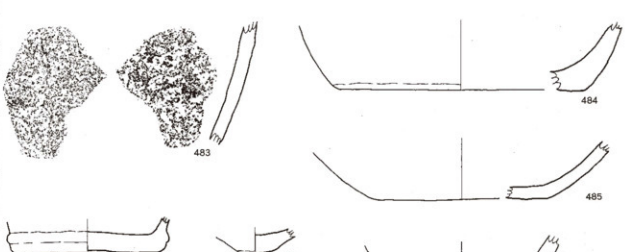



①暗褐色土，土器＋マイマイ＋貝（遺物少）　②黒褐色土，土器＋貝＋マイマイ多　③黒褐色土，土器＋貝

第66図　11号住居跡




第67図　11号住居跡出土土器（1）




第68図　11号住居跡出土土器（2）

**土　器**

第5類（第67図458～461・464）

458は，口縁部が外反する器形で，斜位の沈線文が施される。461は，短沈線と斜位の沈線の組み合わせである。

第8類（第67図466～471）

いずれも幅広の工具による連続した刺突が施される。466・468・470・471は，口縁端部が外側へ膨らむ器形である。466は，沈線文が組み合わされる。468は刺突上部に凹線が施される。

第10類（第67図463）

463は，口縁部に刻みの施された突帯が2条廻る。突帯間には，押し引き状の刺突が施される。胴部には，瘤状の突起がみられる。胎土は，鉱物粒を多く含み脆弱である。

第11類（第67図462）

462は，山形口縁の土器で，口唇部に刻みが施される。

第12類（第67図473）

473は，蒲鉾状に肥厚した口縁部を呈する。肥厚部下位に綾杉状の沈線文を施し，その下に，刻みを施した細突帯を貼り付ける。

第16類（第67図465・472・474～476）

465は，口縁部断面が長方形を呈する土器である。肥厚帯下には斜位の沈線が施される。胎土には，石英等の鉱物粒がやや多く含まれ，焼成は良好である。472は，口縁部断面が三角形で刺突が施される。475は，刻みの施された突帯の上位に斜位の沈線がみられる。第10類あるいは第12類の破片だと思われる。476は，縦位に刻みの施された細突帯を貼り付け，その両側に斜位の櫛沈線文が施される。474は，口縁部が植木鉢状に肥厚する土器である。1㎜大の石英粒を多量に含む。

無文胴部（第67図477～482　第68図483）

479は，内器面に工具による調整痕が残る。

底　部（第68図484～488）

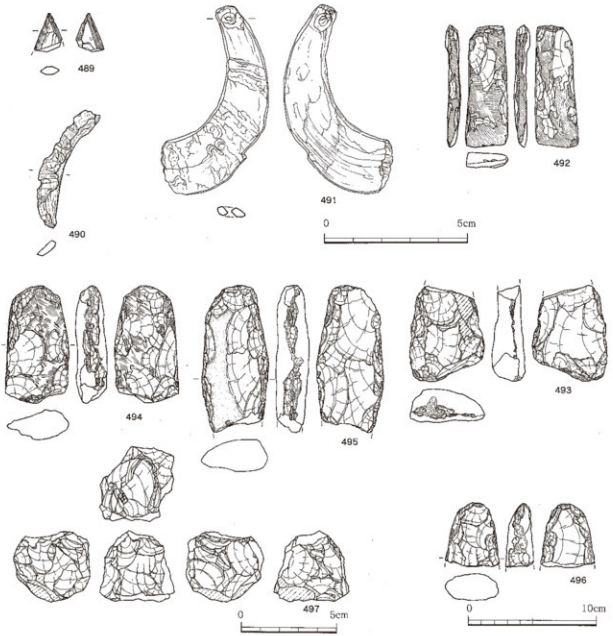
484～486は平底である。486は，胎土に砂礫等をほとんど含まず，堅緻である。487は，丸底であり，488は，丸底の底部付近である。

**石　器（第69図・第70図）**

489は磨製石鏃の先端部分である。492は小型の磨製石斧である。493～496は石斧で，494は磨製石斧の基部で，495・496は打製石斧の基部である。493は未製品の可能性がある。497はチャートの石核である。打面転移を繰り返して，不定型な剥片を剥出している。498は粘板岩質の石材を用いた磨製石鏃で，中央に穿孔する。

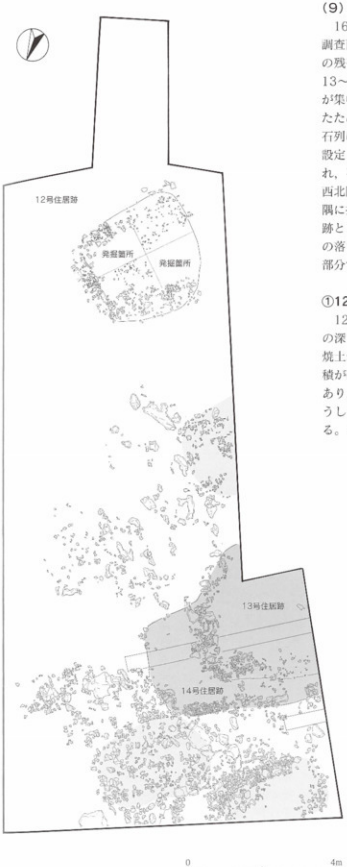
**貝製品等（第69図）**

490・491はオオツタノハの貝輪である。491は穿孔があり，組み合わせ式の貝輪として使用された可能性がある。




第69図　15トレンチ住居跡出土石器・貝製品

第70図　11号住居跡出土石器



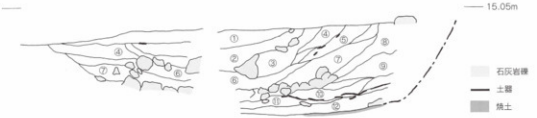

第71図　16トレンチ遺構配置図

### (9) 16トレンチの調査（第71図・図版14～17）

16トレンチは，九学会調査地点の東側に設定した。調査面積は約140㎡である。トレンチ北側には包含層の残存が認められた。北側には２基の遺構を検出し，13～14号住居跡とした。これらのほかに，石灰岩礫が集中し，住居跡の石組みと思われる配列が確認されたためサブトレンチを設定し確認を行った。西北隅の石列については，14号住居跡の北側にサブトレンチを設定したが，掘り込みが浅く，すぐに基盤層が検出され，石列が14号住居跡側では，遺構とならなかった。西北隅の石列は北側に遺構があり，14号住居跡の北側隅に接する部分に方形の礫面が見えるのと，12号住居跡と13号住居跡の間の西側トレンチの壁沿いに暗褐色の落ち込みと，その上に方形の礫面があり，これらの部分で住居跡であろう遺構の可能性が強い。

#### ①12号住居跡（第72図・図版15～16）

12号住居跡は，2/4を掘り下げた。床面まで約75㎝の深さがあり，埋土には礫が多量に混入する。床面は焼土があり，その上部には灰様のサラサラした土の堆積が確認された。断面図にあるように，途中に礫層があり，その上下に床面が構築されたことがわかる。こうした埋土の堆積状況から複数回の使用が考えられる。ゴホウラ製貝輪等が出土した。




①赤褐色＋貝・獣骨　②暗赤褐色＋貝＋土器　③マイマイ多　④小礫を含む，マイマイ片　⑤マイマイ片＋土器
⑥貝＋小礫＋土器　⑦暗褐色＋小礫　⑧暗赤褐色土　⑨礫多　⑩小礫＋灰　⑪暗褐色＋土器片　⑫灰層

第72図　12号住居跡

**土　器（図版33～35）**

第３類（第73図499～500）

499・500ともに山形口縁の頂部である。499は，山形に沿って沈線と押し引きが施される。499は，山形に沿って刺突が施され，その下位に斜位の沈線が施される。

第８類（第73図502）

502は，やや幅広の工具による刺突が施される。

第９類（第73図501）

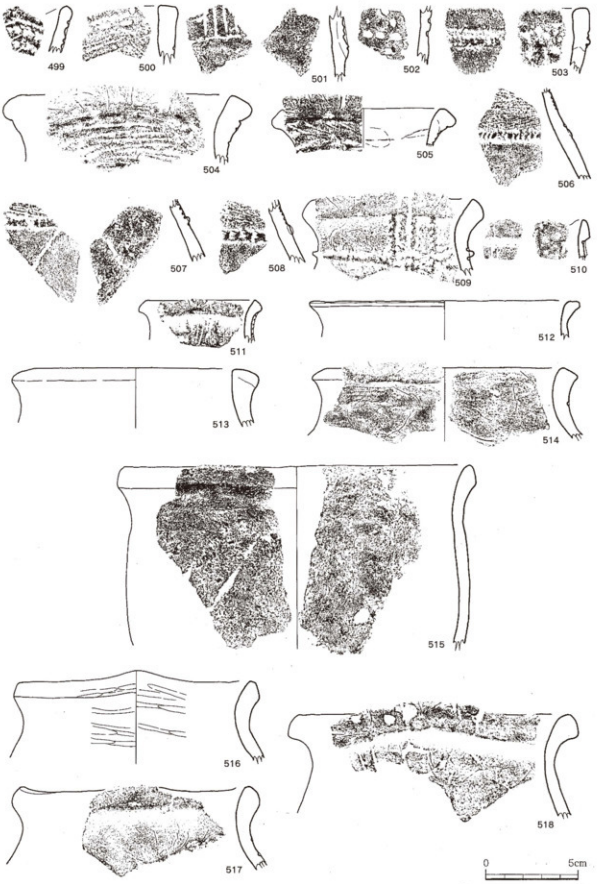
501は，肥厚帯下部の破片で，縦位に４条，横位に１条の連続刺突が観察される。

第10類（第73図503　第76図540）

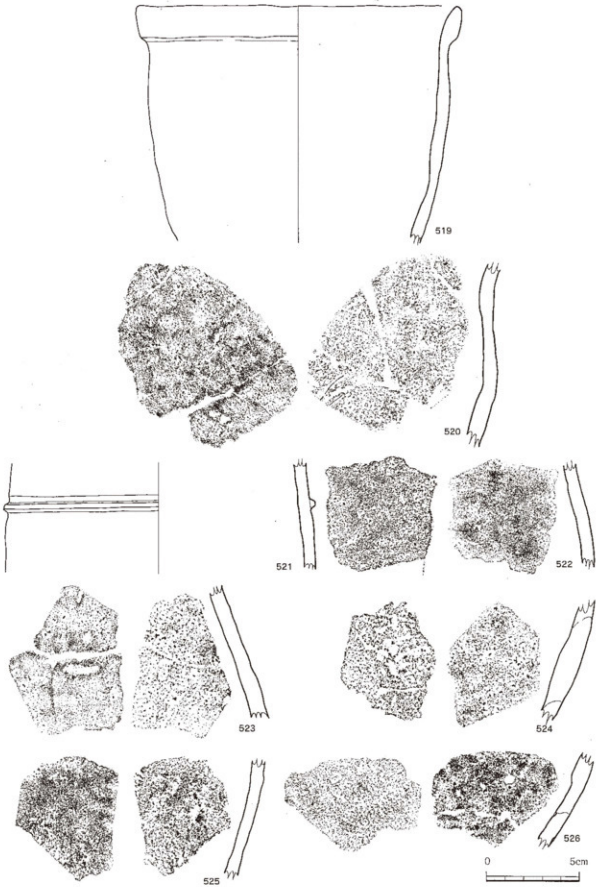
503は，鉢形の口縁部片だと考えられる。横位に細突帯を１条貼り付け二叉状工具による刺突を連続して施す。突帯上位には，浅い凹線がみられる。胎土は，微細砂礫等を含む。

第12類（第73図504～508）

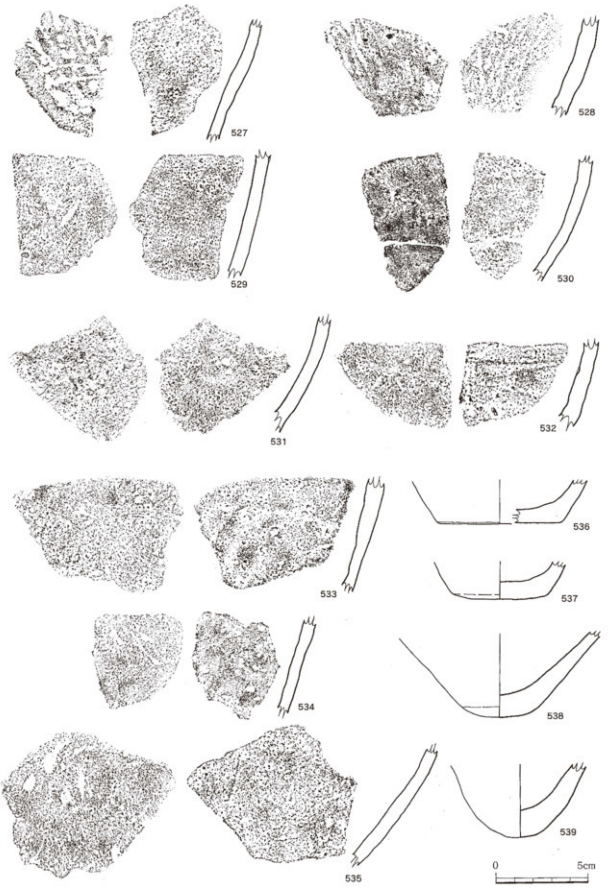
504は，口縁部が断面三角形を呈する。肥厚部下位には横位の沈線が施される。506・507・508は，いずれも細突帯を廻らせ，その上位に斜位の沈線が施されている。



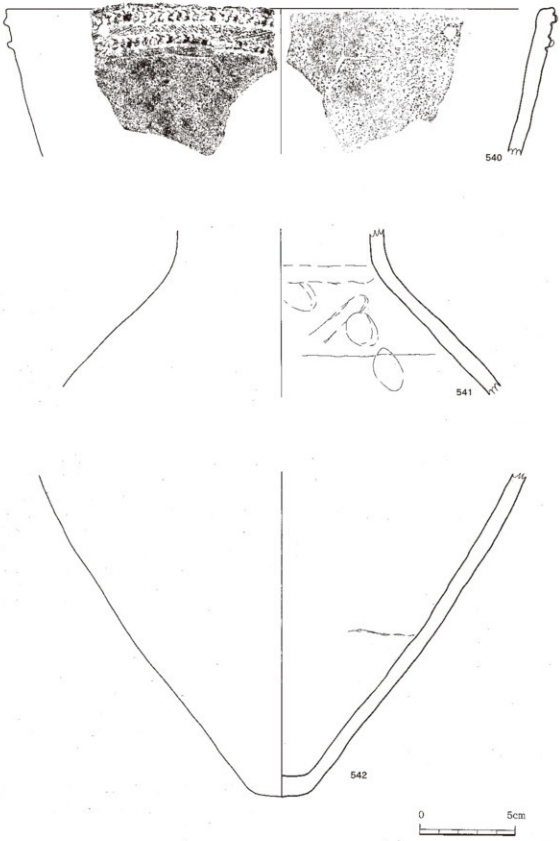

第73図　12号住居跡出土土器（1）




第74図　12号住居跡出土土器（2）




第75図　12号住居跡出土土器（3）




第76図　12号住居跡出土土器（4）

13号住居跡堆積状況
①黒褐色土，土器少＋礫少　②暗灰褐色土，土器＋魚骨＋獣骨＋貝＋マイマイ＋礫多

14号住居跡堆積状況
①黒褐色土　②黒褐色土，土器＋マイマイ小片　③礫・骨　④暗赤褐色粘土混じり，礫＋土器＋貝＋マイマイ
⑤暗赤褐色，土器　⑥黒褐色土，マイマイ　⑦灰褐色土，マイマイ　⑧灰褐色土

第77図　13・14号住居跡サブトレンチ断面図

第13類（第73図509～511）

509は，細突帯を貼り付け，その両端に刺突を連続して施す。511は，小型の壺形土器と思われる。縦位の突帯間に沈線が施される。胎土は，鉱物粒をほとんど含まず，焼成は良好である。

第14類（第73図512～518　第4図519）

513・514・516は，丁寧に器面調整がなされ，なめらかである。517は，口縁肥厚部直下に横位の調整痕が残る。518は，口縁部に突起を有するタイプである。肥厚部直下から縦位に沈線が施される。519は，肥厚部が間延びした三角形を呈する。胎土は，1㎜以下の微細砂礫等を含む。

第16類（第74図521）

521は，横位に突帯が廻る。突帯両端には浅い凹線が平行して施される。

無文胴部（第74図520・522～第75図535　第76図541）

523・529は，胎土に砂礫等をほとんど含まない。丁寧な調整がなされる。525・526・533は内器面に指頭による押圧痕が残る。541は，住居跡床面付近の灰層直上からの出土である。口縁部が欠損しており分類不明である。胎土は，砂礫等をほとんど含まず，脆弱である。内器面には，指頭による押圧痕が残る。

底　部（第75図536～539　第76図542）

536・537は，平底，538・539は，丸底である。538は，胎土に砂礫等をほとんど含まず，内器面は丁寧なナデ調整が施される。542は，541と同一個体である。丸底を呈する。

### 石　器（第81図・第82図）

587は磨製石斧である。591　・595は打製石斧である。598は，磨製石斧の転用品である。

### 貝製品等

貝製品（第84図・第85図）

609はアツソデガイの腹面貝輪610はコホウラの背面貝輪である。611・612はオオツタノハ製の貝輪である。613は研磨面を有するもので，用途は不明である。614はウミウサギの殻頂部分に抉りが入れられている。615はサツマビナの殻頂部分を切り落とした貝珠である。616はヤコウガイ製の製品の破片，617も研磨痕が顕著であるが破損品であり，用途は不明である。

## ②13・14号住居跡（第77図・図版17）

13号住居跡・14号住居跡は周囲に石組みをもつ構造である。サブトレンチを設定し掘り下げた。13号・14号住居跡サブトレンチは内部に石灰岩礫が多量に流れ込んでいる状態であった。遺物は，獣骨や比較的大きな海獣骨が目立った。サブトレンチの調査の結果，14号住居跡は13号住居跡に切られていることが判明した。なお14号住居跡も12号住居跡と同様で，礫層の下にも掘り込みが続き，最下層には焼土と灰層が形成されている。

### 土器（13号住居跡・図版36）

第14類（第78図543～544・546～548）

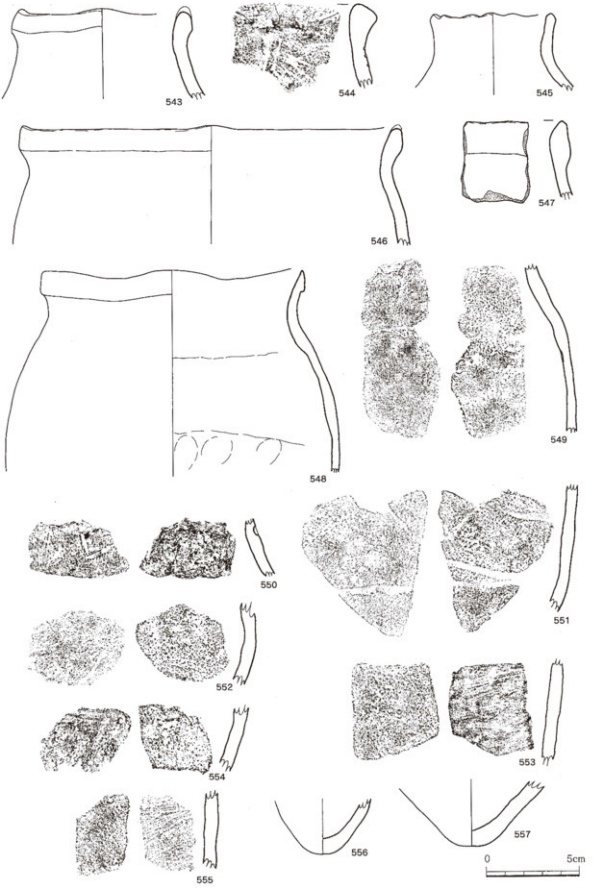
544は，肥厚部下位に縦位・斜位の沈線文が施される。546～548は，肥厚部が間延びした断面三角形を呈する。548は器面調整が比較的丁寧に調整されている。

第14類（第78図545）

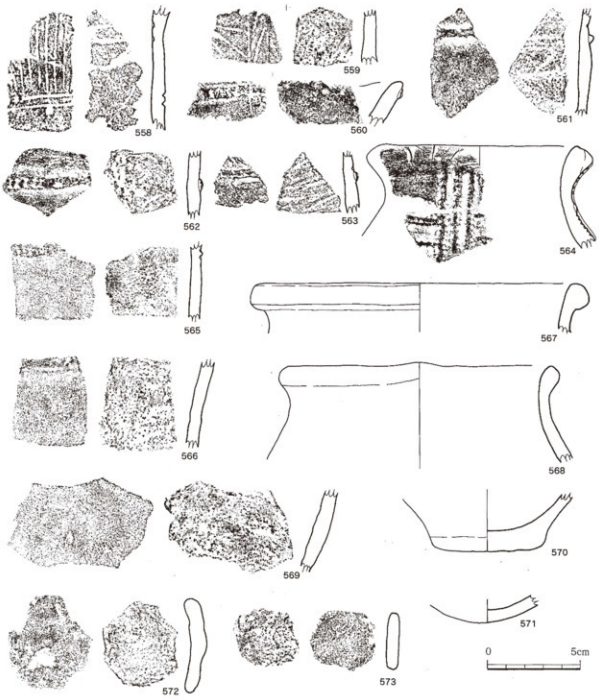
545は，壺形土器で口縁部に緩やかな突起を有する。胎土は，1㎜以下の砂礫や金雲母を多く含む。

第16類（第78図550）

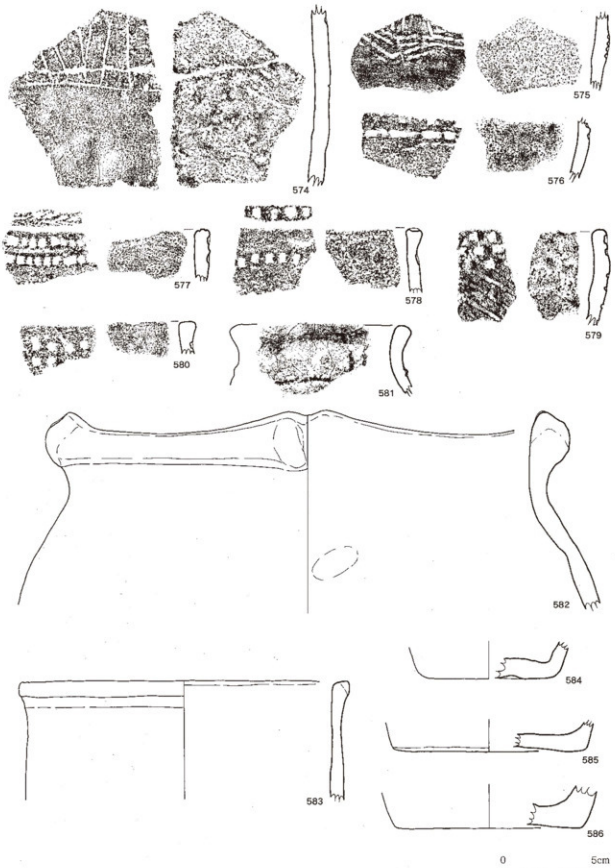
550は，壺の頸部片と思われる。文様は，沈線文で文様構成が第13類と類似する。



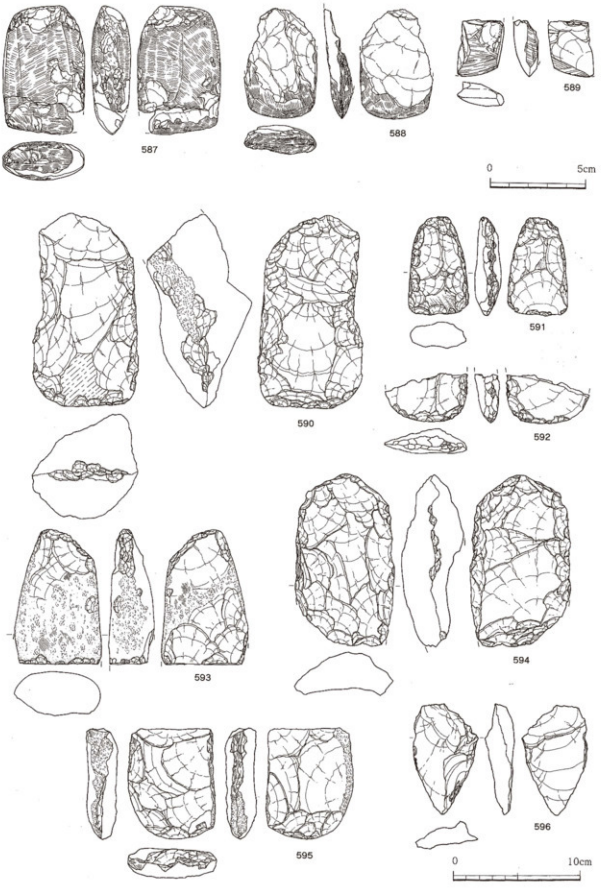

第78図　13号住居跡サブトレンチ出土土器



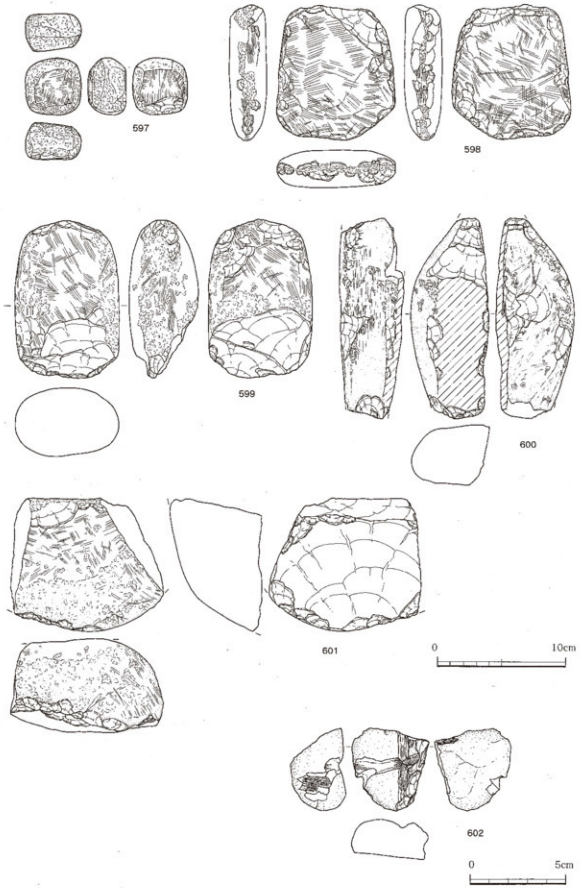

第79図　14号住居跡サブトレンチ出土土器



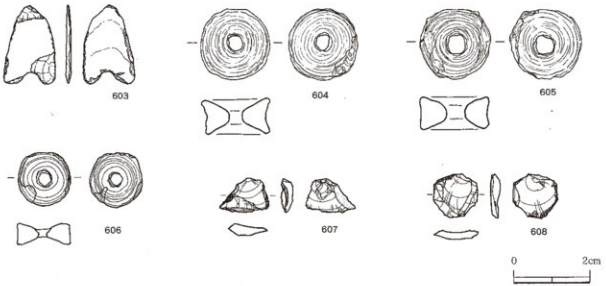

第80図　16トレンチ出土土器




第81図　16トレンチ出土石器（1）




第82図　16トレンチ出土石器（2）




第83図　16トレンチ出土貝・骨製品・黒曜石

無文胴部（第78図549・551～555）

553・555は，内器面に工具による調整痕がみられる。

底　部（第78図556・557）

いずれも丸底で，557は若干乳房状を呈する。

**土　器（14号住居跡・図版37）**

第5類（第79図558～559）

558は，やや外反する器形で，文様は縦位に沈線を数条施し，その下に横位の沈線を廻らせ文様帯を区画している。

第10類（第79図560～563）

560は，鉢の口縁部分だと思われる。横位に刻目突帯を廻らせる。561～562は，斜位の沈線と横位の刻目突帯の組み合わせである。

第13類（第79図564～566）

564は，縦位に3条，横位に2条の細突帯を貼り付け，突帯両端には二叉状工具による刺突が連続して施される。

第14類（第79図567～568）

いずれも，口縁部が外反し断面が蒲鉾状に肥厚する。比較的丁寧なナデ調整がなされている。

無文胴部（第79図569）

569は，金雲母や鱦物粒を多量に含む。内器面の調整は，比較的粗い。

底　部（第79図570～571）

570は，平底，571は丸底である。

土製円盤（第79図572～573）

**③その他**

**土　器（図版51～52）**

第5類（第80図574）

574は，やや厚手の土器で，胎土に金雲母・石英粒を多量に含む。沈線文が施される。

第7類（第80図575～577？）

575は，鋸歯状に連続刺突が施される。576・577は，やや幅広の工具による押し引き状の連続刺突が施される。577は，口唇部に羽状の沈線がみられる。

第8類（第80図578～580）

579は，刺突の下位に斜位の沈線が施される。

第13類（第80図581）

581は，縦位・横位の細突帯が貼り付けられ二叉状工具による刺突が施される。

第14類（第80図582）

582は，口縁部に瘤状突起をもつタイプである。突起を4カ所と推定し図化した。厚手の土器で，微細粒子を多く含む。焼成は良好で堅緻である。

第15類（第80図583）

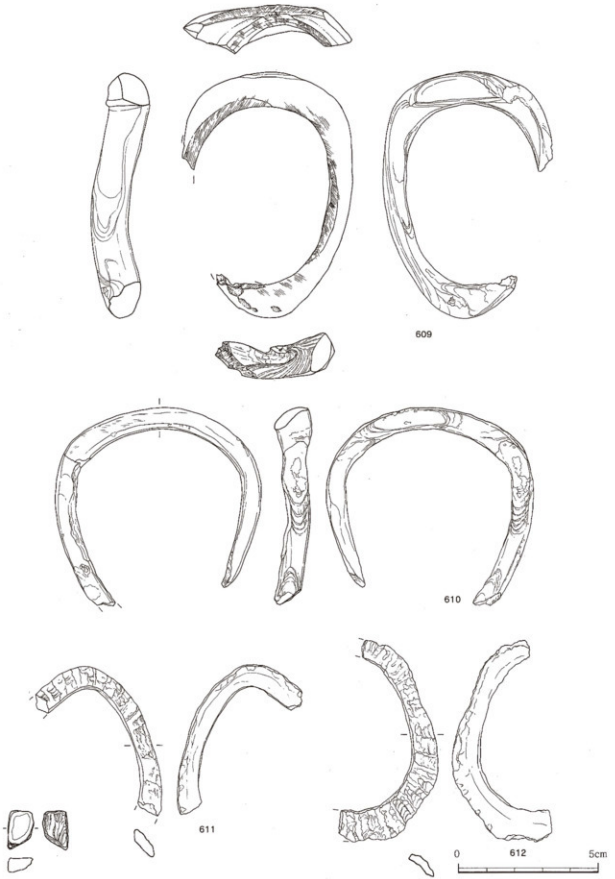
583は，直線的な口縁部で端部を肥厚させる。肥厚部直下には，棒状の工具によるものと思われる浅いくぼみが廻り，肥厚部を強調している。胎土は，金雲母・砂礫等を含み，焼成は良好である。

底　部（第80図584～586）

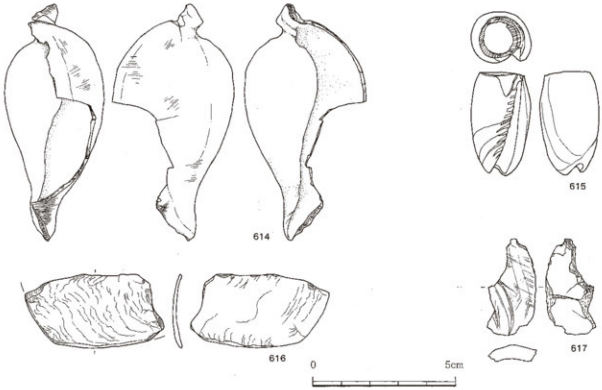
いずれも平底である。

**石　器（第81図・第82図・図版53）**

588～589は磨製石斧である。590～594は打製石斧である。593は磨製石斧の基部の可能性が強い。596は剥片，597～601は磨石・敲石である。602は




第84図　16トレンチ出土貝製品（1）




第85図　16トレンチ出土貝製品（2）

碪石で，磨痕の溝が観察される。607～608は黒曜石の剥片である。黒色で気泡がなく，腰岳産の黒曜石と思われる。

**貝製品等（第83図・図版53，55）**

603は貝鏃である。ヤコウガイ製で実用品とは考えられない。604～606はサメの椎骨で，耳栓である。

**（10）17トレンチの調査（第4図）**

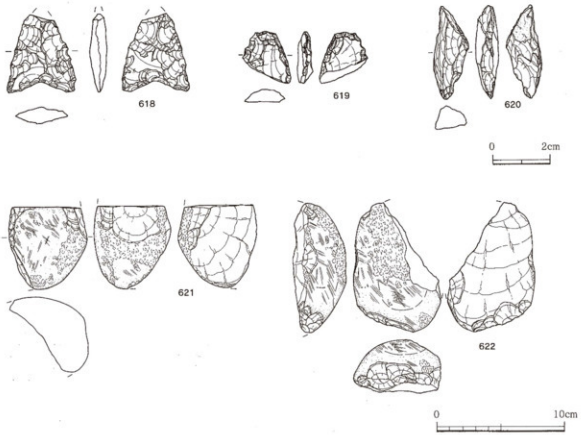
17トレンチは，16トレンチ南側に設定した。調査面積は約70㎡である。暗褐色層が確認されたものの遺物等は少ない。遺跡縁辺部で谷に向かう傾斜地に遺物が堆積したものと考えられる。チャート製石鏃が出土している。

**石　器（第86図）**

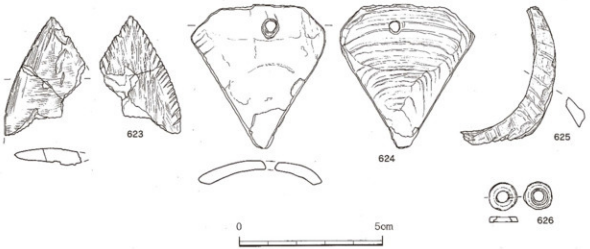
618はチャートの石鏃である。先端が欠損している。619は打製石斧の基部である。620は側縁部に剥離を施している。621・622は磨石・敲石である。

**（11）表採遺物（第87図・図版54）**

623は貝製品で，周囲に刻みを入れて，サメ歯状にしたものである。624はヒレジャコ製で穿孔があり，625はオオツタノハの貝輪である。626は貝玉である。




第86図　17トレンチ出土石器




第87図　表採貝製品

## 第2表　土器観察表（1）

| 挿図 | 番号 | 出土場所 | 胎土 石英 | 胎土 長石 | 胎土 角閃石 | 胎土 金雲母 | 胎土 砂礫 | 焼成 | 色調 外 | 色調 内 | 口唇 | 調整・文様 外器面 | 調整・文様 内器面 | 胎土 | 分類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 1 | 1号土坑 | ◎ | ○ | | | ○ | ○ | 橙 | 明赤褐 | ○ | オサエ，条痕，沈線 | オサエ，ナデ | A | 5 |
| | 2 | 1号土坑 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | 連点 | オサエ，ナデ | A | 7 |
| | 3 | 1号土坑 | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 暗褐 | にぶい赤褐 | ○ | 連続刺突 | オサエ，ナデ | A | 8 |
| | 4 | 1号土坑 | ○ | ○ | | ○ | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ，沈線，連続刺突 | ナデ | A | 9 |
| | 5 | 1号土坑 | ◎ | ○ | | ○ | △ | △ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 沈線 | — | A | 9 |
| | 6 | 1号土坑 | ◎ | ○ | | △ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | 刺突，沈線 | ナデ | A | 9 |
| | 7 | 1号土坑 | ○ | ○ | | △ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ，沈線，刻み | ナデ | A | 9 |
| | 8 | 1号土坑 | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | にぶい褐 | 黒褐 | | — | オサエ | A | |
| | 9 | 1号土坑 | △ | △ | | | △ | ◎ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | B | |
| | 10 | 1号土坑 | ◎ | | | ○ | ○ | △ | 褐 | 暗褐 | | 条痕，ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 11 | 1号土坑 | ○ | ○ | | ○ | △ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | 貝殻条痕？ | ナデ | A | |
| | 12 | 1号土坑 | ◎ | ○ | | ◎ | ○ | ○ | 灰褐 | 黒褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 13 | 1号土坑 | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | — | 工具ナデ | A | |
| | 14 | 1号土坑 | ○ | ○ | | △ | △ | ○ | 明赤褐 | 橙 | | — | — | A | |
| 9 | 18 | 1T | ○ | | | △ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線，刻み | ナデ | A | 1 |
| | 19 | 1T | ◎ | | | △ | ○ | △ | 灰褐 | 明赤褐 | | 突帯，刻み | ナデ | A | 1 |
| | 20 | 1T | ◎ | | | △ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 突帯，刻み，沈線 | ナデ | A | 1 |
| | 21 | 1T | ◎ | △ | | ○ | ○ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | | 突帯，刻み(員内唇?)，沈線 | 工具ナデ | A | 1 |
| | 22 | 1T | ◎ | △ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 3 |
| | 23 | 1T | ○ | △ | | △ | ○ | △ | 黒褐 | にぶい赤褐 | | 沈線，押し引き | ナデ | A | 3 |
| | 24 | 1T | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | にぶい赤褐 | 暗褐 | | 連続刺突，沈線 | 条痕，ナデ | A | 3 |
| | 25 | 1T | ◎ | △ | | ○ | ○ | ○ | 褐 | 褐 | ○ | 刺突，沈線 | — | A | 3 |
| | 26 | 1T | ○ | | | △ | △ | ○ | 褐 | 明赤褐 | | ナデ，沈線 | ナデ | A | 3 |
| | 27 | 1T | ○ | | | ○ | △ | ○ | 灰褐 | 橙 | | 沈線 | ナデ | A | 3 |
| | 28 | 1T | ○ | ○ | | ○ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 29 | 1T | ◎ | △ | | ○ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | — | A | 5 |
| | 30 | 1T | ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | 暗褐 | 赤褐 | ○ | 沈線 | — | A | 5 |
| | 31 | 1T | △ | | | | ○ | ◎ | 暗褐 | 暗褐 | | 沈線 | 工具ナデ | A | 5 |
| | 32 | 1T | | | | | ○ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 33 | 1T | ◎ | △ | | △ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明褐 | ○ | 沈線 | オサエ，ナデ | A | 5 |
| | 34 | 1T | ◎ | | | △ | ○ | ○ | 明褐 | 明褐 | | 沈線 | オサエ | A | 5 |
| | 35 | 1T | ◎ | | | △ | ○ | ○ | 明褐 | 明褐 | | 沈線，突帯，刺突 | オサエ | A | 5 |
| | 36 | 1T | ◎ | | | ○ | ○ | ○ | 褐 | 明赤褐 | | — | オサエ | A | 11 |
| | 37 | 1T | ◎ | | | ○ | ◎ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | — | オサエ | A | 11 |
| | 38 | 1T | ◎ | | | △ | ◎ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線，突帯，刻み | — | A | 10 |
| 10 | 39 | 1T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 橙 | 橙 | | 沈線，突帯，刺突（二叉） | — | A | 10 |
| | 40 | 1T | △ | △ | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | 沈線，突帯，刻み | ナデ | B | 10 |
| | 41 | 1T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 暗赤褐 | 暗赤褐 | | 刺突 | ナデ | A | 9 |
| | 42 | 1T | ◎ | ○ | | △ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 刺突，沈線 | — | A | 9 |
| | 43 | 1T | ◎ | △ | | ○ | ○ | ○ | にぶい橙 | 明赤褐 | | 刺突 | ナデ | A | 9 |
| | 44 | 1T | ○ | △ | | △ | ○ | ○ | 暗赤褐 | 暗赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 9 |
| | 45 | 1T | ○ | △ | | ◎ | △ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | | 沈線 | ナデ | A | 9 |
| | 46 | 1T | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線，刺み | ナデ | A | 9 |
| | 47 | 1T | △ | | | | | ○ | にぶい橙 | にぶい橙 | | 沈線 | — | A | 7 |
| | 48 | 1T | ○ | | | | ○ | | にぶい橙 | 明赤褐 | | 連点 | ナデ | A | 7 |
| | 49 | 1T | ○ | | | | ○ | ○ | にぶい黄褐 | 赤褐 | | 連点，沈線 | ナデ | A | 7 |
| | 50 | 1T | ○ | △ | | | ○ | ○ | 橙 | 褐 | ○ | 押捺刻文 | ナデ | A | 8 |
| | 51 | 1T | ○ | | | | △ | △ | 明赤褐 | 灰褐 | | 押捺刻文 | — | A | 8 |
| | 52 | 1T | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | ○ | 刺突 | ナデ | A | 8 |
| | 53 | 1T | ◎ | △ | | △ | ○ | ○ | 明褐 | 明褐 | | 刺突，沈線 | — | A | 8 |
| | 54 | 1T | ◎ | △ | | ○ | △ | ○ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 刺突，沈線 | ナデ | A | 8 |
| | 55 | 1T | ○ | △ | | ○ | ○ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | 突帯，刺突，沈線 | ナデ | A | 8 |
| | 56 | 1T | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 黒褐 | にぶい赤褐 | | 刺突 | ナデ | A | 8 |
| | 57 | 1T | ◎ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | ○ | 押捺刻文 | オサエ | A | 8 |
| | 58 | 1T | ◎ | ○ | | | ◎ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 12 |
| | 59 | 1T | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 黒褐 | 赤褐 | | 突帯，刺突（二叉），沈線 | オサエ | A | 12 |
| | 60 | 1T | ◎ | | | ○ | | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 突帯，刻み，沈線 | ナデ | A | 12 |
| | 61 | 1T | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 明褐 | 明褐 | | 突帯，刺突（二叉），沈線 | | A | 12 |
| | 62 | 1T | ○ | | | | ○ | ○ | にぶい褐 | にぶい褐 | | 突帯，刺突（二叉），沈線 | ナデ | A | 13 |
| | 63 | 1T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 突帯，刺突（二叉），沈線 | ナデ | A | 13 |
| | 64 | 1T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 黒褐 | 黒褐 | | 沈線 | ナデ | A | 16 |
| | 65 | 1T | △ | | | | ○ | ○ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 突帯，刺突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| 11 | 66 | 1T | △ | | | | △ | ◎ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | ナデ | ナデ | B | 14 |
| | 67 | 1T | △ | △ | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | 沈線 | ナデ | A | 14 |
| | 68 | 1T | △ | △ | | | △ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | ナデ | — | A | 14 |
| | 69 | 1T | ◎ | | | ○ | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | — | オサエ | A | 16 |
| | 70 | 1T | | | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | B | 11 |
| | 71 | 1T | △ | | | | | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | B | 10 |
| | 72 | 1T | △ | | | | | ◎ | にぶい橙 | にぶい橙 | | ナデ | ナデ | B | 10 |
| | 73 | 1T | ◎ | △ | | | ○ | ○ | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | | — | — | A | |

## 第2表　土器観察表（2）

| 挿図 | 番号 | 出土場所 | 胎土 石英 | 長石 | 角閃石 | 金雲母 | 砂礫 | 焼成 | 色調 外 | 色調 内 | 調整・文様 口唇 | 調整・文様 外器面 | 調整・文様 内器面 | 胎土 | 分類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 74 | 1T | ◎ | | | ○ | ○ | ○ | にぶい褐 | にぶい褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 75 | 1T | ○ | | | △ | ◎ | ○ | にぶい赤褐 | 明赤褐 | | − | − | A | |
| | 76 | 1T | ◎ | △ | | ○ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | − | A | |
| | 77 | 1T | ◎ | △ | | ◎ | ○ | ○ | 褐 | 褐 | | − | − | A | |
| | 78 | 1T | ○ | △ | | △ | ○ | ○ | 橙 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 79 | 1T | △ | | | | | ○ | 橙 | 橙 | | − | − | B | |
| | 80 | 1T | ○ | △ | | | ○ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | − | − | A | |
| | 81 | 1T | ○ | | | △ | △ | ○ | にぶい褐 | にぶい褐 | | − | − | A | |
| | 82 | 1T | ○ | | | △ | ○ | △ | 褐 | 褐 | | − | − | A | |
| 18 | 112 | 2T | ○ | | | △ | △ | ◎ | 明赤褐 | にぶい黄橙 | | 突帯，刻み，沈線 | ナデ | A | 1 |
| | 113 | 2T | ◎ | ○ | | | △ | ○ | にぶい黄褐 | にぶい黄橙 | | 刻み（貝殻内縁），沈線 | 工具ナデ | A | 1 |
| | 114 | 2T | ◎ | ○ | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | 刻み，沈線 | 工具ナデ，ナデ | A | 1 |
| | 115 | 2T | ○ | △ | | | △ | ○ | 橙 | 明赤褐 | | 刺突，沈線 | ナデ | A | 1 |
| | 116 | 2T | ◎ | | | | △ | △ | 橙 | 橙 | | 刺突，沈線 | ナデ | A | 1 |
| | 117 | 2T | ◎ | △ | | | △ | ○ | 橙 | にぶい黄橙 | | 刻み，沈線 | ナデ | A | 1 |
| | 118 | 2T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | にぶい褐 | にぶい黄褐 | | 押し引き | − | A | 2 |
| | 119 | 2T | ◎ | | | ○ | ○ | △ | 暗褐 | にぶい褐 | | 沈線 | オサエ | A | 3 |
| | 120 | 2T | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | 黒褐 | 明赤褐 | | 沈線，刺突 | ナデ | A | 3 |
| | 121 | 2T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | にぶい褐 | にぶい黄褐 | | 刺突（竹管？），沈線 | ナデ | A | 4 |
| | 122 | 2T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | にぶい褐 | 明褐 | | 刺突（竹管？），沈線 | ナデ | A | 4 |
| | 123 | 2T | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | にぶい褐 | 橙 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 124 | 2T | ◎ | | | ◎ | ○ | △ | 灰褐 | にぶい橙 | | 刺突，沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 125 | 2T | ◎ | | | △ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | ○ | 沈線 | オサエ | A | 5 |
| | 126 | 2T | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 暗褐 | 褐 | ○ | 沈線 | オサエ，ナデ | A | 5 |
| | 127 | 2T | ◎ | △ | | ○ | ○ | ○ | 黒褐 | にぶい褐 | ○ | 沈線 | − | A | 5 |
| | 128 | 2T | ○ | | | △ | ○ | ○ | 橙 | にぶい褐 | ○ | 沈線 | 工具ナデ | A | 5 |
| | 129 | 2T | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 黒 | 黒 | ○ | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 130 | 2T | ◎ | ○ | | △ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | ○ | 沈線 | − | A | 5 |
| | 131 | 2T | △ | △ | | △ | △ | ○ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 132 | 2T | ◎ | | | ○ | △ | △ | にぶい赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | − | A | 5 |
| 19 | 133 | 2T | ○ | △ | | | △ | ○ | 明赤褐 | 橙 | | 刺突，沈線 | ナデ | A | 6 |
| | 134 | 2T | ○ | | | △ | △ | ○ | 明褐 | 明赤褐 | | 刺突，沈線 | ナデ | A | 6 |
| | 135 | 2T | ○ | ○ | | △ | △ | ○ | 黒褐 | にぶい赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 16 |
| | 136 | 2T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 赤 | 赤 | | 刻み，刺突 | − | A | 16 |
| | 137 | 2T | ○ | ○ | | △ | △ | ○ | にぶい赤褐 | 赤褐 | | 沈線，刺突 | オサエ，ナデ | A | 9 |
| | 138 | 2T | △ | △ | | | △ | ○ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 刺突，連続刺突 | ナデ | A | 9 |
| | 139 | 2T | ◎ | ○ | | △ | ○ | ○ | 黒褐 | 暗褐 | | 刺突，沈線 | − | A | 9 |
| | 140 | 2T | ◎ | | | △ | △ | △ | にぶい褐 | 明赤褐 | | 刺突 | ナデ | A | 9 |
| | 141 | 2T | △ | | | △ | △ | ◎ | にぶい黄橙 | にぶい黄橙 | | ナデ | ナデ | B | 16 |
| | 142 | 2T | △ | | | | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 突帯，刻み | ナデ | B | 10 |
| | 143 | 2T | | | | | △ | ◎ | 橙 | 橙 | | 突帯，刻み | ナデ | B | 10 |
| | 144 | 2T | △ | | | △ | △ | ○ | 黄褐 | 明褐 | | 突帯，刻み | − | B | 10 |
| | 145 | 2T | △ | | | | | ◎ | 黒褐 | 黒褐 | | 沈線 | ナデ | B | 16 |
| | 146 | 2T | △ | △ | | | ○ | △ | 黒褐 | にぶい赤褐 | ○ | 連点 | − | A | 7 |
| | 147 | 2T | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | | 沈線 | ナデ | A | 7 |
| | 148 | 2T | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | ○ | 沈線 | オサエ | A | 7 |
| | 149 | 2T | ○ | | | | △ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 押し引き | − | A | 7 |
| | 150 | 2T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明褐 | 明褐 | | 連点 | − | A | 7 |
| | 151 | 2T | ○ | | | | ◎ | ○ | 赤褐 | 明赤褐 | | 押捺刻文 | − | A | 7 |
| | 152 | 2T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 押し引き | − | A | 7 |
| 20 | 153 | 2T | ◎ | ○ | | △ | ○ | △ | 橙 | 橙 | ○ | 刺突，沈線 | ナデ | A | 8 |
| | 154 | 2T | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | ○ | 刺突 | オサエ，ナデ | A | 8 |
| | 155 | 2T | ○ | ○ | | | ◎ | △ | 橙 | 橙 | | 刺突 | − | A | 8 |
| | 156 | 2T | ○ | ○ | | | ◎ | △ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 刺突 | 条痕 | A | 8 |
| | 157 | 2T | ◎ | | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | ○ | 刺突 | オサエ | A | 8 |
| | 158 | 2T | ◎ | ○ | | | ○ | ○ | にぶい橙 | にぶい橙 | ○ | 突帯，刺突 | ナデ | A | 8 |
| | 159 | 2T | ○ | ○ | | | ○ | ◎ | 橙 | 橙 | ○ | 突帯，刺突，沈線 | ナデ | B | 10 |
| | 160 | 2T | ○ | ○ | | | △ | △ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 沈線，突帯，刻み | ナデ | A | 12 |
| | 161 | 2T | ◎ | ○ | | ○ | ○ | △ | 明赤褐 | 沈線 | | 沈線 | ナデ | A | 12 |
| | 162 | 2T | ○ | | | ○ | ◎ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線，突帯，刻み | ナデ | A | 12 |
| | 163 | 2T | △ | △ | | | ○ | ◎ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 刺突 | ナデ | B | 13 |
| | 164 | 2T | ○ | ○ | | △ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 突帯，刻突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| | 165 | 2T | △ | | | ○ | △ | ○ | にぶい赤褐 | 灰黄褐 | | 突帯，刻突（二叉） | ナデ | B | 13 |
| | 166 | 2T | ◎ | ○ | | | ◎ | △ | 赤褐 | 明赤褐 | | 突帯，刻突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| | 167 | 2T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | にぶい赤褐 | 赤褐 | | 突帯，刻突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| | 168 | 2T | ○ | ○ | | | △ | ○ | にぶい赤褐 | 橙 | | 突帯，刻突（二叉） | オサエ，ナデ | B | 13 |
| | 169 | 2T | ○ | ○ | | | △ | △ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 突帯，刻突（二叉），沈線 | − | A | 13 |
| | 170 | 2T | ◎ | ○ | | △ | ○ | ○ | 黒 | 暗褐 | | 突帯，刻突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| 21 | 171 | 2T | ○ | ○ | | △ | ◎ | △ | 褐 | 褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 172 | 2T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 暗赤褐 | 赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |

## 第2表　土器観察表（3）

| 押図 | 番号 | 出土場所 | 胎土 石英 | 長石 | 角閃石 | 金雲母 | 砂礫 | 焼成 | 色調 外 | 色調 内 | 口唇 | 調整・文様 外器面 | 調整・文様 内器面 | 胎土 | 分類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 173 | 2 T | ○ | | | | ○ | △ | 橙 | 橙 | | オサエ | ナデ | A | 14 |
| | 174 | 2 T | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 175 | 2 T | △ | △ | | | ◎ | △ | 赤褐 | 明赤褐 | | — | — | A | 14 |
| | 176 | 2 T | ○ | △ | | | ○ | △ | 明褐 | 明褐 | | — | — | A | 14 |
| | 177 | 2 T | ○ | | | | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | — | — | B | 14 |
| | 178 | 2 T | ◎ | | | | ○ | △ | 赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 179 | 2 T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 橙 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 180 | 2 T | △ | △ | | | ◎ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | ナデ | — | A | 14 |
| | 181 | 2 T | ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | 橙 | にぶい黄褐 | | — | ナデ | A | 14 |
| | 182 | 2 T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 突帯，刺突（二叉） | ナデ | A | 14 |
| | 183 | 2 T | ◎ | ○ | | △ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 14 |
| 22 | 184 | 2 T | △ | △ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 14 |
| | 185 | 2 T | ○ | △ | | | ◎ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | | ナデ | ナデ | A | 15 |
| | 186 | 2 T | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 15 |
| | 187 | 2 T | ◎ | ○ | | △ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 工具ナデ | 条痕 | A | |
| | 188 | 2 T | ◎ | ○ | | △ | ○ | △ | 橙 | 橙 | | — | オサエ，ナデ | A | |
| | 189 | 2 T | ○ | | | △ | ◎ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | — | — | A | |
| | 190 | 2 T | ○ | ○ | | | ◎ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 工具ナデ | ナデ | A | |
| | 191 | 2 T | ◎ | | | | △ | ○ | にぶい黄橙 | 橙 | | ナデ | — | A | |
| | 192 | 2 T | ◎ | | | | △ | △ | 橙 | 橙 | | — | — | A | |
| | 193 | 2 T | ◎ | △ | | △ | △ | ○ | 赤褐 | にぶい赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 194 | 2 T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 赤褐 | 明赤褐 | | — | — | A | |
| | 195 | 2 T | △ | △ | | | ◎ | ○ | 橙 | にぶい褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 196 | 2 T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 黒褐 | 橙 | | — | — | A | |
| | 197 | 2 T | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 黒褐 | 灰褐 | | — | — | A | |
| | 198 | 2 T | ○ | ○ | | | ◎ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | — | ナデ | A | |
| | 199 | 2 T | ○ | △ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | — | ナデ | A | |
| | 200 | 2 T | ○ | | | | ◎ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | — | ナデ | A | |
| | 201 | 2 T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 黒褐 | 橙 | | — | — | A | |
| | 202 | 2 T | ○ | △ | | | ◎ | △ | 橙 | 橙 | | — | — | A | |
| | 203 | 2 T | ◎ | | | ○ | ○ | △ | 黒褐 | 黒褐 | | — | — | A | |
| | 204 | 2 T | △ | | | △ | ○ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | — | — | A | |
| 28 | 240 | 3 T | ○ | ○ | | △ | ◎ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線，刺突（竹管） | — | A | 4 |
| | 241 | 3 T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | 沈線，刺突（竹管） | — | A | 4 |
| | 242 | 3 T | ○ | ○ | | △ | ○ | △ | 暗赤褐 | 灰褐 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 243 | 3 T | ○ | ○ | | △ | ○ | △ | にぶい褐 | にぶい褐 | | 刺突 | オサエ，ナデ | A | 8 |
| | 244 | 3 T | △ | | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | 沈線 | ナデ | A | 12 |
| | 245 | 3 T | ○ | ○ | | | ◎ | ○ | 赤褐 | にぶい赤褐 | | 沈線，突帯，刺突（二叉） | ナデ | A | 12 |
| | 246 | 3 T | △ | △ | | | ◎ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 突帯，刺突（二叉） | オサエ | A | 13 |
| | 247 | 3 T | △ | △ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 14 |
| | 248 | 3 T | ◎ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | — | — | A | |
| | 249 | 3 T | ○ | △ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | — | — | A | |
| 30 | 250 | 4 T | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | にぶい赤褐 | 橙 | | — | — | A | 11 |
| | 251 | 4 T | ○ | ○ | | ○ | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 刺突，沈線 | オサエ | A | 3 |
| | 252 | 4 T | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | 褐 | 明赤褐 | | 沈線 | オサエ，ナデ | A | 5 |
| | 253 | 4 T | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 黒褐 | 明赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 254 | 4 T | ○ | ○ | | ○ | ○ | △ | 黒褐 | 明赤褐 | | ナデ，沈線 | — | A | 5 |
| | 255 | 4 T | ○ | ○ | | △ | △ | △ | にぶい赤褐 | 明赤褐 | | ナデ，沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 256 | 4 T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 黒褐 | にぶい赤褐 | | ナデ，沈線 | オサエ | A | 5 |
| | 257 | 4 T | △ | | | △ | ◎ | ◎ | 橙 | 橙 | | ナデ，刺突（二叉），沈線 | ナデ | B | 4 |
| | 258 | 4 T | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | にぶい赤褐 | 橙 | | 条痕，ナデ | オサエ，条痕 | A | 11 |
| | 259 | 4 T | ○ | | | | ◎ | △ | 灰褐 | 明赤褐 | | 連点（二叉） | ナデ | A | 7 |
| | 260 | 4 T | ○ | △ | | ○ | ◎ | △ | 褐 | 明赤褐 | | 押捺刻文 | — | A | 8 |
| | 261 | 4 T | △ | △ | | | ○ | ○ | 黒 | 明赤褐 | | 条痕，ナデ，刻文 | オサエ | A | 8 |
| | 262 | 4 T | △ | △ | | | △ | ◎ | 橙 | 橙 | | 押捺刻文 | — | A | 8 |
| | 263 | 4 T | ○ | ○ | | | ○ | △ | にぶい橙 | にぶい橙 | | 沈線，突帯，刺突（二叉） | ナデ | A | 12 |
| | 264 | 4 T | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線，突帯，刺突（二叉） | — | A | 12 |
| | 265 | 4 T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明褐 | 明赤褐 | | 突帯，刺突（二叉） | — | A | 13 |
| | 266 | 4 T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 橙 | 橙 | | — | オサエ | A | |
| | 267 | 4 T | ○ | ○ | | △ | ○ | △ | 明赤褐 | 橙 | | — | オサエ | A | |
| 34 | 279 | 3号住居跡 | △ | | | | | | 褐 | 褐 | ○ | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 280 | 3号住居跡 | ○ | △ | | | △ | △ | 赤褐 | 褐 | | 沈線 | — | A | 5 |
| | 281 | 3号住居跡 | △ | | | | △ | △ | 黒褐 | 黒褐 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 282 | 3号住居跡 | △ | △ | | ○ | △ | △ | 橙 | 橙 | | 沈線 | ナデ | A | 16 |
| | 283 | 3号住居跡 | ○ | △ | | △ | △ | ○ | 橙 | 橙 | | 沈線 | オサエ | A | 16 |
| | 284 | 3号住居跡 | △ | △ | | △ | △ | ○ | 橙 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 285 | 3号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 286 | 3号住居跡 | | | | | ◎ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ，ナデ | B | 14 |
| | 287 | 3号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | オサエ，ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 288 | 3号住居跡 | ○ | △ | | | △ | ○ | にぶい赤褐 | 黒褐 | | ナデ | ナデ | A | |

## 第2表　土器観察表（4）

| 挿図 | 番号 | 出土場所 | 胎土 石英 | 胎土 長石 | 胎土 角閃石 | 胎土 金雲母 | 胎土 砂礫 | 胎土 焼成 | 色調 外 | 色調 内 | 口唇 | 調整・文様 外器面 | 調整・文様 内器面 | 胎土 | 分類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 289 | 3号住居跡 | ○ | △ | | ○ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | － | － | A | |
| | 290 | 3号住居跡 | △ | | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | － | － | A | |
| | 291 | 3号住居跡 | ○ | △ | | | △ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| 36 | 292 | 4号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ◎ | ○ | 明赤褐 | 黒褐 | | 沈線 | オサエ，ナデ | A | 16 |
| | 293 | 4号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 12 |
| | 294 | 4号住居跡 | ○ | △ | | | ◎ | △ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | ナデ | － | A | 14 |
| | 295 | 4号住居跡 | ○ | | | | ◎ | ○ | にぶい赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 16 |
| | 296 | 4号住居跡 | ○ | | | ○ | ◎ | ○ | にぶい赤褐 | 黒褐 | | 突帯刻み，沈線 | オサエ． | A | 12 |
| | 297 | 4号住居跡 | △ | | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 298 | 4号住居跡 | ○ | | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 299 | 4号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 300 | 4号住居跡 | △ | | | | | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | B | |
| | 301 | 4号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| 38 | 302 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | △ | にぶい赤褐 | 橙 | | 刺突（竹管？） | － | A | 4 |
| | 303 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | △ | 褐 | 明赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 304 | 5号住居跡 | ◎ | ○ | | | ○ | △ | 褐 | 明赤褐 | ○ | 沈線 | － | A | 5 |
| | 305 | 5号住居跡 | △ | △ | | ○ | ○ | ○ | 暗褐 | にぶい赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 306 | 5号住居跡 | △ | | | | | ◎ | 橙 | 橙 | | 刺突（竹管？） | ナデ | B | 8 |
| | 307 | 5号住居跡 | △ | △ | | | | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 押捺短文，沈線 | 条痕 | A | 8 |
| | 308 | 5号住居跡 | △ | ○ | | △ | | | 明褐 | 明赤褐 | | 突帯，刺突，沈線 | ナデ | A | 10 |
| | 309 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | △ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 突帯，刺突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| | 310 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | 突帯，刺突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| | 311 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 橙 | | 突帯，刺突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| | 312 | 5号住居跡 | △ | | | | △ | ○ | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | | ナデ | ナデ | B | 14 |
| | 313 | 5号住居跡 | △ | △ | | | △ | ◎ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 314 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 315 | 5号住居跡 | ◎ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 橙 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| 39 | 316 | 5号住居跡 | △ | | | | | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ，条痕，ナデ | B | 14 |
| | 317 | 5号住居跡 | △ | | | | | ○ | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | | ナデ | ナデ | B | 14 |
| | 318 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | － | － | A | 14 |
| | 319 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | △ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | － | A | 14 |
| | 320 | 5号住居跡 | ○ | △ | | | △ | ○ | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | | | オサエ，工具ナデ | A | 14 |
| | 321 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ◎ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 322 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ◎ | ◎ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 323 | 5号住居跡 | △ | △ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ，沈線？ | ナデ | A | 14 |
| | 324 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 灰褐 | 褐 | | ナデ | オサエ，工具ナデ | A | |
| 40 | 325 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 工具ナデ | 条痕・ナデ | A | |
| | 326 | 5号住居跡 | △ | △ | | | ◎ | ◎ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | ナデ | オサエ． | A | |
| | 327 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 工具ナデ | 工具ナデ | A | |
| | 328 | 5号住居跡 | △ | △ | | | ○ | ○ | にぶい赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 329 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | △ | ○ | 明褐 | 明褐 | | ナデ | 工具ナデ | A | |
| | 330 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 黒褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ． | A | |
| | 331 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | にぶい黄褐 | 明赤褐 | | 工具ナデ | 工具ナデ | A | |
| | 332 | 5号住居跡 | ○ | | | | ○ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 333 | 5号住居跡 | △ | | | | | ○ | 橙 | 橙 | | － | 条痕 | B | |
| | 334 | 5号住居跡 | △ | | | △ | | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | 工具ナデ | A | |
| | 335 | 5号住居跡 | △ | | | | | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | 工具ナデ | B | |
| | 336 | 5号住居跡 | △ | △ | | △ | ○ | ○ | 暗赤褐 | 赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 337 | 5号住居跡 | △ | △ | | △ | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | A | |
| 41 | 338 | 5号住居跡 | △ | | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | － | － | B | |
| | 339 | 5号住居跡 | ◎ | ○ | | ○ | ○ | △ | にぶい赤褐 | 明赤褐 | | － | － | A | |
| | 340 | 5号住居跡 | △ | △ | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 341 | 5号住居跡 | △ | | | | | ○ | 橙 | 橙 | | 工具ナデ | 工具ナデ | B | |
| | 342 | 5号住居跡 | △ | △ | | | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | － | A | |
| | 343 | 5号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 黒褐 | 灰褐 | | ナデ | オサエ，工具ナデ | A | |
| | 344 | 5号住居跡 | | | | | | ○ | 橙 | 橙 | | － | 工具ナデ | B | |
| | 345 | 5号住居跡 | △ | △ | | △ | △ | ○ | 橙 | 橙 | | － | ナデ | A | |
| | 346 | 5号住居跡 | ◎ | ○ | | | ○ | ○ | 橙 | 褐 | | － | － | A | |
| | 347 | 5号住居跡 | | | | | | | 灰褐 | 灰黄 | | － | － | A | |
| | 348 | 5号住居跡 | | | | | | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | － | ナデ | B | |
| 42 | 349 | 5号住居跡 | △ | | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | B | |
| | 350 | 5号住居跡 | ○ | | | | △ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| 47 | 370 | 2号土坑 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | オサエ | A | 5 |
| | 371 | 2号土坑 | ○ | ○ | | | ◎ | ○ | にぶい赤褐 | 橙 | | 沈線 | ナデ | A | 12 |
| | 372 | 2号土坑 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 橙 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 373 | 2号土坑 | ◎ | ○ | | | ○ | ○ | にぶい赤褐 | 暗赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 11 |
| | 374 | 2号土坑 | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | | A | |
| 52 | 382 | 6号住居跡 | ○ | ○ | | | ◎ | ◎ | にぶい褐 | にぶい橙 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 383 | 6号住居跡 | ○ | △ | | ○ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 刺突，沈線 | ナデ | A | 16 |
| | 384 | 6号住居跡 | ○ | △ | | ○ | △ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | | 刺突，沈線 | オサエ，ナデ | A | 16 |

## 第2表　土器観察表（5）

| 挿図 | 番号 | 出土場所 | 胎土 石英 | 胎土 長石 | 胎土 角閃石 | 胎土 金雲母 | 胎土 砂礫 | 胎土 焼成 | 色調 外 | 色調 内 | 調整・文様 口唇 | 調整・文様 外器面 | 調整・文様 内器面 | 胎土 | 分類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 52 | 385 | 6号住居跡 | △ | △ | | | ○ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | ナデ | — | A | 13 |
| | 386 | 6号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ，突帯，刺突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| | 387 | 6号住居跡 | ○ | ○ | | | ◎ | △ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 突帯，刺突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| | 388 | 6号住居跡 | △ | △ | | | ○ | △ | 赤褐 | 明赤褐 | | 突帯，刺突（二叉） | オサエ，ナデ | A | 13 |
| | 389 | 6号住居跡 | ○ | △ | | ○ | △ | ○ | にぶい赤褐 | 黒褐 | | ナデ，突帯，沈線（二叉） | ナデ | A | 13 |
| | 390 | 6号住居跡 | △ | △ | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 391 | 6号住居跡 | △ | △ | | △ | △ | ◎ | 明赤褐 | にぶい赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 392 | 6号住居跡 | △ | △ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | — | A | 14 |
| | 393 | 6号住居跡 | △ | △ | | | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 394 | 6号住居跡 | △ | △ | | | △ | ○ | 褐 | 褐 | | ナデ，沈線 | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 395 | 6号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | △ | 暗赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 396 | 6号住居跡 | ◎ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ | A | |
| 53 | 397 | 6号住居跡 | △ | △ | | | △ | ◎ | 赤褐 | 赤褐 | | ナデ | 条痕 | A | |
| | 398 | 6号住居跡 | △ | | | | △ | ◎ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | 条痕 | A | |
| | 399 | 6号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 400 | 6号住居跡 | △ | | | | △ | | 橙 | 橙 | | 条痕，ナデ | — | B | |
| | 401 | 6号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 褐 | | — | — | A | |
| | 402 | 6号住居跡 | △ | △ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| 55 | 403 | 7号住居跡 | ○ | | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 連点 | | A | 7 |
| | 404 | 7号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | にぶい赤褐 | 赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 405 | 7号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | △ | ◎ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，工具ナデ | A | 14 |
| | 406 | 7号住居跡 | △ | | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | 工具ナデ | B | |
| | 407 | 7号住居跡 | ○ | △ | | ◎ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 408 | 7号住居跡 | ○ | | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | — | — | A | |
| 57 | 409 | 8号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | にぶい赤褐 | 赤褐 | | 横線刻文 | オサエ | A | 9 |
| | 410 | 8号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ，横線刻文 | ナデ | A | 8 |
| | 411 | 8号住居跡 | ◎ | ◎ | | ○ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ | A | 11 |
| | 412 | 8号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | にぶい赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 413 | 8号住居跡 | ○ | | | | ○ | | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 414 | 8号住居跡 | △ | △ | | △ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 415 | 8号住居跡 | △ | △ | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 416 | 8号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 417 | 8号住居跡 | | | | | △ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ，細突帯，刺突（二叉） | オサエ | A | 13 |
| | 418 | 8号住居跡 | △ | △ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ，沈線 | オサエ | A | 16 |
| | 419 | 8号住居跡 | △ | △ | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ，ナデ | B | |
| | 420 | 8号住居跡 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 16 |
| | 421 | 8号住居跡 | | | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | 条痕 | A | |
| | 422 | 8号住居跡 | △ | | | | ○ | ○ | にぶい黄褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 423 | 8号住居跡 | △ | △ | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | 条痕 | A | |
| 58 | 424 | 8号住居跡 | △ | △ | | ○ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 425 | 8号住居跡 | △ | △ | | | △ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 426 | 8号住居跡 | ○ | | | | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 427 | 8号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 428 | 8号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | 条痕，ナデ | A | |
| | 429 | 8号住居跡 | ◎ | ◎ | | △ | ◎ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| 61 | 430 | 9号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 灰褐 | 明赤褐 | | 沈線 | オサエ | A | 5 |
| | 431 | 9号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 黒褐 | 明赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 432 | 9号住居跡 | △ | △ | | △ | △ | △ | 橙 | 橙 | | 沈線 | オサエ，ナデ | A | 5 |
| | 433 | 9号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | 灰褐 | 赤褐 | | 沈線？ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 434 | 9号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | 灰褐 | にぶい褐 | | 沈線，押し引き | ナデ | A | 3 |
| | 435 | 9号住居跡 | ◎ | ○ | | △ | ○ | △ | 黒褐 | 褐 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 436 | 9号住居跡 | ○ | ○ | | △ | △ | ○ | にぶい褐 | 褐 | ○ | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 437 | 9号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 黒褐 | 褐 | | 刺突（竹管？） | ナデ | A | 4 |
| | 438 | 9号住居跡 | ◎ | ○ | | | ○ | △ | にぶい褐 | 明赤褐 | | — | 条痕 | A | |
| | 439 | 9号住居跡 | ○ | | | | ○ | △ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| 62 | 440 | 10T | ○ | ○ | | △ | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | A | 9 |
| | 441 | 10T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 橙 | | 押捺刻文 | オサエ | A | 8 |
| | 442 | 10T | ○ | ○ | | | ◎ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ，刺突 | ナデ | A | 8 |
| | 443 | 10T | △ | △ | | | △ | ○ | 明褐 | 明褐 | | ナデ，突帯刺突 | ナデ | A | 13 |
| | 444 | 10T | ○ | ○ | | | ◎ | △ | 赤褐 | 明赤褐 | | オサエ，ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 445 | 10T | ○ | ○ | | | ◎ | ○ | 赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 446 | 10T | △ | △ | | | ○ | ◎ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 447 | 10T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 448 | 10T | | | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | — | — | A | |
| | 449 | 10T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 黄褐 | 暗褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 450 | 10T | ○ | ○ | | ○ | ○ | △ | 黒褐 | 黒褐 | | ナデ | — | A | |
| 67 | 458 | 11号住居跡 | | | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 459 | 11号住居跡 | ○ | △ | | ○ | | △ | 橙 | 橙 | | 沈線 | — | A | 5 |
| | 460 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 褐 | にぶい褐 | | ナデ，沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 461 | 11号住居跡 | ○ | △ | | ○ | | △ | 橙 | 橙 | | 沈線 | ナデ | A | 5 |

## 第２表　土器観察表（６）

| 押圏 | 番号 | 出土場所 | 胎土 石英 | 胎土 長石 | 胎土 角閃石 | 胎土 金雲母 | 胎土 砂礫 | 胎土 焼成 | 色調 外 | 色調 内 | 口唇 | 調整・文様 外器面 | 調整・文様 内器面 | 胎土 | 分類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 462 | 11号住居跡 | | ○ | | △ | △ | △ | にぶい褐 | にぶい褐 | ○ | ナデ | ナデ | A | 11 |
| | 463 | 11号住居跡 | ◎ | ◎ | | | ◎ | △ | 赤 | 明赤褐 | | ナデ，突帯刻み | ナデ | A | 10 |
| | 464 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | △ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | | 突帯刻み，沈線沈線 | オサエ | A | 5 |
| | 465 | 11号住居跡 | △ | △ | | △ | △ | ○ | 黒褐 | 明赤褐 | | 沈線 | オサエ，ナデ | A | 16 |
| | 466 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | | △ | △ | 赤褐 | 赤 | | 横捺刻文，沈線 | ナデ | A | 8 |
| | 467 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | にぶい赤褐 | 明赤褐 | | 押捺刻文 | － | A | 8 |
| | 468 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | にぶい赤褐 | にぶい褐 | | 凹線，刺突 | － | A | 8 |
| | 469 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | △ | △ | 黒褐 | 黒褐 | | 押捺刻文 | － | A | 8 |
| | 470 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | △ | △ | にぶい黄橙 | にぶい黄橙 | | 沈線，押捺刻文 | － | A | 8 |
| | 471 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | ◎ | △ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | 押捺刻文 | ナデ | A | 8 |
| 67 | 472 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ○ | △ | 橙 | 橙 | ○ | － | オサエ，ナデ | A | 16 |
| | 473 | 11号住居跡 | △ | △ | | | ○ | ◎ | 灰黄 | 明褐 | | 沈線，突帯刻み | ナデ | A | 12 |
| | 474 | 11号住居跡 | ◎ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | オサエ，ナデ | － | A | 16 |
| | 475 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 赤褐 | 明赤褐 | | 突帯刻み | － | A | 16 |
| | 476 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ○ | △ | 赤褐 | 明赤褐 | | 突帯刻み，沈線 | － | A | 16 |
| | 477 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | － | 条痕 | A | |
| | 478 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | | ◎ | ○ | 明赤褐 | にぶい赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 479 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | 条痕 | A | |
| | 480 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | △ | にぶい赤褐 | 明赤褐 | | － | 条痕 | A | |
| | 481 | 11号住居跡 | △ | △ | | | ◎ | ○ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 条痕，ナデ | ナデ | A | |
| | 482 | 11号住居跡 | ◎ | ◎ | | | ◎ | ○ | にぶい黄橙 | にぶい赤褐 | | － | ナデ | A | |
| | 483 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | にぶい赤褐 | | ナデ | － | A | |
| | 484 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | － | A | |
| 68 | 485 | 11号住居跡 | | | | | △ | ◎ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | B | |
| | 486 | 11号住居跡 | △ | | | | △ | ◎ | にぶい黄橙 | 灰黄 | | － | － | B | |
| | 487 | 11号住居跡 | △ | △ | | | ○ | ○ | にぶい赤褐 | 橙 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 488 | 11号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | にぶい褐 | 橙 | | 工具ナデ | 工具ナデ | A | |
| | 499 | 12号住居跡 | ○ | | | ○ | ○ | △ | 黒褐 | 黒褐 | | 沈線，押し引き | ナデ | A | 3 |
| | 500 | 12号住居跡 | ○ | | | | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | 刺突，沈線 | ナデ | A | 3 |
| | 501 | 12号住居跡 | ○ | | △ | ○ | ○ | 黒褐 | 黒褐 | 黒褐 | | 沈線，押し引き | ナデ | A | 9 |
| | 502 | 12号住居跡 | △ | | △ | △ | △ | △ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 刺突 | ナデ | A | 8 |
| | 503 | 12号住居跡 | | | | | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 凹線，突帯，刺突（二叉） | － | A | 10 |
| | 504 | 12号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | ナデ | A | 12 |
| | 505 | 12号住居跡 | △ | | | △ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線 | オサエ，ナデ | A | 12 |
| | 506 | 12号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ◎ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 沈線，突帯，刻み | ナデ | A | 12 |
| | 507 | 12号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | ナデ，沈線，突帯，刺突（二叉） | オサエ | A | 12 |
| 73 | 508 | 12号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 沈線，突帯，刻み | ナデ | A | 12 |
| | 509 | 12号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | 突帯，刺突（二叉） | ナデ | A | 13 |
| | 510 | 12号住居跡 | △ | | | △ | △ | △ | 暗赤褐 | 暗赤褐 | | 突帯，刺突（二叉） | － | A | 13 |
| | 511 | 12号住居跡 | | | | △ | ◎ | △ | 橙 | 橙 | | 沈線，突帯，刺突（二叉） | ナデ | B | 13 |
| | 512 | 12号住居跡 | △ | | | ○ | △ | △ | 暗赤褐 | 暗赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 513 | 12号住居跡 | ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 514 | 12号住居跡 | ○ | △ | | | ○ | ○ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | 条痕，ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 515 | 12号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 516 | 12号住居跡 | △ | | | | △ | ○ | 暗赤褐 | 暗赤褐 | | ナデ，ケズリ？ | ナデ，ケズリ？ | A | 14 |
| | 517 | 12号住居跡 | ○ | △ | | | ○ | ○ | 赤褐 | 赤褐 | | 条痕，ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 518 | 12号住居跡 | △ | | | △ | ○ | △ | 橙 | 橙 | | ナデ，沈線 | ナデ | B | 14 |
| | 519 | 12号住居跡 | △ | △ | | △ | ○ | ○ | 暗赤褐 | 赤褐 | | － | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 520 | 12号住居跡 | △ | | | | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ | A | |
| | 521 | 12号住居跡 | ○ | △ | | △ | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | 凹線，突帯 | ナデ | A | 16 |
| 74 | 522 | 12号住居跡 | ○ | △ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | 条痕，ナデ | A | |
| | 523 | 12号住居跡 | △ | | | | △ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | B | |
| | 524 | 12号住居跡 | △ | △ | | ○ | △ | ○ | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | | ナデ | － | A | |
| | 525 | 12号住居跡 | ○ | | | △ | △ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 526 | 12号住居跡 | ○ | △ | | △ | △ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ | A | |
| | 527 | 12号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | － | ナデ | A | |
| | 528 | 12号住居跡 | △ | | | △ | △ | ○ | 橙 | 橙 | | 貝殻条痕 | 工具ナデ | A | |
| | 529 | 12号住居跡 | △ | | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 530 | 12号住居跡 | ○ | △ | | △ | ○ | ○ | 褐 | 褐 | | － | ナデ | A | |
| | 531 | 12号住居跡 | △ | | | △ | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | 工具ナデ | A | |
| | 532 | 12号住居跡 | △ | | | | | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ | A | |
| 75 | 533 | 12号住居跡 | △ | | | | △ | ○ | 灰褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 534 | 12号住居跡 | ○ | △ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 535 | 12号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 黒褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 536 | 12号住居跡 | △ | | | | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | － | － | A | |
| | 537 | 12号住居跡 | △ | | | | | △ | にぶい黄褐 | 橙 | | 工具ナデ | 工具ナデ | A | |
| | 538 | 12号住居跡 | △ | | | | | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | B | |
| | 539 | 12号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| 76 | 540 | 12号住居跡 | △ | | | | △ | ◎ | 橙 | 橙 | | 突帯，刻み，沈線 | ナデ | B | 10 |
| | 541 | 12号住居跡 | △ | △ | | | △ | △ | 橙 | 橙 | | オサエ，ナデ | オサエ | B | |

## 第2表　土器観察表（7）

| 挿図 | 番号 | 出土場所 | 胎土 石英 | 長石 | 角閃石 | 金雲母 | 砂礫 | 焼成 | 色調 外 | 内 | 調整・文様 口唇 | 外器面 | 内器面 | 胎土 | 分類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 542 | 12号住居跡 | △ | △ | | | △ | △ | 橙 | 橙 | | オサエ，ナデ | オサエ | B | |
| | 543 | 13号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | － | A | 14 |
| | 544 | 13号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ，沈線 | A | 14 |
| | 545 | 13号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | △ | 赤褐 | 赤褐 | | － | オサエ | A | |
| | 546 | 13号住居跡 | ○ | △ | | △ | ○ | ○ | 褐 | 褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 547 | 13号住居跡 | △ | ○ | | ○ | △ | ○ | にぶい褐 | 橙 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 548 | 13号住居跡 | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 549 | 13号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | 暗赤褐 | 明赤褐 | | オサエ，ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| 78 | 550 | 13号住居跡 | △ | △ | | | ○ | △ | 明赤褐 | 赤褐 | | ナデ，沈線 | － | A | 16 |
| | 551 | 13号住居跡 | △ | △ | | | ○ | ○ | にぶい赤褐 | 赤褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 552 | 13号住居跡 | △ | △ | | | ○ | ○ | 明赤褐 | 明褐 | | ナデ | オサエ | A | |
| | 553 | 13号住居跡 | ○ | ○ | | | △ | ○ | にぶい赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | 条痕 | A | |
| | 554 | 13号住居跡 | △ | △ | | △ | △ | △ | 明赤褐 | 赤褐 | | ナデ | オサエ | A | |
| | 555 | 13号住居跡 | △ | ○ | | | △ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | ナデ | 条痕 | A | |
| | 556 | 13号住居跡 | ○ | △ | | | ◎ | △ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | ナデ | オサエ | A | |
| | 557 | 13号住居跡 | ○ | ○ | | | ◎ | ○ | にぶい褐 | にぶい褐 | | ナデ | ナデ | A | |
| | 558 | 14号住居跡 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | | ナデ，沈線 | ナデ | A | 5 |
| | 559 | 14号住居跡 | ◎ | | | ○ | △ | ○ | 褐 | 褐 | | 沈線 | － | A | 5 |
| | 560 | 14号住居跡 | △ | | | | | ◎ | 橙 | 橙 | | ナデ，突帯剥突 | ナデ | B | 10 |
| | 561 | 14号住居跡 | | | | | △ | ○ | 褐 | 褐 | | ナデ，突帯，沈線 | ナデ | B | 10 |
| | 562 | 14号住居跡 | ○ | ○ | | △ | ○ | △ | 暗赤褐 | 明赤褐 | | 突帯剥突，沈線 | ナデ | A | 10 |
| | 563 | 14号住居跡 | | | | | △ | ◎ | にぶい褐 | にぶい褐 | | 突帯刻み，沈線 | 条痕 | B | 10 |
| | 564 | 14号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | △ | △ | 暗赤褐 | 暗赤褐 | | 突帯剥突 | ナデ | A | 13 |
| 79 | 565 | 14号住居跡 | ○ | ○ | | ○ | ◎ | ○ | にぶい赤褐 | 橙 | | 突帯剥突 | ナデ | A | 13 |
| | 566 | 14号住居跡 | ◎ | | | △ | △ | △ | 橙 | 橙 | | ナデ | － | A | 13 |
| | 567 | 14号住居跡 | ○ | ○ | | | △ | △ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | | ナデ | ナデ | A | 14 |
| | 568 | 14号住居跡 | ○ | | | △ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | － | ナデ | A | 14 |
| | 569 | 14号住居跡 | ○ | △ | | ◎ | ○ | ○ | 褐 | にぶい褐 | | － | オサエ | A | |
| | 570 | 14号住居跡 | ○ | | | △ | ○ | ○ | 橙 | にぶい褐 | | オサエ，ナデ | ナデ | A | |
| | 571 | 14号住居跡 | ○ | △ | | ○ | △ | ○ | 褐 | 明赤褐 | | ナデ | オサエ | A | |
| | 572 | 14号住居跡 | ◎ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 明赤褐 | 明赤褐 | | － | ナデ | A | |
| | 573 | 14号住居跡 | ○ | | | | △ | △ | 黄褐 | 黄褐 | | － | － | A | |
| | 574 | 16T | ◎ | ◎ | | ○ | ○ | △ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ | A | 5 |
| | 575 | 16T | ○ | △ | | | ○ | △ | 炭褐 | 明赤褐 | | 連点 | 工具ナデ | A | 7 |
| | 576 | 16T | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 黒褐 | にぶい褐 | | 連続剥突 | ナデ | A | 7 |
| | 577 | 16T | ○ | ◎ | | △ | ○ | △ | 褐 | 黒褐 | ○ | 連続剥突 | ナデ | A | 7 |
| | 578 | 16T | ○ | ○ | | △ | | ○ | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | ○ | 剥突 | ナデ | A | 8 |
| | 579 | 16T | △ | ○ | | △ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | 剥突 | オサエ | A | 8 |
| 80 | 580 | 16T | △ | △ | | | △ | △ | 明赤褐 | 赤褐 | | 剥突 | ナデ | A | 8 |
| | 581 | 16T | ○ | ○ | | | ○ | △ | 橙 | 橙 | | 突帯剥突 | ナデ | A | 13 |
| | 582 | 16T | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | 14 |
| | 583 | 16T | ○ | ○ | | ○ | ○ | △ | 橙 | 橙 | | ナデ | ナデ | A | 15 |
| | 584 | 16T | ○ | △ | | △ | ○ | ○ | 橙 | 橙 | | ナデ | オサエ，ナデ | A | |
| | 585 | 16T | △ | ○ | | ○ | ○ | △ | 明赤褐 | 橙 | | － | － | A | |
| | 586 | 16T | △ | △ | | ○ | ○ | △ | 橙 | 明赤褐 | | － | － | A | |

第3表　石器計測表（1）

| 挿図 | 番号 | 器種 | 石材 | 出土場所 | 取り上げNo. | 最大長（cm） | 最大幅（cm） | 厚さ（cm） | 重量（g） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 15 | スクレイパー | 頁岩 | 1号土坑 | 4 | 6.10 | 9.50 | 2.00 | 111.5 |
| | 16 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 1号土坑 | 61 | 6.50 | 7.10 | 4.00 | 233 |
| | 17 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 1号土坑 | 31 | (8.45) | 9.60 | 4.60 | 558 |
| 12 | 83 | 石斧 | 砂岩 | 1T | | (4.00) | (5.00) | 1.85 | 54.3 |
| | 84 | 石斧 | 緑泥片岩 | 1T | 70 | (5.15) | (5.10) | (2.75) | 95.5 |
| | 85 | 石斧 | 砂岩 | 1T | 165 | (7.20) | (7.60) | (2.65) | 181.9 |
| | 86 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 1T | 837 | 8.60 | (5.70) | (3.50) | 210 |
| | 87 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 1T | | 14.25 | 5.55 | 2.55 | 270 |
| | 88 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 1T | | 8.70 | 4.50 | 1.60 | 61.6 |
| | 89 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 1T | 677 | 10.60 | 4.90 | 1.70 | 94.6 |
| | 90 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 1T | 7 | 9.75 | 3.40 | 2.00 | 77.1 |
| | 91 | 打製石斧 | 砂岩 | 1T | 24 | (5.10) | 5.60 | (1.90) | 56.6 |
| | 92 | 石斧 | 緑泥片岩 | 1T | | (8.95) | (5.80) | 2.20 | 108.8 |
| | 93 | 打製石斧 | 砂岩 | 1T | 146 | 7.00 | 5.45 | 2.50 | 129.9 |
| 13 | 94 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 1T | 14 | 8.00 | 5.30 | 2.40 | 128.5 |
| | 95 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 1T | 861 | 6.55 | 7.10 | 2.95 | 177.7 |
| | 96 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 1T | 859 | (4.50) | 5.45 | 1.85 | 55.2 |
| | 97 | スクレイパー | 泥岩 | 1T | 373 | 6.95 | 9.40 | 1.50 | 121.1 |
| | 98 | スクレイパー | 緑泥片岩 | 1T | 301 | 4.60 | 7.15 | 1.80 | 61.1 |
| | 99 | スクレイパー | 砂岩 | 1T | 116 | 5.40 | 8.20 | 1.75 | 72.5 |
| | 100 | スクレイパー | 砂岩 | 1T | 110 | 4.35 | 6.80 | 1.45 | 38.8 |
| | 101 | スクレイパー | 砂岩 | 1T | 101 | 6.80 | 5.05 | 1.15 | 42 |
| | 102 | その他石器 | 緑泥片岩 | 1T | | (3.50) | 8.05 | 1.20 | 4.8 |
| | 103 | その他石器 | 砂岩 | 1T | | 4.00 | 2.55 | 1.10 | 12.9 |
| | 104 | その他石器 | 緑泥片岩 | 1T | | (3.30) | (3.95) | 1.10 | 13.4 |
| | 105 | その他石器 | 緑泥片岩 | 1T | 807 | 4.40 | 3.10 | 0.75 | 8.3 |
| | 106 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 1T | | (9.50) | 6.40 | 3.10 | 375 |
| | 107 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 1T | 129 | 9.40 | 6.80 | 4.65 | 285 |
| 14 | 108 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 1T | 168 | 9.30 | 13.10 | 9.40 | 1690 |
| | 109 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 1T | 89 | 8.40 | 4.00 | 2.60 | 144 |
| | 110 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 1T | 644 | (11.20) | (7.00) | 3.00 | 146.8 |
| 23 | 205 | 磨製石斧 | 緑泥片岩 | 2T | | (8.15) | 7.05 | 3.15 | 290 |
| | 206 | 磨製石斧 | 緑泥片岩 | 2T | 224 | 8.25 | 4.25 | 1.95 | 91.2 |
| | 207 | 磨製石斧 | 泥岩 | 2T | 554 | 3.20 | 4.80 | 0.85 | 17.6 |
| | 208 | 磨製石斧 | 緑泥片岩 | 2T | 667 | (7.80) | 4.20 | 4.35 | 168.8 |
| | 209 | 磨製石斧 | 花崗岩 | 2T | 232 | (4.95) | 4.65 | 1.90 | 66.9 |
| | 210 | 磨製石斧 | 緑泥片岩 | 2T | 529 | (7.40) | (3.70) | 2.35 | 67.8 |
| | 211 | 磨製石斧 | 緑泥片岩 | 2T | 598 | (7.50) | (5.50) | 2.60 | 142.5 |
| | 212 | 磨製石斧 | 緑泥片岩 | 2T | 337 | (10.25) | (5.90) | 3.40 | 245 |
| | 213 | 磨製石斧 | 花崗岩 | 2T | | (6.70) | (4.30) | 2.40 | 97.4 |
| | 214 | 磨製石斧 | 緑泥片岩 | 2T | 914 | (7.55) | 4.50 | 3.50 | 141 |
| | 215 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 2T | 38 | 10.75 | 9.05 | 3.80 | 440 |
| | 216 | 打製石斧 | 花崗岩 | 2T | | (7.25) | (5.20) | 1.80 | 87.1 |
| | 217 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 2T | 191 | 10.30 | 6.90 | 2.20 | 164.2 |
| | 218 | 打製石斧 | 頁岩 | 2T | 550 | 9.20 | 6.70 | 2.00 | 179.2 |
| | 219 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 2T | 705 | 9.55 | 5.65 | 1.90 | 120 |
| | 220 | 打製石斧 | 砂岩 | 2T | 69 | 8.05 | 9.00 | 2.35 | 200 |
| 24 | 221 | スクレイパー | 緑泥片岩 | 2T | 110 | 6.80 | 6.60 | 2.25 | 107.4 |
| | 222 | スクレイパー | 緑泥片岩 | 2T | 185 | 5.60 | 7.20 | 1.65 | 57.2 |
| | 223 | スクレイパー | 緑泥片岩 | 2T | 402 | 4.80 | 5.40 | 1.40 | 32.5 |
| | 224 | スクレイパー | 花崗岩 | 2T | 259 | 7.70 | 8.20 | 2.15 | 124.1 |
| | 225 | その他石器 | 砂岩 | 2T | 470 | 6.55 | 5.70 | 1.30 | 48 |
| 25 | 226 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 2T | 61 | (8.70) | 6.70 | 4.80 | 320 |
| | 227 | 磨石・敲石 | 緑泥片岩 | 2T | 373 | (4.90) | (5.80) | 2.90 | 117.2 |
| | 228 | 磨石等 | 砂岩 | 2T | | (10.90) | 8.90 | 5.40 | 830 |
| | 229 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 2T | 28 | 6.85 | 4.10 | 2.30 | 81.3 |
| | 230 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 2T | 878 | (12.15) | (6.75) | 5.70 | 605 |
| | 231 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 2T | 704 | (7.50) | 6.40 | 5.00 | 295 |
| | 232 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 2T | 145 | 7.70 | 4.75 | 2.85 | 124.6 |
| 31 | 268 | 磨製石斧 | 砂岩 | 4T | 28 | 12.80 | 5.85 | 2.80 | 325 |
| | 269 | 磨製石斧 | 緑泥片岩 | 4T | | 9.00 | 4.00 | 2.70 | 139.5 |
| | 270 | 打製石斧 | 砂岩 | 4T | 29 | 8.50 | 5.25 | 2.00 | 95.6 |
| | 271 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 4T | | 7.30 | 4.40 | 2.45 | 104.3 |
| | 272 | スクレイパー | 砂岩 | 4T | | 11.35 | 6.15 | 2.00 | 130.1 |
| | 273 | 磨石等 | 砂岩 | 4T | | 10.30 | 5.30 | 4.50 | 425 |
| | 274 | 磨石等 | 砂岩 | 4T | | 6.00 | 6.15 | 3.50 | 200.4 |
| | 275 | 磨石等 | 砂岩 | 4T | | 7.10 | 3.85 | 2.55 | 108 |
| 32 | 276 | 磨石等 | 緑泥片岩 | 4T | | 8.05 | 5.90 | 4.05 | 300 |
| | 277 | 磨石等 | 砂岩 | 4T | | (7.20) | (8.70) | (5.90) | 505 |
| 44 | 367 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 5号住居跡 | | (8.80) | (6.10) | 3.75 | 245 |

第3表　石器計測表（2）

| 挿図 | 番号 | 器種 | 石材 | 出土場所 | 取り上げNo. | 最大長（cm） | 最大幅（cm） | 厚さ（cm） | 重量（g） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 48 | 375 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 2号土坑 | 7 | 3.35 | 4.75 | 1.25 | 16.5 |
| | 376 | 石斧 | 砂岩 | 2号土坑 | 38 | (13.20) | 5.30 | 3.90 | 773 |
| | 377 | 磨石・敲石 | 花崗岩 | 3号土坑 | 42 | 11.65 | 7.90 | 5.30 | 360 |
| | 378 | 磨石・敲石 | 緑泥片岩 | 2号土坑 | 16 | 6.10 | 7.15 | 4.25 | 207 |
| | 379 | 砥石 | 砂岩 | 2号土坑 | | 11.20 | 10.20 | 2.80 | 435 |
| | 380 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 2号土坑 | 27 | (6.10) | (9.50) | 5.45 | 445 |
| 49 | 381 | 石斧 | 硬質頁岩 | 3号土坑 | | 15.20 | 5.90 | 3.05 | 375 |
| 63 | 451 | 石斧 | 砂岩 | 9号ポットレ2 | | 11.80 | 4.65 | 2.90 | 230 |
| | 452 | 打製石斧 | 砂岩 | 9号住居跡 | | 11.00 | 6.70 | 3.80 | 405 |
| | 453 | 石斧 | 花崗岩 | 8号住居跡 | | 8.80 | 5.60 | 3.50 | 270 |
| 69 | 489 | 石鏃 | 砂岩 | 11号住居跡 | | (1.35) | (1.00) | 0.30 | |
| | 492 | 石斧 | 緑泥片岩 | 11号住居跡 | 7 | 6.40 | 2.20 | 0.80 | 17.3 |
| | 493 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 11号住居跡 | 134 | 6.60 | 5.25 | 2.30 | 101.2 |
| | 494 | 石斧 | 緑泥片岩 | 11号住居跡 | 72 | 9.20 | 5.00 | 2.50 | 169.9 |
| | 495 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 15T | | (10.25) | 4.60 | 2.40 | 160.5 |
| | 496 | 石斧 | 花崗岩 | 11号住居跡 | | (5.00) | 4.25 | 2.20 | 65.2 |
| | 497 | 石核 | チャート | 11号住居跡 | | 3.90 | 3.90 | 4.00 | 65.7 |
| 70 | 498 | 石鏃 | 泥岩 | 11号住居跡 | | 1.50 | 0.85 | 0.20 | 0.2 |
| 81 | 587 | 石斧 | 砂岩 | 12号住居跡 | 28 | 9.10 | 5.85 | 2.75 | 245 |
| | 588 | 石斧 | 緑泥片岩 | 16T | | (7.80) | (5.10) | 2.10 | 60.8 |
| | 589 | 石斧 | 緑泥片岩 | 16T | | 3.00 | (2.50) | (1.35) | 10.7 |
| | 590 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 16T | | 13.75 | 7.40 | 7.50 | 725 |
| | 591 | 打製石斧 | 砂岩 | 12号住居跡 | 174 | 7.85 | 4.70 | 2.10 | 101.2 |
| | 592 | 石斧 | 緑泥片岩 | 16T | | (3.45) | (5.80) | 1.80 | 34.8 |
| | 593 | 打製石斧 | 花崗岩 | 13号住サブトレ | | (9.55) | (6.15) | | 220 |
| | 594 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 16T | | 13.55 | 7.90 | 4.95 | 535 |
| | 595 | 打製石斧 | 安山岩 | 12号住居跡 | | 6.90 | 4.70 | 1.70 | 72.3 |
| | 596 | スクレイパー | 緑泥片岩 | 16T | | 7.90 | 4.60 | 2.05 | 53.9 |
| 82 | 597 | 磨石等 | 砂岩 | 16T | | 3.95 | 3.90 | 2.60 | 78.5 |
| | 598 | 磨石等 | 花崗岩 | 12号住居跡 | 158 | 7.10 | 6.20 | 2.00 | 163 |
| | 599 | 磨石等 | 緑泥片岩 | 13号住サブトレ | | 8.30 | 5.50 | 3.70 | 260 |
| | 600 | 磨石・敲石 | 頁岩 | 16T | | 15.70 | 6.15 | 5.10 | 650 |
| | 601 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 16T | | 9.35 | (9.60) | 6.45 | 870 |
| | 602 | 砥石 | 砂岩 | 12号住居跡 | 92 | 4.40 | 4.00 | 2.10 | 52 |
| 83 | 607 | 剥片 | 黒曜石 | 16T | | 1.70 | 1.75 | 0.40 | 0.8 |
| | 608 | 剥片 | 黒曜石 | 16T | | 1.30 | 1.95 | 0.50 | 0.9 |
| 86 | 618 | 石鏃 | チャート | 17T | | (2.70) | 2.40 | 0.60 | 3.1 |
| | 619 | 打製石斧 | 緑泥片岩 | 17T | | (4.00) | (3.80) | (1.20) | 17.5 |
| | 620 | その他石器 | 砂岩 | 17T | | 5.55 | 2.50 | 1.60 | 22.3 |
| | 621 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 17T | | (5.80) | (5.40) | (5.25) | 160.2 |
| | 622 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 17T | | (9.00) | (6.20) | 3.75 | 200.3 |

第4表　貝製品計測表

| 挿図 | 遺物番号 | 器種 | 出土区 | 取り上げNo. | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 材質 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 26 | 233 | 貝輪 | 2T　包含層 | | (6.60) | (4.50) | | 5.2 | オオツタノハ | |
| | 234 | 貝輪 | 2T　包含層 | 141 | (6.40) | (2.40) | | 8.8 | オオツタノハ | |
| | 235 | 貝輪 | 2T　混貝層 | | (3.70) | (2.80) | | 1.7 | オオツタノハ | |
| | 236 | 貝輪 | 2T　混貝層 | | (3.25) | (1.75) | | 1.8 | オオツタノハ | |
| 43 | 351 | 貝輪 | 5号住居跡 | | (4.50) | (3.80) | | 6.3 | ゴウホウラ | |
| | 352 | 貝輪 | 5号住居跡 | 3 | (7.30) | (3.70) | | 10.0 | ゴウホウラ | |
| | 353 | 貝輪 | 5号住居跡 | 4 | (7.70) | (2.70) | | 4.2 | オオツタノハ | |
| | 354 | 貝輪 | 5号住居跡 | | (8.25) | (4.00) | | 9.2 | オオツタノハ | |
| | 355 | 貝輪 | 5号住居跡 | | (5.10) | (4.80) | | 4.1 | オオツタノハ | |
| | 356 | 貝輪 | 4号住居跡 | | (3.00) | (4.20) | | 2.4 | オオツタノハ | |
| | 357 | 貝輪 | 5号住居跡 | | (8.00) | (6.95) | | 14.3 | オオツタノハ | |
| 44 | 358 | 貝輪 | 5号住居跡 | 2 | (5.75) | (2.00) | | 3.3 | オオツタノハ | |
| | 359 | 貝輪 | 5号住居跡 | 1 | (5.30) | (3.70) | | 2.8 | オオツタノハ | |
| | 360 | 貝輪 | 5号住居跡 | | (2.65) | (2.00) | | 1.0 | オオツタノハ | |
| | 362 | 垂飾品 | 6T | | (3.90) | (2.00) | | 4.3 | ゴホウラ? | |
| | 363 | 垂飾品 | 6T | | (3.40) | 1.20 | | 2.1 | オオツタノハ | |
| 45 | 369 | 不明 | 5号住居跡 | | 0.95 | 0.80 | | 0.4 | マガキガイ | |
| 63 | 455 | 貝輪 | 6号住居跡A-5 II | | (4.65) | (2.70) | | 1.4 | オオツタノハ | |
| | 456 | 貝輪 | 9号住居跡サブトレ2 | | (3.10) | (6.05) | | 7.4 | オオツタノハ | |
| | 457 | 貝輪 | 6号住居跡B-2 II | | (5.30) | (2.40) | | 2.1 | オオツタノハ | |
| 69 | 490 | 貝輪 | 15T | | 4.05 | 2.25 | | 1.2 | オオツタノハ | |
| | 491 | 貝輪 | 11号住居跡 | | 6.60 | 3.85 | | 8.3 | オオツタノハ | |
| 83 | 603 | 貝蹠 | 12号住居跡 | | 2.15 | 1.35 | 1.10 | 0.5 | ヤコウガイ? | |
| 84 | 609 | 貝輪 | 12号住居跡 | | 8.90 | (6.10) | | 30.2 | アツソデガイ | |
| | 610 | 貝輪 | 12号住居跡 | 1 | 7.10 | 7.40 | | 13.9 | ゴウホウラ | |
| | 611 | 貝輪 | 12号住居跡 | | (5.40) | (4.60) | | 5.7 | オオツタノハ | |
| | 612 | 貝輪 | 16T | | (7.20) | (3.60) | | 5.1 | オオツタノハ | |
| | 613 | 不明 | 12号住居跡 | | 1.35 | 0.90 | | 0.9 | ヤコウガイ | |
| 85 | 614 | 敲頭加工品 | 12号住居跡 | | 8.50 | 4.25 | 3.40 | 20.5 | ウミウサギ | |
| | 615 | 不明 | 12号住居跡 | | 3.60 | 2.10 | | 11.8 | サツマビナ | |
| | 616 | 貝珠 | 12号住居跡 | | 2.60 | 4.80 | | 4.1 | ヤコウガイ | |
| | 617 | 不明 | 12号住居跡 | | 3.40 | 1.70 | | 3.1 | (巻き貝) | |
| 87 | 623 | サメ歯状製品 | 表採 | | (4.10) | (2.85) | | 4.6 | (シャコガイ?) | |
| | 624 | 垂飾品 | 表採 | | 5.05 | 4.70 | | 10.4 | ヒレジャコ | |
| | 625 | 貝輪 | 表採 | | 4.90 | 3.85 | | 4.0 | オオツタノハ | |

第6表　骨製品計測表

| 挿図 | 遺物番号 | 器種 | 出土区 | 取り上げNo. | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 材質 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 26 | 238 | 針 | 2T中央 | | 4.90 | 0.90 | | 2.2 | 不明 | |
| 27 | 239 | かんざし | 2T | | 11.40 | 2.90 | 1.85 | 26.6 | 海獣骨 | |
| 32 | 278 | 耳栓 | 4T | | 2.00 | 2.10 | 1.10 | 2.5 | サメ | |
| 44 | 361 | 垂飾品 | 3号住居跡 | | (3.30) | (1.20) | | 1.5 | 猪牙 | |
| | 364 | 垂飾品 | 5号住居跡 | 2 | (9.15) | (3.30) | | 11.3 | 猪牙 | |
| | 365 | 先端加工品 | 6T | | (4.70) | (1.10) | | | 不明 | |
| | 366 | 耳栓 | 5号住居跡 | | 2.10 | 2.00 | 0.80 | 1.8 | サメ | |
| 45 | 368 | かんざし | 5号住居跡 | | 15.25 | 4.40 | | 41.8 | 海獣骨 | |
| 63 | 454 | 垂飾品 | 10T | | (5.90) | (3.00) | 2.25 | 31.8 | 海獣骨 | |
| 83 | 604 | 耳栓 | 16T | | 1.85 | 1.80 | 1.00 | 1.5 | サメ | |
| | 605 | 耳栓 | 16T | | 1.80 | 1.90 | 0.90 | 1.6 | サメ | |
| | 606 | 耳栓 | 14号 | | 1.50 | 1.35 | 0.55 | 0.7 | サメ | |

第5表　貝玉計測表

| 挿図 | 番号 | 出土場所 | 重量 | 最大径 | 厚さ | 研磨 上面 | 研磨 下面 | 研磨 側面 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 17 | 111 | 2T集石 | 0.15 | 9.2 | 1.4 | ○ | ○ | ○ |
| 26 | 237 | 2T混員 | 0.12 | 7.0 | 1.9 | ○ | ○ | ○ |
| 87 | 626 | 表採 | 0.26 | 9.6 | 2.0 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.01 | (3.4) | 1.1 | ○ | | - |
| | | 5号住居跡 | 0.06 | (2.8) | 2.5 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.01未満 | 2.2 | 0.8 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.01未満 | 2.2 | 0.9 | ○ | - | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.01未満 | 2.2 | 0.9 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.01未満 | 2.5 | 1.1 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.01 | 2.7 | 1.1 | ○ | | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.01未満 | 2.7 | 1.2 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.01 | 2.8 | 1.0 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.01 | 2.9 | 1.2 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.02 | 3.2 | 1.4 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.02 | 3.3 | 1.3 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.02 | 3.3 | 1.8 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.03 | 3.5 | 2.0 | ○ | | ○ |
| | | 5号住居跡 | 0.03 | 3.9 | 1.3 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.01 | (4.2) | 2.3 | ○ | - | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.02 | (4.0) | 1.0 | ○ | | - |
| | | 12号住居跡 | 0.01 | (3.6) | (0.9) | ○ | - | - |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | (3.3) | (1.0) | ○ | - | - |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | (3.3) | 1.0 | ○ | ○ | - |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | (3.2) | (1.1) | ○ | - | - |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | (3.2) | (0.8) | ○ | - | - |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | (2.5) | (0.6) | ○ | - | - |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 2.2 | 0.8 | ○ | | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 2.3 | 1.4 | ○ | - | - |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 2.5 | 0.8 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 2.5 | 1.1 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.01 | 2.7 | 1.2 | ○ | - | |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 2.8 | 0.8 | ○ | - | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 2.8 | 1.2 | ○ | | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.02 | 2.8 | 1.3 | ○ | - | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 2.9 | (1.0) | ○ | | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 3.1 | 1.0 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.02 | 3.1 | 1.3 | ○ | ○ | - |
| | | 12号住居跡 | 0.02 | 3.2 | (1.2) | ○ | | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 3.2 | 0.6 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.02 | 3.5 | 1.5 | ○ | - | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.02 | 3.6 | 1.2 | ○ | - | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.03 | 3.6 | 1.5 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 3.9 | (2.1) | ○ | - | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.03 | 3.9 | 1.8 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.05 | 3.9 | 2.0 | | ○ | |
| | | 12号住居跡 | 0.04 | 4.0 | 2.1 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.05 | 4.2 | 2.3 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.05 | 5.7 | 1.4 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.01未満 | 5.9 | 0.7 | ○ | ○ | ○ |
| | | 12号住居跡 | 0.09 | (5.0) | (3.4) | ○ | | |
| | | 12号住居跡 | 0.11 | 6.1 | 3.1 | | | |
| | | 12号住居跡 | 0.16 | 6.6 | 3.5 | | | |
| | | 12号住居跡 | 0.2 | 6.6 | 4.3 | | | |
| | | 12号住居跡 | 0.1 | 7.0 | 2.8 | | | |
| | | 12号住居跡 | 0.24 | 7.5 | (5.0) | | | |
| | | 12号住居跡 | 0.45 | 10.8 | 4.8 | | | |
| | | 11号住居跡 | 0.01未満 | 2.5 | 1.3 | - | - | ○ |
| | | 11号住居跡 | 0.01未満 | 2.8 | 1.3 | ○ | ○ | ○ |
| | | 11号住居跡 | 0.01 | 3.0 | 0.8 | ○ | ○ | ○ |
| | | 11号住居跡 | 0.01 | 3.0 | 1.0 | ○ | | ○ |
| | | 11号住居跡 | 0.02 | 3.0 | 1.5 | ○ | - | - |
| | | 11号住居跡 | 0.02 | 3.2 | (1.3) | ○ | - | ○ |
| | | 11号住居跡 | 0.02 | 3.2 | 1.5 | ○ | ○ | ○ |
| | | 11号住居跡 | 0.02 | 3.3 | 1.3 | ○ | ○ | ○ |
| | | 11号住居跡 | 0.02 | 3.3 | 1.4 | ○ | ○ | ○ |
| | | 11号住居跡 | 0.05 | 6.2 | 1.5 | ○ | ○ | ○ |
| | | 11号住居跡 | 0.08 | 8.8 | 1.5 | ○ | ○ | ○ |
| | | 13号住居跡 | 0.01 | 2.9 | 1.0 | ○ | | ○ |
| | | 13号住居跡 | 0.01 | 3.1 | 1.6 | ○ | | - |
| | | 13号住居跡 | 0.01 | 3.2 | (1.4) | ○ | - | ○ |